



Gフレーム

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書 (E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。



- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 使用するシーリング剤は、以下のアルコール系シーリング剤を現場で手配してください。
 - ・信越化学工業（株）「シーラント72」
 - ・GE東芝シリコーン（株）「トスシール380」
 - ・ダウ東レ（株）「ES960」

取付説明書区分表

施工区分	使用する取付説明書	取説コード
柱、フレーム 150角柱・150角フレーム 躯体取付けフレーム デザイン格子 デザイン格子埋込み施工補助部材 パーゴラ パーゴラ 30×150 デザイン格子 30×150 デザイン格子外付け仕様 壁上柱部材	Gフレーム	E248
デザインフレーム ファンクション柱 パーゴラフレーム上乗せ部材 フレームサイドカバー Gウォール フリーウォール 角格子スクリーン 横格子スクリーン 横スリットスクリーン GBウォール 汎用形材 サニーブリーズフェンス G吊引戸 Gルーフ テラスタイル Gルーフ フリータイプ Gルーフ テラスタイル天井材 Gルーフ フリータイプ天井材 Gルーフ フリータイプ ボード天井材 Gルーフ カールルーフタイプ Gルーフ カールルーフタイプ天井材 Gルーフ デザイン樋 キャノピー LEDダウンライト ゲートフレーム コンセント柱 ルーバースクリーン ガーデンストレージ フレーム意匠部材 ライン照明 ワイドフレーム 縦格子タイプ、外付け縦格子タイプ、外付け横桟タイプ ガラス引戸	Gフレーム デザインフレーム Gフレーム ファンクション柱 Gフレーム パーゴラフレーム上乗せ部材 Gフレーム フレームサイドカバー Gウォール Gスクリーン フリーウォール Gスクリーン 角格子タイプ Gスクリーン 横格子タイプ Gスクリーン 横スリットタイプ Gスクリーン GBウォール Gスクリーン フリースクリーン枠 Gスクリーン サニーブリーズ取付け用枠 G吊引戸 Gルーフ テラスタイル Gルーフ フリータイプ Gルーフ 天井材テラスタイル Gルーフ 天井材フリータイプ Gルーフ フリータイプ ボード天井材 Gルーフ カールルーフタイプ Gルーフ 天井材カールルーフタイプ Gルーフ デザイン樋 Gフレーム キャノピー LEDダウンライト Gフレーム ゲートフレーム Gフレーム コンセント柱 Gスクリーン ルーバータイプ ガーデンストレージ I-G2 フレーム意匠部材 ライン照明 ワイドフレーム 縦格子タイプ、外付け縦格子タイプ、外付け横桟タイプ ガラス引戸	E313 A451 E292 E293 EXM017 C445 C366 C367 C409 C385 C383 C382 B073 E249 E258 E259 E257 EXM018 E399 E400 E401 E250 Z536 E300 E301 C433 E331 EXM012 EXM013 EXM014 EXM015 EXM016

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみが無いか確認してください。
＜推奨トルク＞ $\phi 4$ ネジ : $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
 $\phi 5$ ネジ : $3.0\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についていた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途準備してください。AC100Vを直接接続しないでください。

🔑 ポイント

- AC100V用照明用配線にはVVVF $\phi 1.6$ または $\phi 2.0$ の3芯単線(アース線を含む)を別途準備してください。

INDEX

1 施工の前の重要確認事項	5
1. 設計上・施工上の条件について	5
2 梱包明細表	14
3 基本寸法と各部名称	20
1. 基本寸法と各部名称	20
4 基礎工事	24
1. 基礎工事	24
5 フレームの施工	28
1. 部材の加工	28
2. 配管工事	30
3. 柱補強材の取付け	31
4. 柱フレームの取付け	32
5. フレーム・パーゴラフレームの躯体取付け	48
6. フレームカバーの取付け	56
7. デザイン格子デッキ上施工の取付け	59
8. デザイン格子埋込み施工の取付け	60
9. デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け	62
10. デザイン格子 外付けタイプの取付け	66
11. 150角フレーム施工時のGスクリーンの取付け	69
12. 壁上柱の取付け	70
13. 柱キャップの取付け	72
14. 調整金具の取付け	73
15. フレーム端部キャップの取付け	74
16. 柱の水抜き加工	74
17. フレーム、パーゴラフレーム、フレーム端部キャップのシーリング処理	75
18. スタイルシェード【Gフレーム用】の取付け	76

1 施工の前の重要確認事項

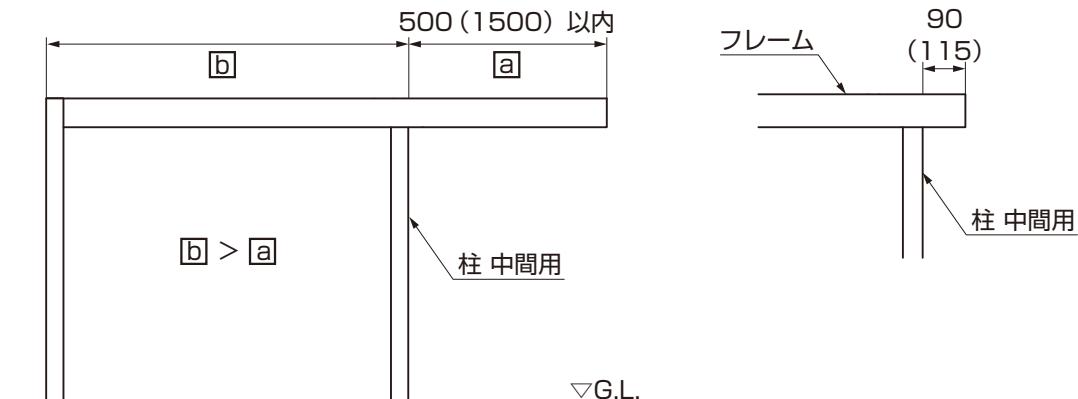
1. 設計上・施工上の条件について

※施工時には下記の事項を厳守してください。

◆ポイント

- Gルーフフリータイプ取付けの場合は必ず「Gルーフ フリータイプ 取付説明書(E258)」の「1 施工の前の重要確認事項」を合わせてご確認ください。

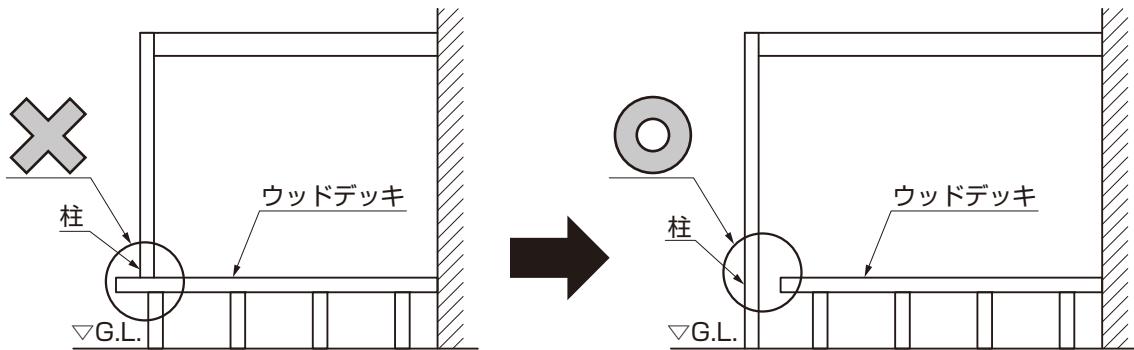
1-1 フレームを持出し施工する場合



◆ポイント

- フレームの持出し施工は、柱中間用からの持出し寸法を500mm以内にしてください。柱補強部品取付の場合は1500mm以内にしてください。
- Gルーフ フリータイプ取付けの場合、W方向への持出し寸法は柱補強部品の有無に関わらず500mm以内にしてください。
- 柱中間用の取付けはフレーム端部から90mm以上はなしてください。丸柱 中間用取付けの場合は115mm以上はなしてください。
- フレームの1本の物を使用してください。

1-2 柱の設置



◆ポイント

- ウッドデッキ上に柱の施工はできません。

1. (つづき)

1

1-3 シャッターS Fタイプとの接続

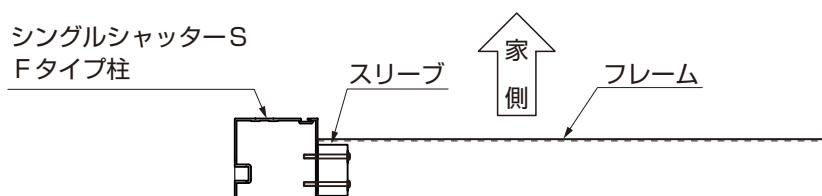
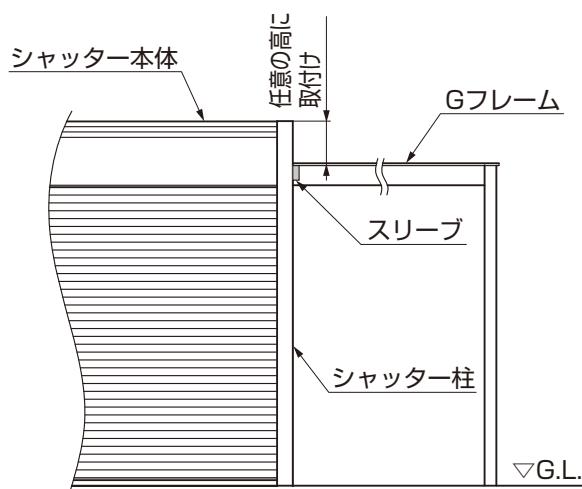


図1-1

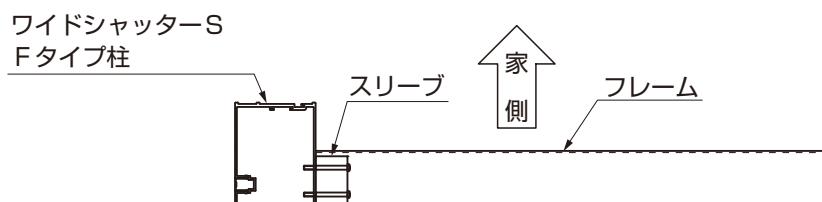


図1-2

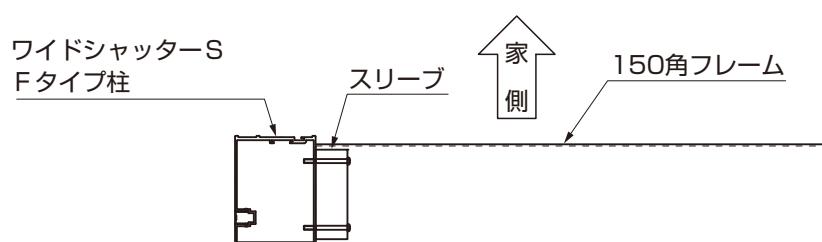
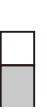
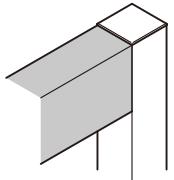
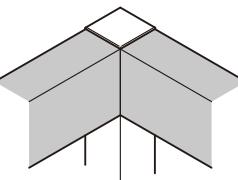
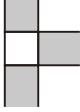
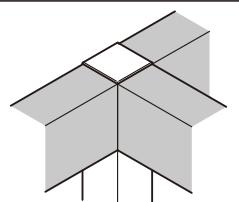
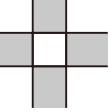
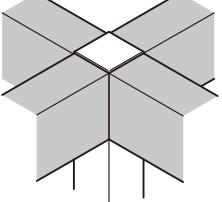
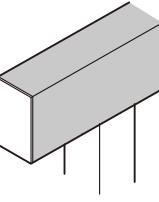


図1-3

ポイント

- シャッターとGフレームの接続は、シャッターの柱に対して任意の高さで接続が可能です。接続にはGフレームに同梱のスリーブを使用してください。
- 出幅方向はシャッターの柱の奥行きの範囲でフレームを接続してください。
- シングル・ワイドシャッターS Cタイプとの接続はできません。
- 150角フレームは、ワイドシャッターS Fタイプのみ接続できます。

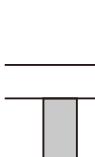
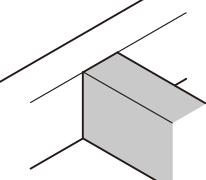
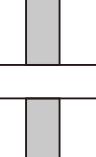
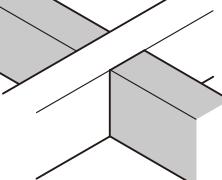
1-4 柱とフレームの接続

一方向	二方向	三方向
 	 	 
<p>※柱を使用してください。(90角または150角) ※柱は1方向に穴加工が必要です。 ※標準フレーム(サブフレーム、150角フレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	<p>※柱を使用してください。(90角または150角) ※柱は2方向に穴加工が必要です。 ※標準フレーム(サブフレーム、150角フレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	<p>※柱を使用してください。(90角または150角) ※柱は3方向に穴加工が必要です。 ※標準フレーム(サブフレーム、150角フレーム、220フレーム)を使用してください。</p>
四方向	持出し(※1)	
 		
<p>※柱を使用してください。(90角または150角) ※柱は4方向に穴加工が必要です。 ※標準フレーム(サブフレーム、150角フレーム、220フレーム)を使用してください。</p>	<p>※柱中間用、丸柱中間用、サブ柱中間用を使用してください。 ※端部キャップを使用してください。 ※持出し幅は500(1500※2)mm以内にしてください。</p>	

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。
- 持出しの場合(※1)フレームへのデザイン格子カバーの取付けはできません。
- ※2は柱補強部品取付の場合の持出し幅です。
- サブ柱H23へのフレームの取付けはできません。
- ラッピング形材にはシートの重なり面がありますので、意匠面を考慮して施工してください。

1-5 フレームとフレームの接続

T字	十字
 	 

※柱なしの場合も施工可能です。
 ※フレーム(標準・門・150角)を使用してください。

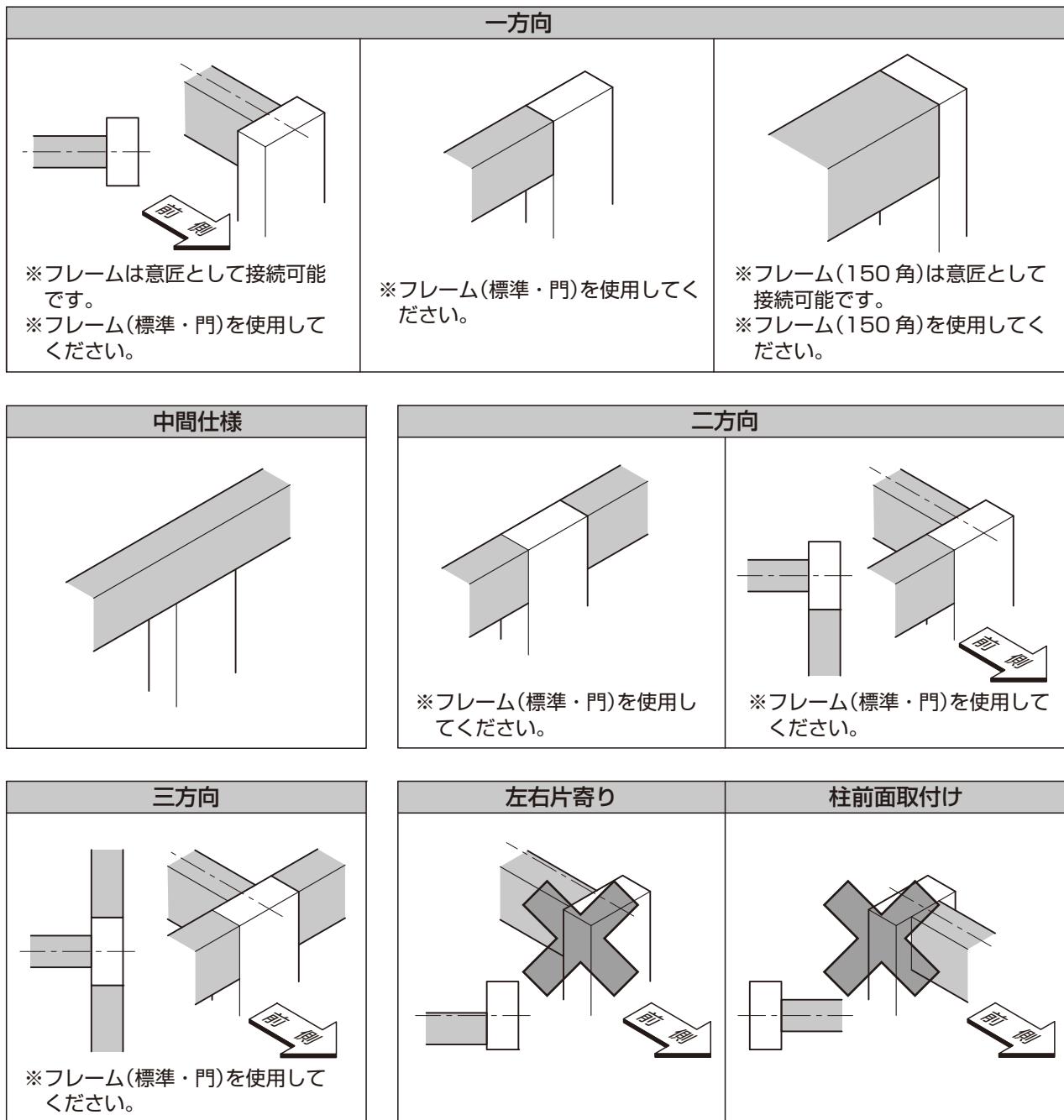
※柱なしの場合も施工可能です。
 ※フレーム(標準・門・150角)を使用してください。

ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。

1. (つづき)

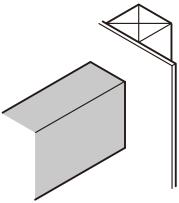
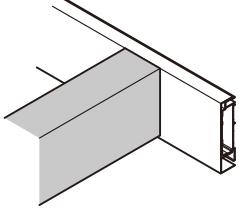
1-6 ファンクション柱とフレームの接続



ポイント

- 上記表にしたがって施工してください。
- ファンクション柱へのフレームの接続にはサイズの制限があります。取付け前に必ず「Gフレーム - ファンクション柱 - 取付説明書 (A451)」の「1.施工の前の重要確認事項」を参照してください。
- ファンクション柱裏面へは意匠として中央部へ接続してください。Gルーフの取付けはできません。
- ファンクション柱へのフレームデザインカバーコーナー用の取付けはできません。
- ファンクション柱裏面左右片寄り取付けはできません。
- ファンクション柱前面側取付けはできません。

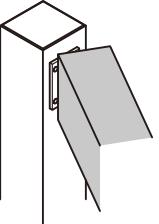
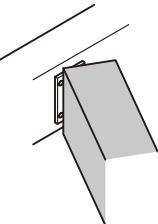
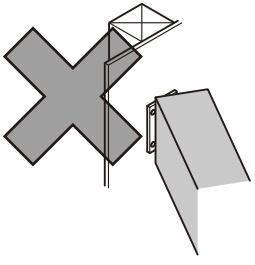
1-7 車体とフレームの接続

直付け	車体付けフレーム付け
 <p>※住宅側の柱および間柱へ取付けてください。 ※フレーム(標準・門)を使用してください。</p>	 <p>※ 住宅側の柱および間柱へ取付けてください。 ※ フレーム(標準・門・150角)サブフレームを使用してください。</p>



- 上記表にしたがって施工してください。

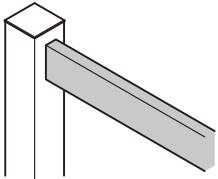
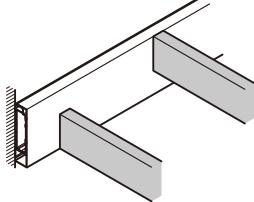
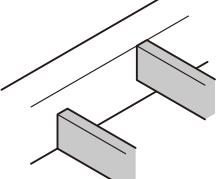
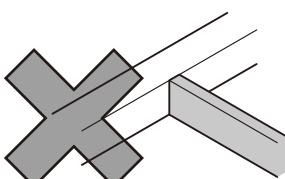
1-8 角度調整部材による施工

柱接続	フレーム接続	住宅への接続
 <p>$\pm 30^\circ$</p>	 <p>$\pm 30^\circ$</p>	



- 柱は、90角または150角を使用してください。
- フレーム(標準・門)を使用してください。
- 住宅への角度調整部材の取付けはできません。
- サブフレーム、150フレーム、220フレームへの取付けはできません。
- フレームに接続の場合は、フレーム(標準または150角)を接続してください。

1-9 パーゴラフレームの接続

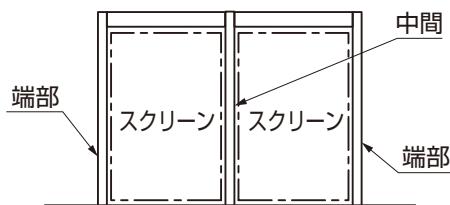
柱接続	車体付けフレーム付け	フレーム接続	サブフレーム接続
 <p>※柱は、90角または150角を使用してください。</p>	 <p>※車体付けフレームを使用してください。</p>	 <p>※フレーム(標準・門)150角フレーム・220フレームを使用してください。</p>	



- 上記表にしたがって施工してください。

1. (つづき)

1-10 柱強度区分



ポイント

- H24、H29サブ柱・H29中間柱・H35柱/中間柱は補強材付きです。
- ※1は縦枠の現場切詰めが必要です。
- ○はスクリーン取付け高さH:2450以下です。
- ■はスクリーン取付け高さH:2905以下です。

表1-1

○…標準 ●…補強材追加で可能 ×…取付け不可

		H15		H23		H24		H29		H35	
		柱・サブ柱		サブ柱		柱		サブ柱		柱	
		端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)	端部	連結部 (中間)
ルーバーH24・H29	W10	—	—	○	○	○	○	○	○	●	○
I-G2	W15	—	—	—	—	○	●	○	○	—	—
	W20	—	—	—	—	○	●	○	○	—	—
横格子	W15	—	—	○	●	○	●	○	○	●	○
	W20-H15	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○
	W20 0~6枚	—	—	○	●	○	●	○	○	●	○
角格子	W15 0~6枚(2段)	—	—	○	○	○	○	○	○	●	○
	W15 6~15枚	—	—	○	●	○	○	○	○	●	○
	W20-H15	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○
	W20 0~4枚(1段)	—	—	○	○	○	○	○	○	●	○
	W20 4~20枚	—	—	○	●	○	●	○	○	●	×
フリー スクリーン 枠	W10	H16	—	—	○	○	○	○	○	●	○
		H24	—	—	○	○	○	○	○	●	○
	W20	H16	—	—	○	●	○	●	○	●	○
		H24	—	—	○	●	○	○	●	●	○
サニー ブリーズ 取付け枠	T8	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	T10	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	T12	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	T16・T18	—	—	○	○	○	○	○	○	●	○
門扉(調整金具○取付)		—	—	—	—	●	●	—	●	●	—

※ 縦格子/外付け縦格子/外付け横桿格子タイプ H24・H29の区分は、取付説明書EXM-015を参照してください。

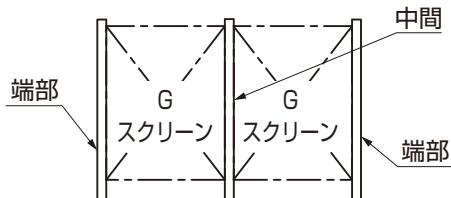


表1-2 縦長格子

		柱			サブ柱		ファンクション柱	
		H24	H29	H35	H23 (※3)	H24	H29	
W15	端部	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
	中間	●	●	○	●	○	○	×
W20	端部	○	●	○	○	○	○	×
下段有	中間	●	●	○	●	○	○	×
W20	端部	○	○	○	○	○	○	×
下段無	中間	●	●	○	●	○	○	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

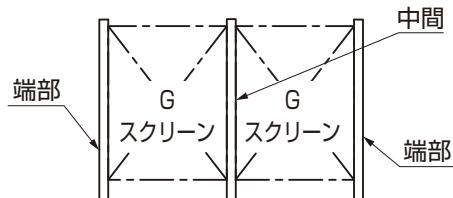


表1-3 横スリット

		柱			サブ柱			ファンクション柱		
		H15	H24	H29	H35	H15	H23 (※3)	H24	H29	ファンクション柱
W15	基本(1枚)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
	基本+連結 (+連結)※5	中間	○	○	●	○	○	○	○	×
W20	基本(1枚)	端部	—	○	○	—	○	○	○	△ (※4)
	基本+連結 (+連結)※5	中間	—	○[●]	●	—	○[●]	○	○	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

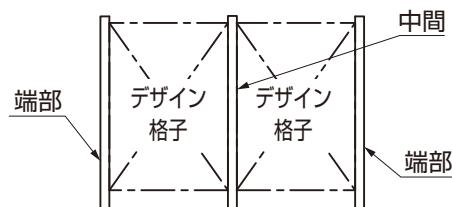
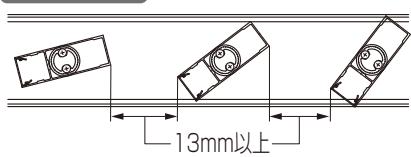


表1-4 デザイン格子

		柱				サブ柱				ファンクション柱
		H15	H24	H29	H35	H15	H23 (※3)	H24	H29	ファンクション柱
W10	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
	~2000 (2450※2)	中間	○	○	○	○	○	○	○	×
W15	~2900	端部	—	○	○	—	○	○	○	△ (※4)
	~500	中間	—	○	●	—	○	○	○	×
W20	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
	~2000 (2450※2)	中間	○	○	●	○	○	○	○	×
W20	~2900	端部	—	○	○	—	○	○	○	△ (※4)
	~500	中間	—	—	●	—	—	○	○	×
W20	~1000 (1500※1)	端部	○	○	○	○	○	○	○	△ (※4)
	~2000 (2450※2)	中間	○	●	●	○	○	●	○	×
W20	~2900	端部	—	—	●	—	—	—	○	△ (※4)
	~500	中間	—	—	●	—	—	—	×	×

○…使用可能 ●…補強材が必要 △…制限あり ×…不可

注意



●格子の隙間は13mm以上あけてください。手指のはざまれによるケガのおそれがあります。

ポイント

●上記表1-2、表1-3、表1-4にしたがって柱・サブ柱・ファンクション柱の施工を行なってください。

●[]はスクリーン取付け高さH:2905以下です。

●[]内は横スリットの場合を示します。

●柱・サブ柱の取付けは「Gフレーム取付け説明書(E248)」を参照してください。

●※1 H15使用の場合

●※2 H24使用の場合

●※3のサブ柱H23へのフレーム付け施工はできません。

●※4は「Gフレーム-ファンクション柱-取付説明書(A451)」の「1.施工前的重要確認事項」を参照してください。

●※5 横スリット複合施工の場合は横スリットを参考にしてください。

●H35柱へのGスクリーンの取付けの場合、高さH2905以上への取付けはできません。

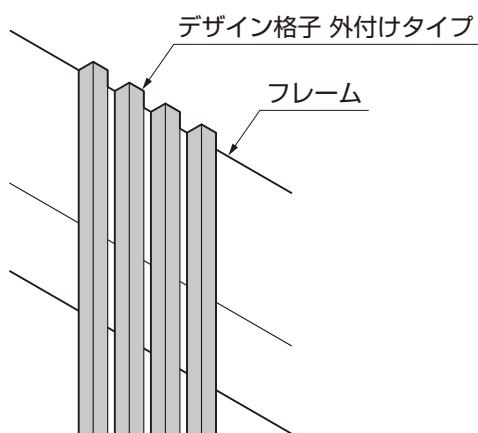
●H24、H29サブ柱中間用及びH35柱の中間柱は補強材付きです。

1. (つづき)

1-11 デザイン格子 外付けタイプの取付け可否

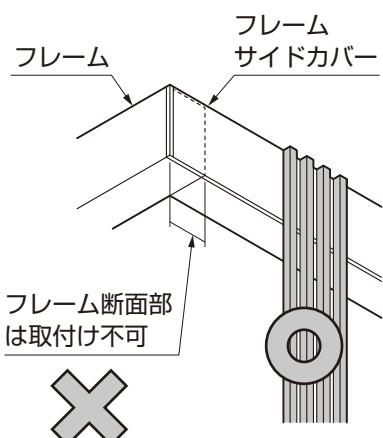
●取付可能なフレーム

- ・フレーム
- ・150角フレーム
- ・220フレーム
- ・ワイドフレーム（メインフレーム部のみ）



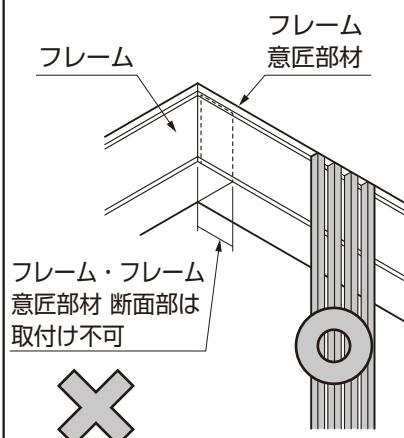
●フレームサイドカバー使用時の注意点

フレームサイドカバー使用時、直行するフレームの断面部分には取付できません。



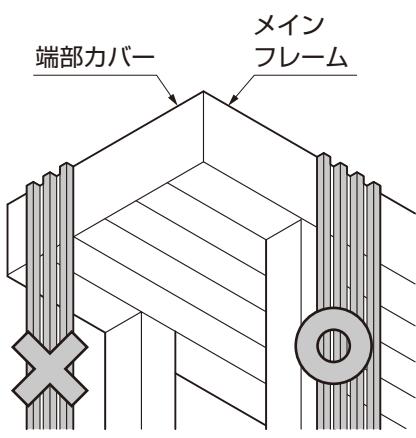
●フレーム意匠部材使用時の注意点

フレーム意匠部材使用時、コーナー部（形材断面部分）には取付できません。



●ワイドフレームへの取付けに関する注意点

ワイドフレームはメインフレーム部のみ取付け可能です。端部カバー部分には取付できません。



メモページ

2 梱包明細表

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数	
		90角柱	150角柱
柱		1	1
アンカー棒		1	1

【2】柱 中間用セット

名 称	略 図	員 数	
		90角柱	150角柱
柱 中間用		1	1
中間柱取付金具		1	1
アンカー棒		1	1
【2-1】 φ5×16ナベドリルネジ		4	6
【2-2】 φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		4	4

【3】柱 (補強材入) セット

名 称	略 図	員 数
柱_H35補強材付		1
アンカー棒		1

【4】柱 中間用 (補強材入) セット

名 称	略 図	員 数
柱 中間用_H35補強材付		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【4-1】 φ5×16ナベドリルネジ		4
【4-2】 φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		4

【5】柱補強材セット

名 称	略 図	員 数
柱補強材_90×90		1
【5-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4

【6】サブ柱セット

名 称	略 図	員 数
サブ柱		1
アンカー棒		1

【7】サブ柱 中間用(補強材入) セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
サブ柱 中間用_補強材付		1	1
サブ柱取付金具		1	1
アンカー棒		1	1
【7-1】 φ5×16ナベドリルネジ		4	4
【7-2】 φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		2	2

【8】丸柱 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
丸柱		1
丸柱用フレームカバー		9
丸柱フレームカバー加工治具		1
丸柱取付金具		1
中間柱補強金具		2
アンカー棒		1
【8-1】 φ5×16ナベドリルネジ		6
【8-2】 φ5×30ナベタッピン ネジ2種 D=9 G=5		4
【8-3】 M5×10ナベ小ネジ		2

【9】サブ柱補強材セット

名 称	略 図	員 数
サブ柱補強材_45×90		1
【9-1】φ4×13ナベドリルネジ		2

【10】フレーム施工キットA

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
取付説明書 Gフレーム <E248>	-	1
取扱説明書 Gフレーム <UE067>	-	1

【12】フレーム標準90×150セット

名 称	略 図	員 数							
		標準 W10	標準 W15	標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W50	標準 W55	標準 W60
フレーム 標準 90×150		1	1	1	1	1	1	1	1
フレーム 標準 スリーブ		2	2	2	2	2	2	2	2
フレームカバー 標準 90×150		1	1	1	1	1	2	2	2
フレーム取付金具 90×150		2	2	2	2	2	2	2	2
【12-1】φ5×16ナベドリルネジ		12	12	12	12	12	12	12	12
【12-2】φ5×70ナベドリルネジ		10	10	10	10	10	10	10	10
【12-3】φ6×120六角コーチスクリュー		2	2	2	2	2	2	-	-

【13】フレーム150角セット

名 称	略 図	員 数			
		標準 W20	標準 W30	標準 W40	標準 W60
フレーム 150角		1	1	1	1
150角フレーム スリーブ		2	2	2	2
フレームカバー 150角		1	1	1	2
フレーム取付金具 150角		2	2	2	2
フレームカバー150角 取付金具		5	7	9	14
【13-1】φ4×10 ト拉斯タッピンネジ3種		5	7	9	14
【13-2】φ5×16ナベドリルネジ		18	18	18	18
【13-3】φ5×70ナベドリルネジ		16	16	16	16

■梱包明細表(つづき)

【14】フレーム 門扉モジュールセット

名 称	略 図	員 数	
		門扉モジュール	
		W14	W16
フレーム 門扉モジュール		1	1
スリーブ		2	2
フレームカバー 門扉モジュール		1	1
フレーム取付金具		2	2
【14-1】 φ5×16ナベドリルネジ		12	12
【14-2】 φ5×70ナベドリルネジ		10	10

【15】220フレームセット

名 称	略 図	員 数
220フレーム W60		1
220フレーム用スリーブ		2
フレームカバー W60 A		1
フレームカバー W60 B		1
220用柱補強裏板		2
フレーム取付金具		2
【15-1】 φ5×16ナベドリルネジ		12
【15-2】 φ5×70ナベドリルネジ		12

ポイント

- フレームとサブフレーム取付部材(追加用)セットに同梱されているφ5×16のネジ頭には色付があります。このネジはフレームの色に合わせて使用してください。

【16】サブフレーム 標準セット

名 称	略 図	員 数			
		W10	W15	W20	W30
サブフレーム 標準		1	1	1	1
フレームカバー		1	1	1	1
サブフレーム用スリーブ		2	2	2	2
フレーム取付金具		2	2	2	2
【16-1】 φ5×70ナベドリルネジ		8	8	8	8
【16-2】 φ5×16ナベドリルネジ		12	12	12	12
【16-3】 φ6×120六角コーチスクリュー		2	2	2	2

【17】フレーム取付部材(追加用)セット

名 称	略 図	員 数
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【17-1】 φ5×70ナベドリルネジ		8
【17-2】 φ5×16ナベドリルネジ		12

【18】サブフレーム取付部材(追加用)セット

名 称	略 図	員 数
サブフレーム用スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【18-1】 φ5×70ナベドリルネジ		8
【18-2】 φ5×16ナベドリルネジ		12

【19】フレーム150角用フレーム取付部材(追加用)セット

名 称	略 図	員 数
150角フレーム スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【19-1】 φ5×70ナベドリルネジ		16
【19-2】 φ5×16ナベドリルネジ		12

【20】軀体付けフレームセット

名 称	略 図	員 数			
		W10	W20	W30	W40
軀体付フレーム		1	1	1	1
軀体付フレームカバー		1	1	1	1
軀体付フレーム端部キャップ		2	2	2	2
【20-1】 φ4×12ナベタッピンネジ3種 D=7		2	2	2	2
【20-2】 φ6×70六角コーチスクリュー		3	4	5	6
【20-3】 φ6×100六角コーチスクリュー		3	4	5	6

【21】150角フレーム用スクリーン隙間カバーセット

名 称	略 図	員 数				
		標準W10	標準W15	標準W20	標準W30	標準W40
スクリーン隙間カバー		2	2	2	2	2
【21-1】 φ4×16ナベドリルネジ		6	8	10	12	14

【22】150角フレーム用隙間カバーセット

名 称	略 図	員 数
隙間カバー		1
【22-1】 φ4×16ナベドリルネジ		2

【23】柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
柱キャップ		1

【24】150角柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
150角柱キャップ		1
キャップ取付部材		4

【25】フレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
フレーム端部キャップ		1
フレーム150角端部キャップ		1
【25-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4

【26】220フレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
220フレーム端部キャップ		1
【26-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4

【27】サブフレーム端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
サブフレーム端部キャップ		1
【27-1】 φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		4

■梱包明細表(つづき)

【28】角度調整部材セット

名 称	略 図	員 数
角度調整受け		1
角度調整軸		1
角度調整部品A		1
角度調整部品B		1
ネジ頭隠しシール		4
【28-1】φ5×25サラタッピンネジ3種		4
【28-2】φ5×25ナベドリルネジ		4
【28-3】φ4×8ナベタッピンネジ2種		2

【29】キャップ取付部材追加

名 称	略 図	員 数
キャップ取付部材		20

【30】パーゴラフレームセット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム		1
パーゴラフレームカバー		1
パーゴラフレーム取付金具		2
【30-1】φ4×16ナベドリルネジ		8

【31】パーゴラフレーム30×150セット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム30×150		1
パーゴラフレームカバー30×150		1
パーゴラフレーム30×150取付金具		2
【31-1】φ4×16ナベドリルネジ		8
【31-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		2

【32】パーゴラフレーム躯体取付部材セット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム躯体取付スリーブ		1
【32-1】φ6×120六角コーチスクリュー		2
【32-2】φ4×50ナベドリルネジ		2
【32-3】φ4×10ナベドリルネジ		2

【33】パーゴラフレーム躯体取付部材(追加用) セット

名 称	略 図	員 数
パーゴラフレーム取付金具		2
【33-1】φ4×16ナベドリルネジ		8

【34】150角 パーゴラフレーム取付金具セット

名 称	略 図	員 数
150角 パーゴラフレーム取付金具		2
【34-1】φ4×16ナベドリルネジ		8

【35】調整金具取付部材セット

名 称	略 図	員 数
調整金具施工治具		1
【35-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8

【36】デザイン格子セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
デザイン格子		1	1
デザイン格子カバー		1	1
デザイン格子取付部材上用		1	1
デザイン格子取付部材下用		1	1
アンカー		2	—
【36-1】φ4×16ナベドリルネジ		4	4
【36-2】φ5×70ナベドリルネジ		2	2
【36-3】φ4×50トラスタッピンネジ1種		2	—

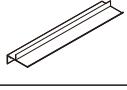
【37】デザイン格子 30×150セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
デザイン格子30×150		1	1
デザイン格子カバー		1	1
デザイン格子取付部材上用		1	1
デザイン格子取付部材下用		1	1
アンカー		2	—
【37-1】 φ4×16ナベドリルネジ		4	4
【37-2】 φ5×70ナベドリルネジ		2	2
【37-3】 φ4×50トラスタッピンネジ1種		2	—

【38】デザイン格子 外付けタイプセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	
デザイン格子 外付けタイプ格子		1	
デザイン格子 外付けタイプ格子カバー		1	
外付格子端部キャップ		1	
【38-1】 φ4×19 ナベ(PAN)ドリルネジ		3	
【38-2】 φ4×50 ナベドリルネジ		1	

【39】施工補助部材セット

名 称	略 図	員 数	
		W40用	
施工補助部材		1	
【39-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4	

【40】φ4×30ナベドリルネジセット (50本入り)

名 称	略 図	員 数
【40-1】 φ4×30 ナベドリルネジ		50

【41】柱補強部品 標準柱用セット

名 称	略 図	員 数
柱補強裏板		1

【42】柱補強部品 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
中間柱補強金具		2
【42-1】 φ5×16ナベドリルネジ		2
【42-2】 φ5×10ナベ小ネジ		2

【43】壁上柱部材セット

名 称	略 図	員 数
壁上柱部材 150角柱		1
壁上柱部材 取付金具		1
150角柱 中間柱取付金具		1
【43-1】 φ5×30ナベ タッピンネジ2種		4
【43-2】 φ5×16ナベドリルネジ		6
【43-3】 φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4
【43-4】 M8×70オールアンカー		4

【44】デザイン格子 埋込み施工補助部材セット

名 称	略 図	員 数
埋込み施工補助部材		1
取付金具		2
【44-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【44-2】 M4×12ナベ小ネジ		3
【44-3】 M4六角ナット		1

3 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法と各部名称

※Gルーフ フリータイプ取付の場合の施工寸法は「Gルーフ -フリータイプ-取付説明書 (E258)」を参照してください。

1-1 標準

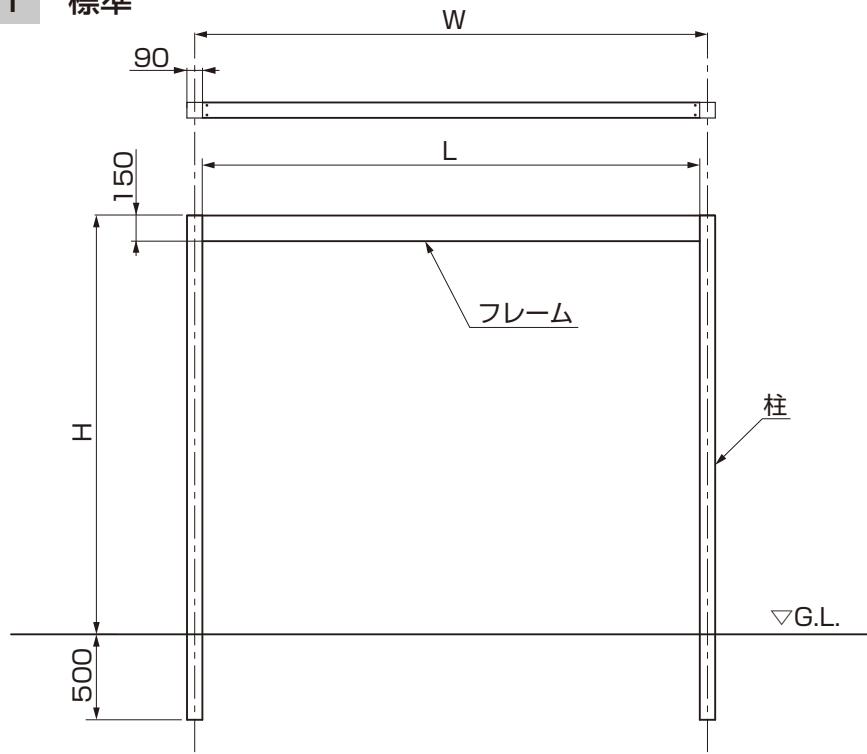


表1-1

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

表1-2

	W	L
W10	1000	910
W15	1500	1410
W20	2000	1910
W30	3000	2910
W40	4000	3910
W50	5000	4910
W55	5500	5410
W60	6000	5910

図1-1

1-2 150角

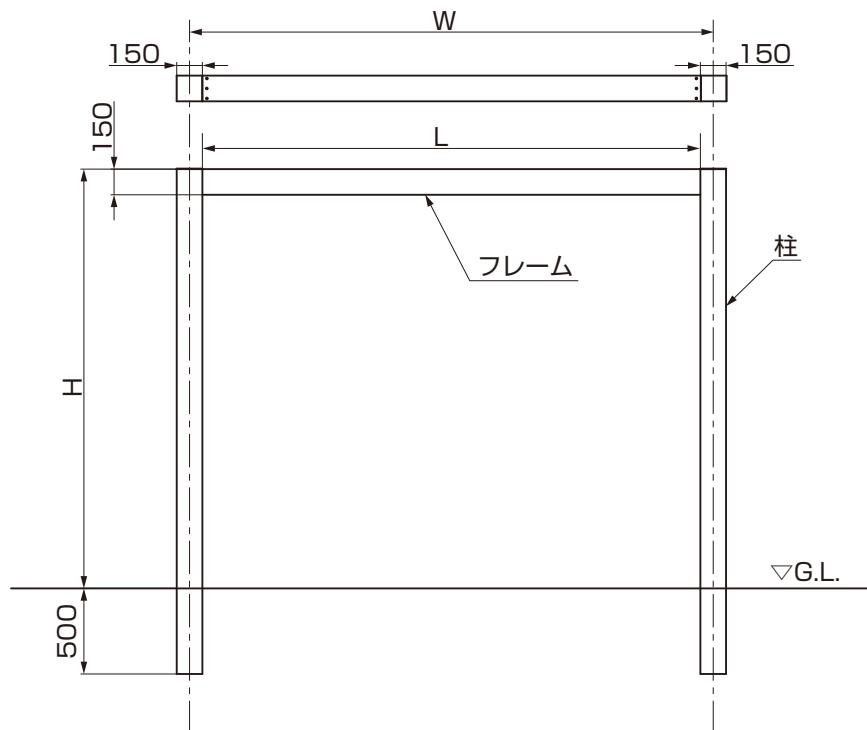


表1-3

	H
H24	2450
H29	2905

表1-4

	W	L
W20	2060	1910
W30	3060	2910
W40	4060	3910
W60	6060	5910

図1-2

1-3 門扉モジュール

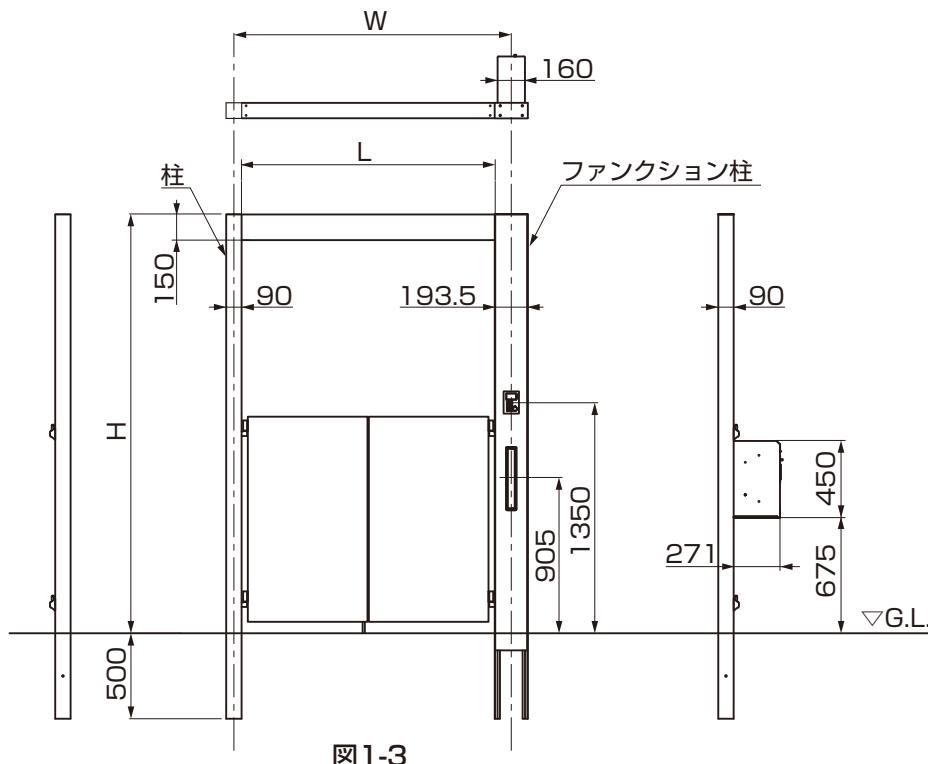


図1-3

表1-3

	H
H24	2450
H29	2905

表1-4

	W	L
W14	1622.8	1481
W16	1822.8	1681

1-4 丸柱・中間用

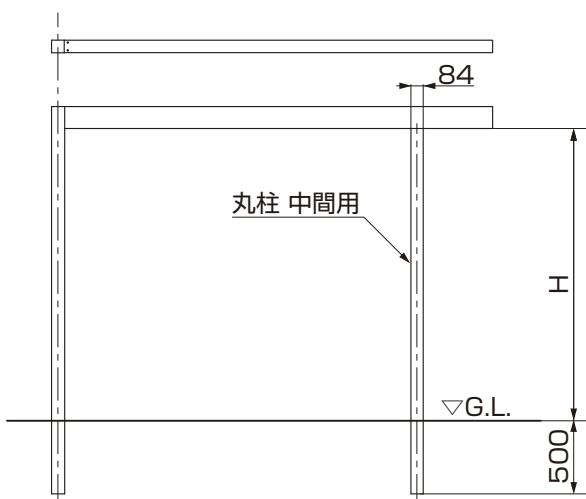


表1-5

	H
H24	2300
H29	2755

図1-4

1. (つづき)

1-5 デザイン格子

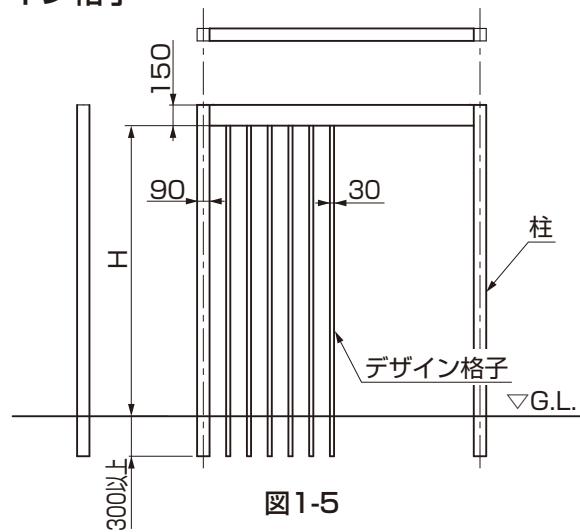


表1-8

	H
H24	2300
H29	2755

1-6 デザイン格子外付け仕様

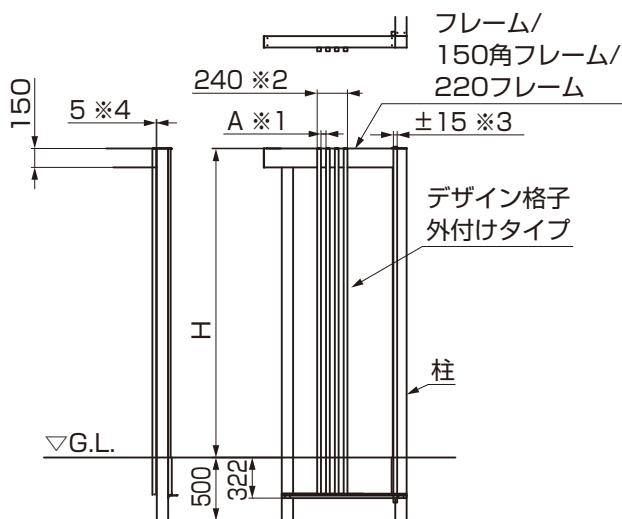


表1-9

	H
H24	2450

※1)最大隙間寸法：40、最少隙間寸法：5

※2)最低使用本数制限：4本以上

※3)柱端部から±15はネジ止め不可

※4)入隅部の取付制限 最少隙間寸法：5

図1-6

1-7 サブフレーム

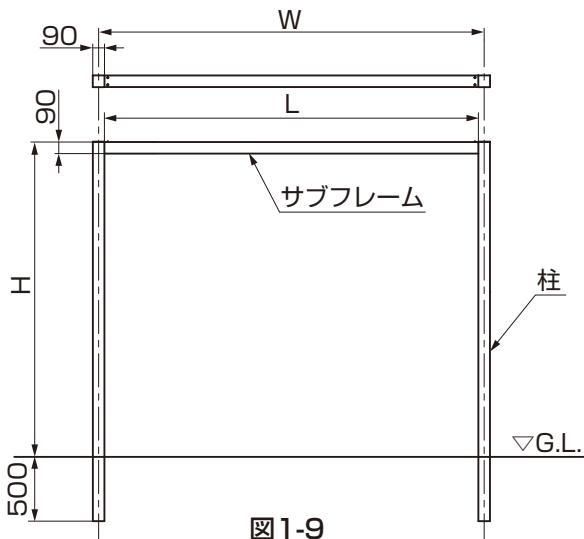


表1-10

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

1-8 220フレーム

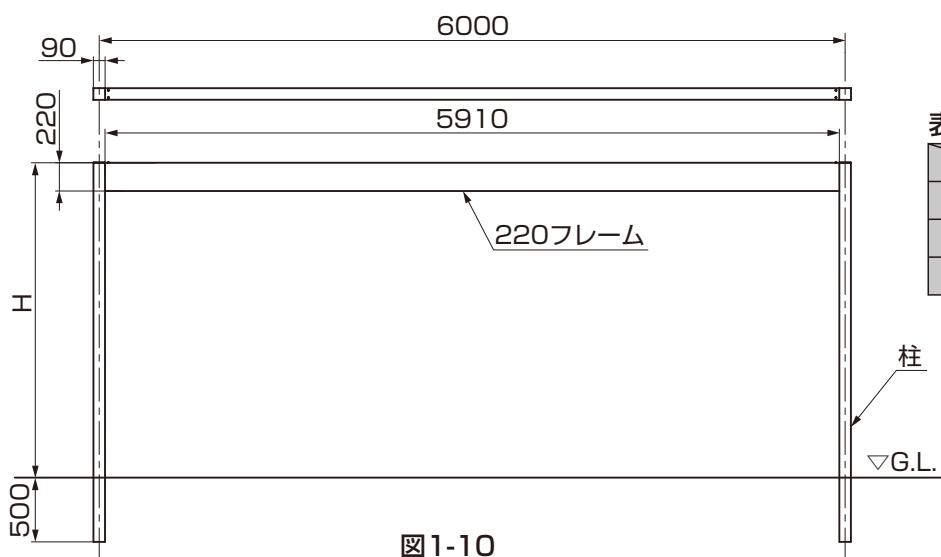
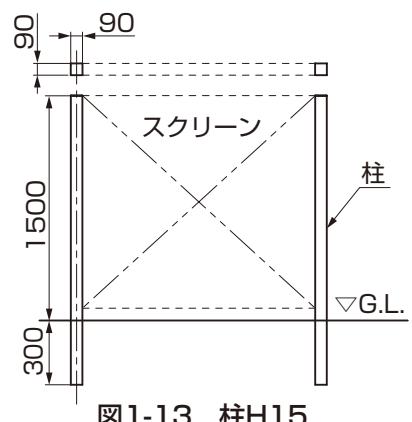
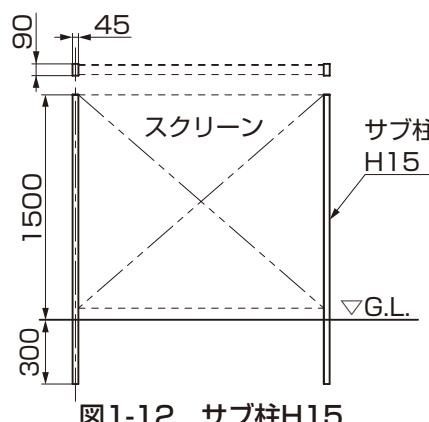
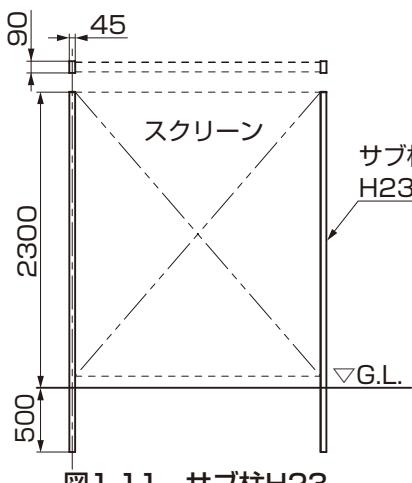


表1-12

	H
H24	2450
H29	2905
H35	3505

1-9 サブ柱 H23、H15・柱H15



4 基礎工事

1. 基礎工事

1-1 柱基礎寸法

(1) 基礎寸法

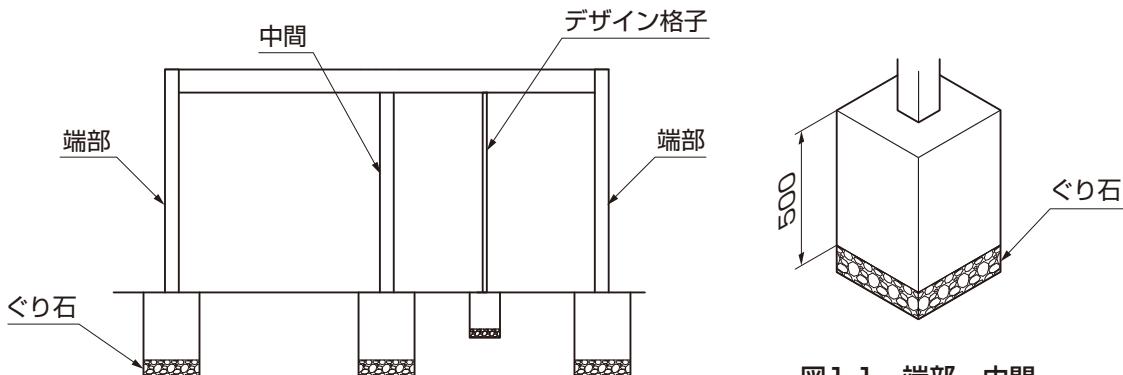


図1-1 端部・中間

(2) フレームのみ施工する場合

表1-1

		H24		H29		H35	
		中間	端部	中間	端部	中間	端部
フレーム	W40以下	<input type="checkbox"/> 350		<input type="checkbox"/> 400		<input type="checkbox"/> 450	
	W40以上	<input type="checkbox"/> 400		<input type="checkbox"/> 450		<input type="checkbox"/> 650	<input type="checkbox"/> 450
サブフレーム				<input type="checkbox"/> 300			
220フレーム		<input type="checkbox"/> 550	<input type="checkbox"/> 400	<input type="checkbox"/> 600	<input type="checkbox"/> 400	<input type="checkbox"/> 700	<input type="checkbox"/> 500
門扉を吊る場合		<input type="checkbox"/> 650	<input type="checkbox"/> 500	<input type="checkbox"/> 700	<input type="checkbox"/> 500	<input type="checkbox"/> 800	<input type="checkbox"/> 600

(3) ルーフを施工する場合

*門扉を吊る場合はそれぞれの値に100mm加算してください。
*ガラス引戸を取付ける場合は、「EXMO16ガラス引戸取付説明書」を参照してください。

表1-2

		4尺	6尺	8尺
テラスタイル	1.0間	<input type="checkbox"/> 400		
	1.5間	<input type="checkbox"/> 400	<input type="checkbox"/> 400	
	2.0間	<input type="checkbox"/> 400	<input type="checkbox"/> 450	
フリータイプ		<input type="checkbox"/> 400 (全サイズ)		

(4) デザイン格子を施行する場合 *デザイン格子外付けタイプの場合も同様となります。

表1-3

	H24	H29	基礎深さ
デザイン格子	<input type="checkbox"/> 200		300



●デザイン格子・デザイン格子 外付けタイプ共に施工補助部材を使用する場合は、深さ300以上、奥行300以上の連続基礎としてください。

(5) スクリーンを施工する場合

※Gルーフ取付けの場合は表1-4～表1-7に+100mm加算してください。

※柱に調整金具Hを使用して門扉を吊る場合は表1-4～表1-7に+100mm加算してください。

※柱に調整金具Oを使用して門扉を吊る場合は中間サイズにしてください。

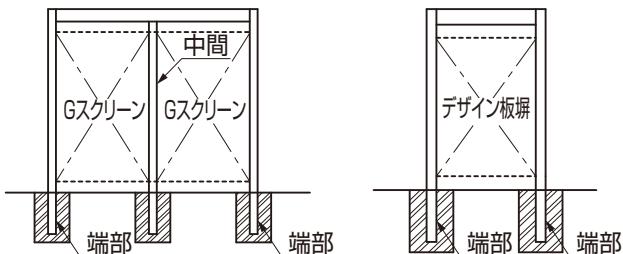


表1-4

		基礎サイズ							
		H15		H23・H24		H29		H35	
		端部	中間	端部	中間	端部	中間	端部	中間
ルーバー	H24	—	—	400	600	450	700	500	750
ルーバー	H29	—	—	—	—	450	700	500	750
I-G2	W15	—	—	450	700	—	—	—	—
I-G2	W20	—	—	550	800	—	—	—	—
横格子	W15	—	—	500	700	550	850	600	850
	W20-H15	500	650	500	750	600	900	650	900
	W20 0～3枚	—	—	500	750	550	800	550	850
	W20 4～6枚	—	—	600	850	650	900	650	950
角格子	W15 0～6枚(2段)	—	—	400	600	450	700	500	750
	W15 6～15枚	—	—	500	750	600	850	600	900
	W20-H15	500	650	500	750	600	900	650	900
	W20 0～4枚(1段)	—	—	400	600	450	700	500	700
	W20 4～20枚	—	—	600	850	700	950	700	1000
フリー スクリーン枠	W10			400	600	450	650	450	700
	H16			400	600	450	700	500	750
	H24			550	800	700	900	650	950
	W20			600	850	700	1000	700	1000
サニーブリーズ 取付け枠	T8			400	500	400	600	400	600
	T10			400	550	400	600	400	650
	T12			400	550	400	650	450	700
	T16			400	600	450	700	450	700
	T18			400	600	450	700	500	750

※縦格子/外付け縦格子/外付け横桟格子タイプ H24・H29の区分は、取付説明書EXM-015を参照してください。

ポイント

- 軸体接続の場合は中間の基礎への荷重が軽減されるため、端部の基礎寸法へ変更することができます。
- はスクリーン取付け高さH：1600以下です。
- はスクリーン取付け高さH：2450以下です。
- はスクリーン取付け高さH：2905以下です。

1. (つづき)

表1-5

			基礎サイズ					
			H15		H24		H29	
			端部	中間	端部	中間	端部	中間
横スリット	W15	基本1枚	□450	□550	□400	□600	□500	□700
		基本2枚	—	—	□450	□650	□550	□800
		基本1枚+連結1枚	—	—	□450	□650	□500	□750
		基本1枚+連結2枚	—	—	□450	□650	□550	□800
		基本1枚+連結3枚	—	—	—	—	□550	□800
	W20	基本1枚	□450	□600	□450	□700	□550	□800
		基本2枚	—	—	□550	□750	□650	□900
		基本1枚+連結1枚	—	—	□500	□750	□600	□850
		基本1枚+連結2枚	—	—	□550	□750	□650	□900
		基本1枚+連結3枚	—	—	—	—	□650	□900
縦長格子	W15	下段パネル 有			□450	□700	□550	□800
		下段パネル 無			□550	□800	□650	□950
	W20	下段パネル 有			□500	□750	□600	□850
		下段パネル 無			□500	□750	□600	□850

表1-6

			基礎サイズ					
			H15		H24		H29	
			端部	中間	端部	中間	端部	中間
デザイン格子	W10	~500		□400				
		~1000		□400	□450			
		~1500				□400	□600	
		~2000	—	—			□450	□700
		~2450	—	—				
		~2900	—	—	—	—		
	W15	~500		□400	□450			
		~1000		□400	□550			
		~1500				□450	□700	
		~2000	—	—		□700		
		~2450	—	—	□500		□550	□800
	W20	~500	□400	□500	□400	□550	□450	□650
		~1000	□450	□600	□450	□650	□500	□750
		~1500		□650				
		~2000	—	—	□550	□800		□900
		~2450	—	—			□650	
		~2900	—	—	—	—		□950

表1-7 デザイン格子取付範囲本数目安

目安枚数			
	水平	45°	垂直
~500	15	5	5
~1000	30	11	11
~2000	60	23	22
~2900	87	33	32

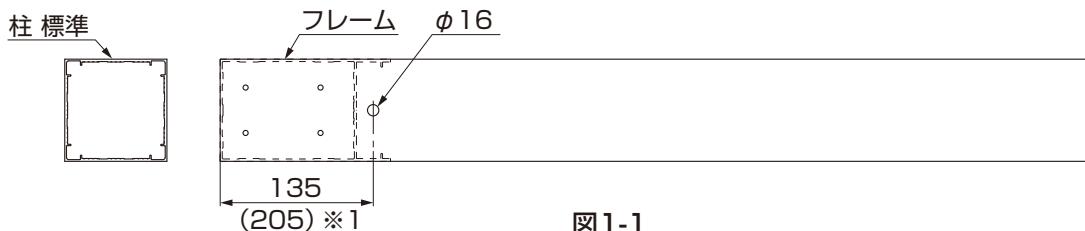
メモページ

5 フレームの施工

1. 部材の加工

1-1 柱の加工 ※LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。

(1) ダウンライトを取付ける場合

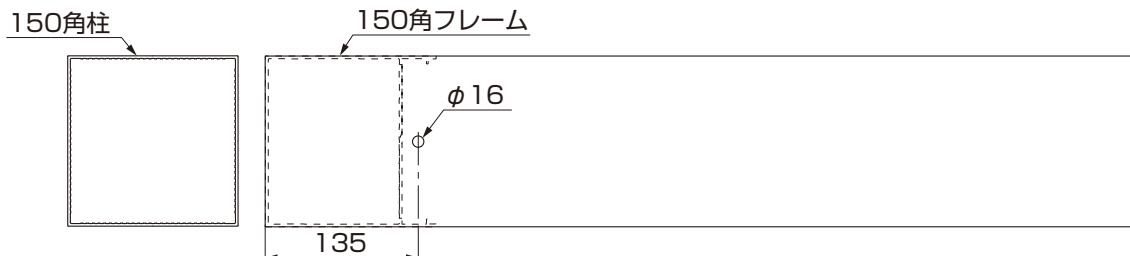


①柱 標準を図1-1を参照してφ16の穴をあけてください。



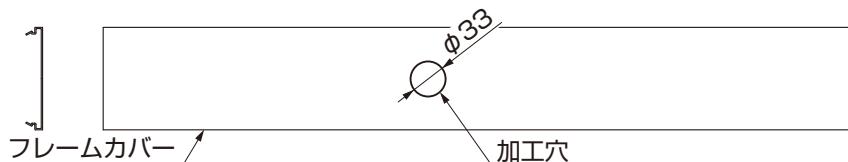
●()内寸法(※1)は220フレームの場合です。

(2) ダウンライトを取付ける場合 (150角柱の場合)



①柱 150角を図1-2を参照してφ16の穴をあけてください。

1-2 フレームカバーの加工 ※LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。
※図は標準フレームの場合を示します。



①フレームカバーを図1-5を参照してφ33の穴をあけてください。



●LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書 (Z536)」を参照してください。
●LEDスクエアライトの取付けはP.44を参照してください。

1-3 フレームの加工 ※フレームを切断加工した場合の作業です。

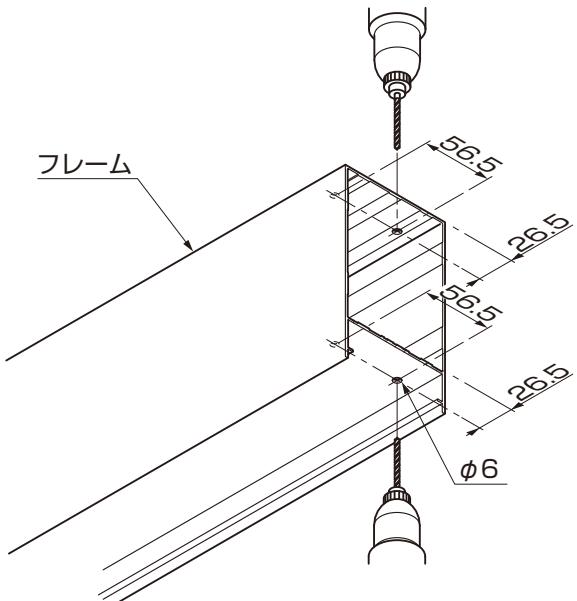


図1-6

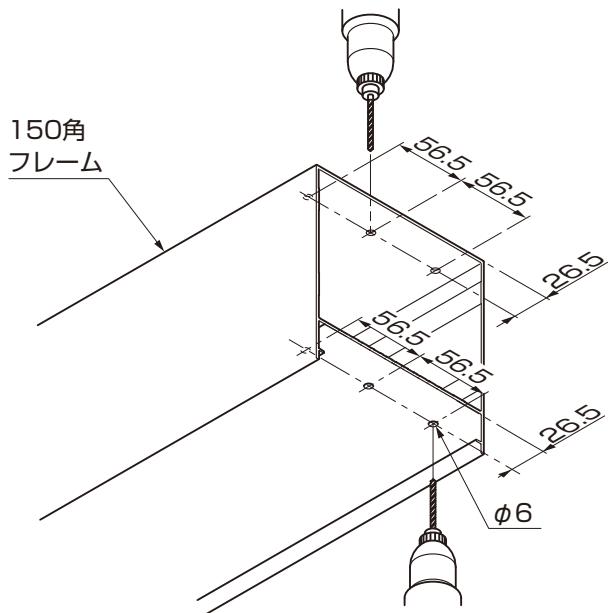


図1-7

①フレームを図1-6（150角の場合は図1-7）を参照して加工してください。

1-4 取付金具の取付け ※デザイン格子埋込み施工補助部材の取付けの場合です。

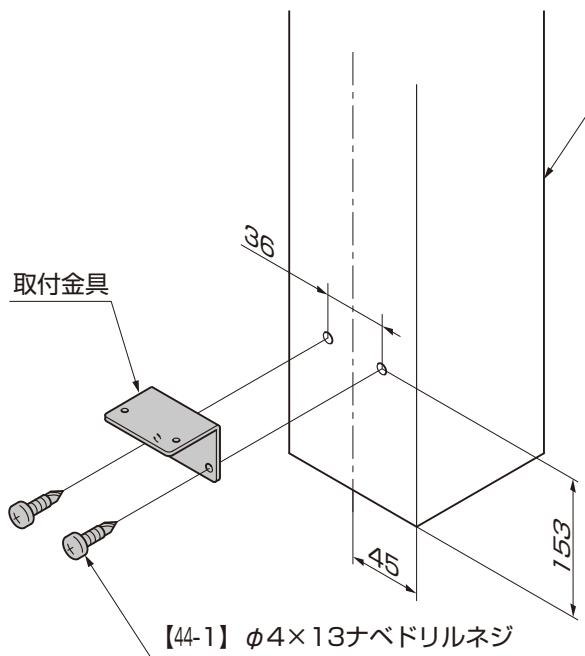


図1-8

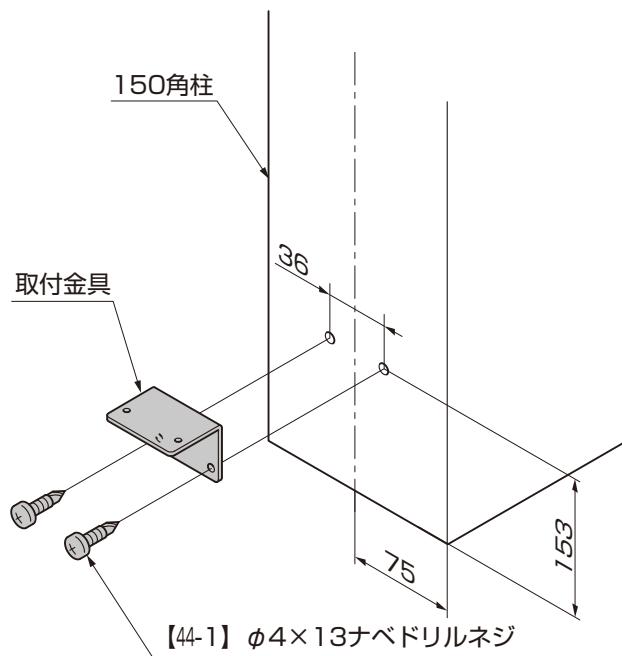


図1-9

①埋込み施工補助部材の取付金具を柱に【44-1】で取付けてください。

1. (つづき)

1-5 パーゴラフレームの加工

※パーゴラフレームを切断加工した場合の作業です。

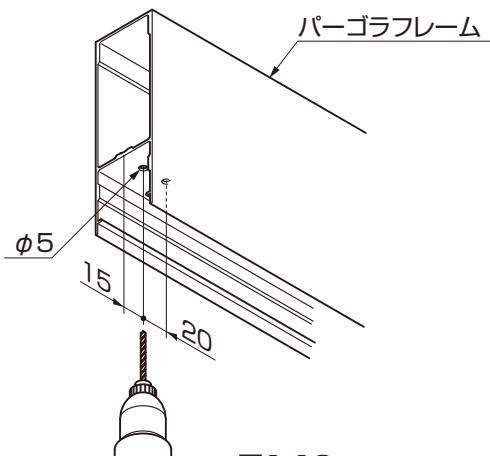


図1-10

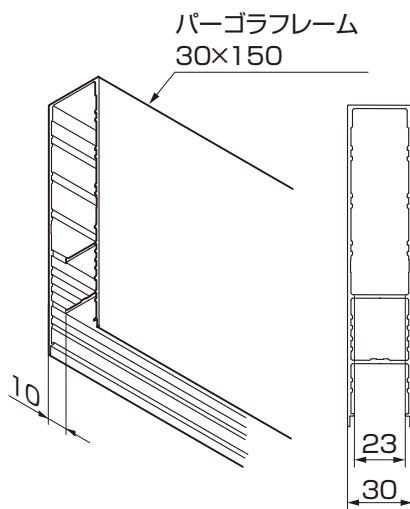
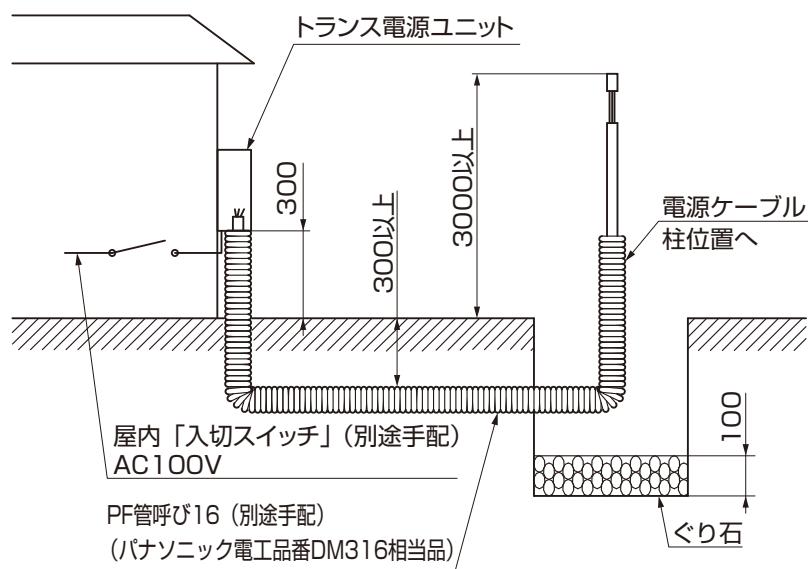


図1-11

- ①パーゴラフレームを図1-10を参照して取付穴の加工をしてください。
- ②パーゴラフレーム30×150の場合、切断加工をした後に、図1-11を参照して切断端部から奥へ10mm切り欠き加工をして、幅を23mm切り欠き加工をしてください。（切り欠き加工をしないと取付金具の厚み分隙間が空いてしまいます。）

2. 配管工事

※DC12V LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合の作業です。



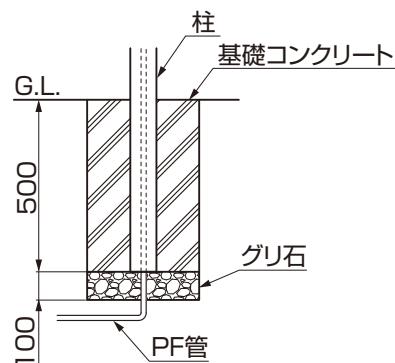
ポイント

- 天井材フリータイプへDC12V LEDダウンライト、LEDスクエアライトを取付ける場合は、「Gルーフ 天井材フリータイプ 取付説明書〈E257〉」を参照ください。

①照明用の配線配管をしてください。

ポイント

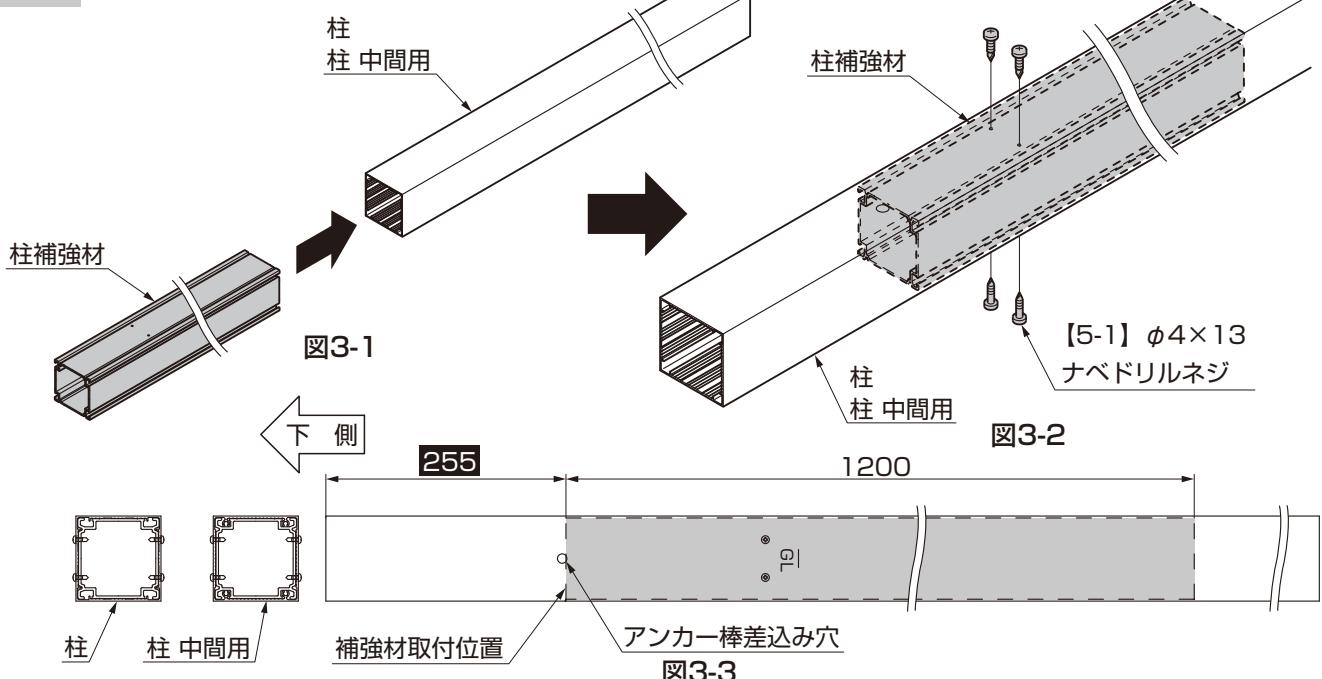
- PF管、入切スイッチ等は別途現場手配してください。



3. 柱補強材の取付け ※柱補強材が必要な場合の作業です。

(「1 施工の前の重要確認事項 1-10 柱強度区分」参照)

3-1 柱・柱 中間用の場合

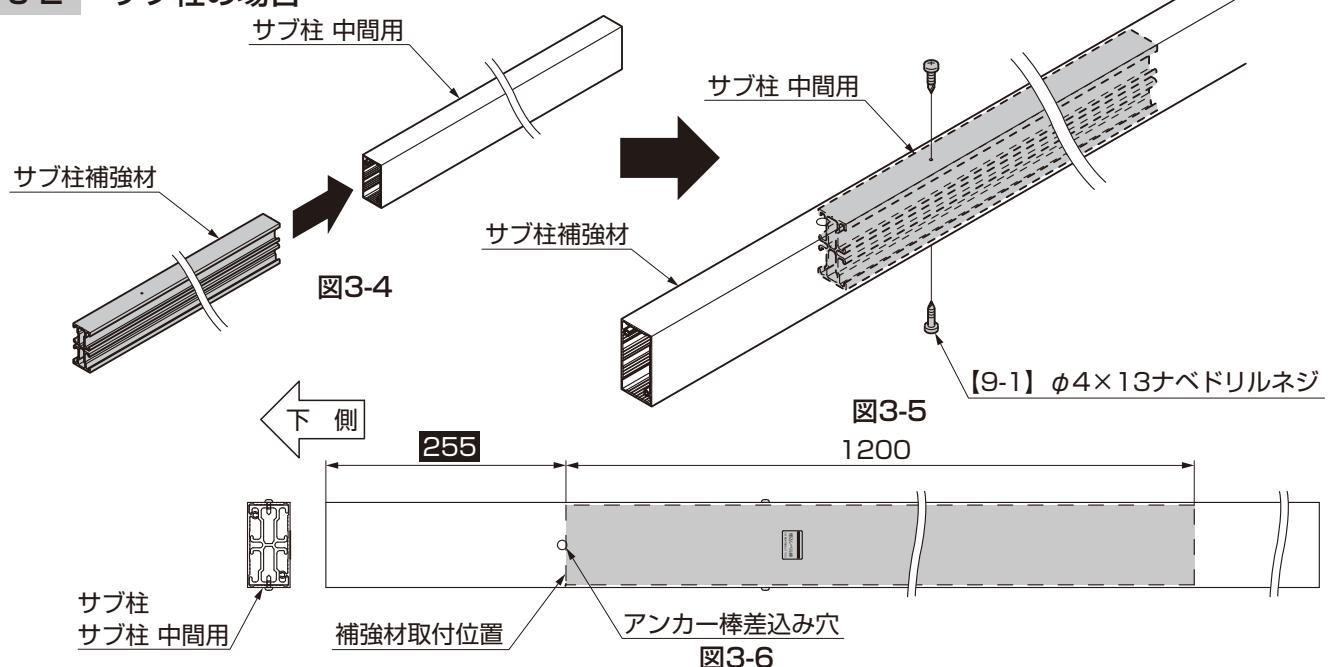


- ①柱、柱 中間用に柱補強材を入れ [5-1] で取付けてください。(図3-1、図3-2、図3-2参照)

ポイント

- アンカーボルトの差込み穴から柱補強材の位置を確認することができます。

3-2 サブ柱の場合



- ①サブ柱にサブ柱補強材を入れ [9-1] で取付けてください。(図3-4、図3-5、図3-6参照)

ポイント

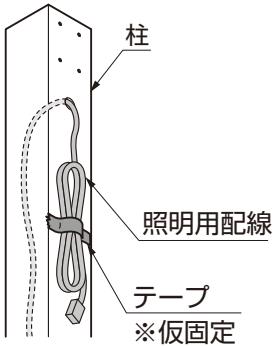
- アンカーボルトの差込み穴から柱補強材の位置を確認することができます。

4. 柱フレームの取付け

*フリーウォール取付けの場合は、「Gスクリーン フリーウォール(C445)」を参照し同時に作業を行なってください。

4-1 標準・門扉モジュールの場合

ポイント



●LEDライトを取り付ける場合、柱の加工穴から配線を引出し、テープなどで仮止めしてください。

フレーム
フレーム門扉モジュール

【12-1】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルネジ

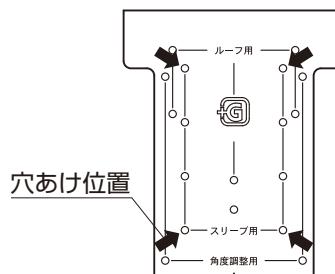
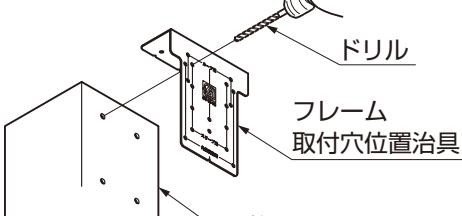
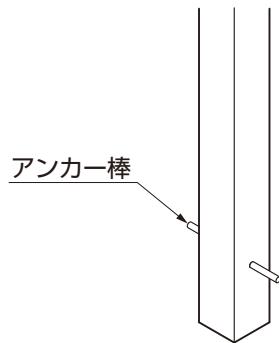
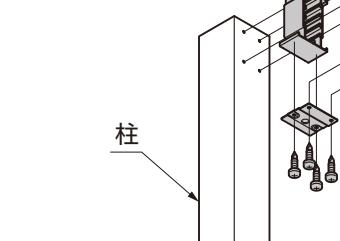


図4-1 柱穴加工無し面への取付け

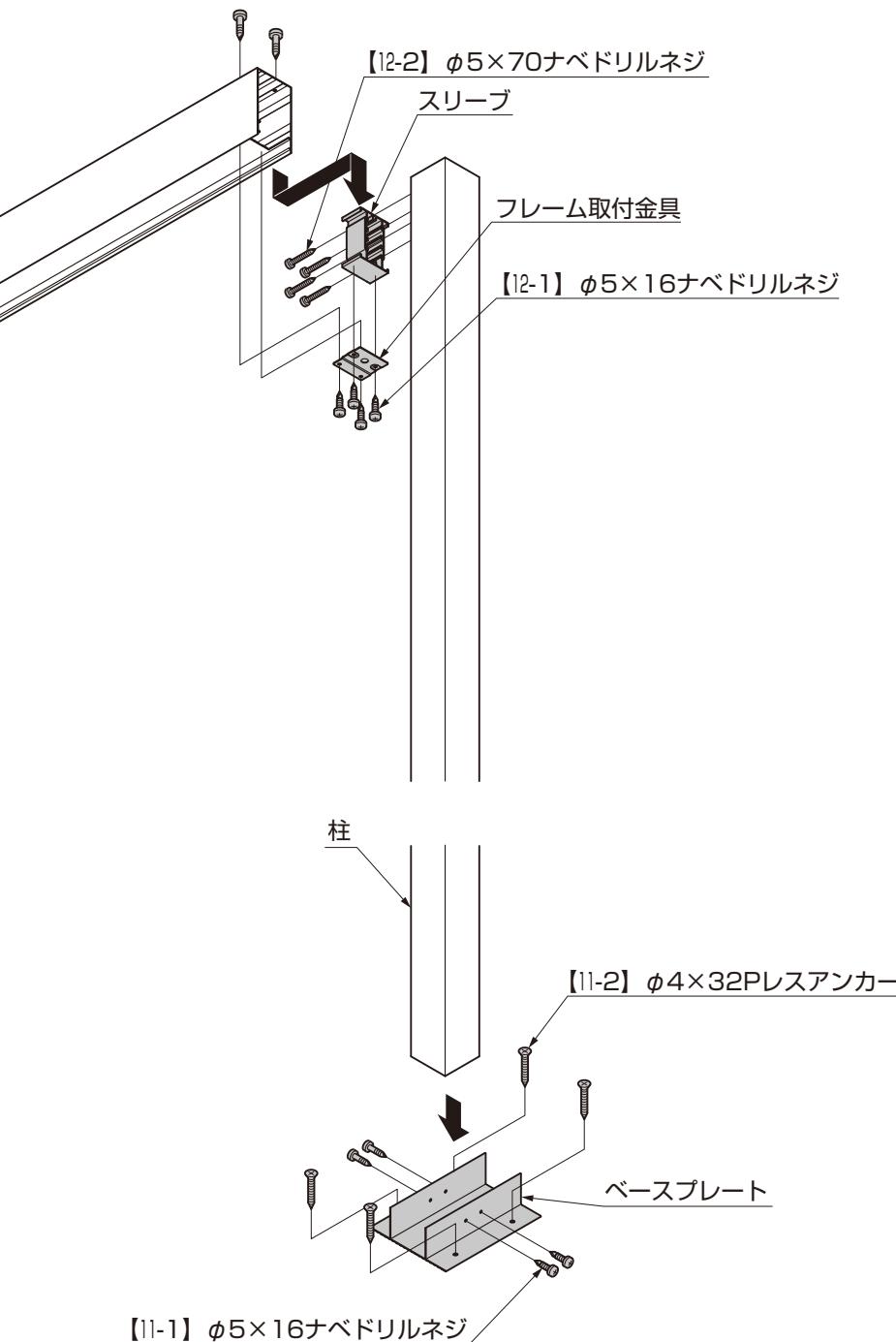


図4-2

1.柱とフレームの取付け

- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。
(図4-1参照)

※150角柱の場合は下記の「柱穴加工無し面への取付け（150角柱の場合）」を参照してください。

- ②柱にスリーブを [12-2] で取付けてください。

ポイント

- 角度調整部材を使用する場合は「4-5 角度調整部材を使用する場合」を参照してください。

- ③柱にアンカ一棒を差込み柱を建込んでください。

ポイント

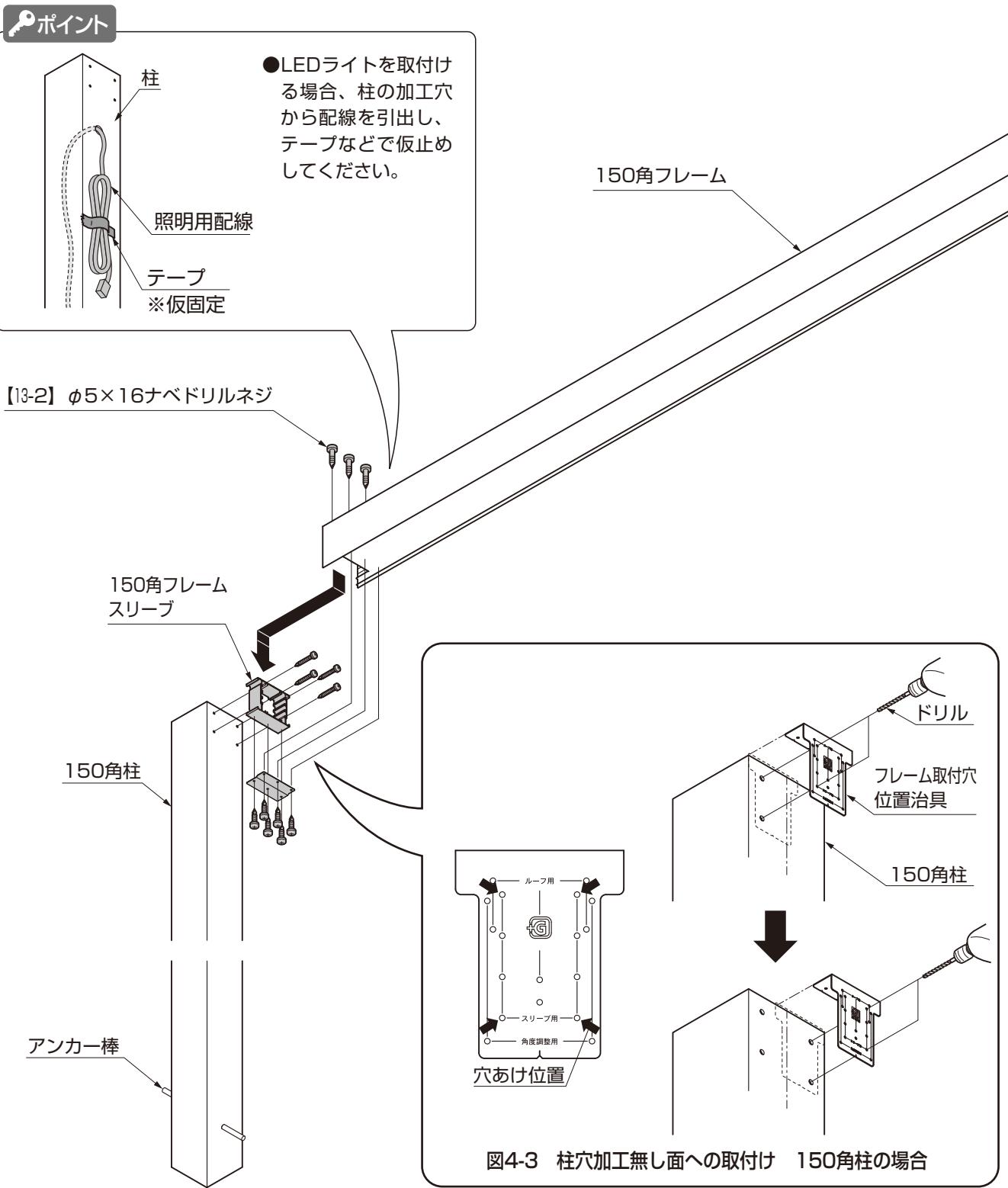
- 柱をベースプレートを使って固定する場合は [11-1]、[11-2] で取付けてください。
(図4-2参照)
- フレームは仮止めとしてください。

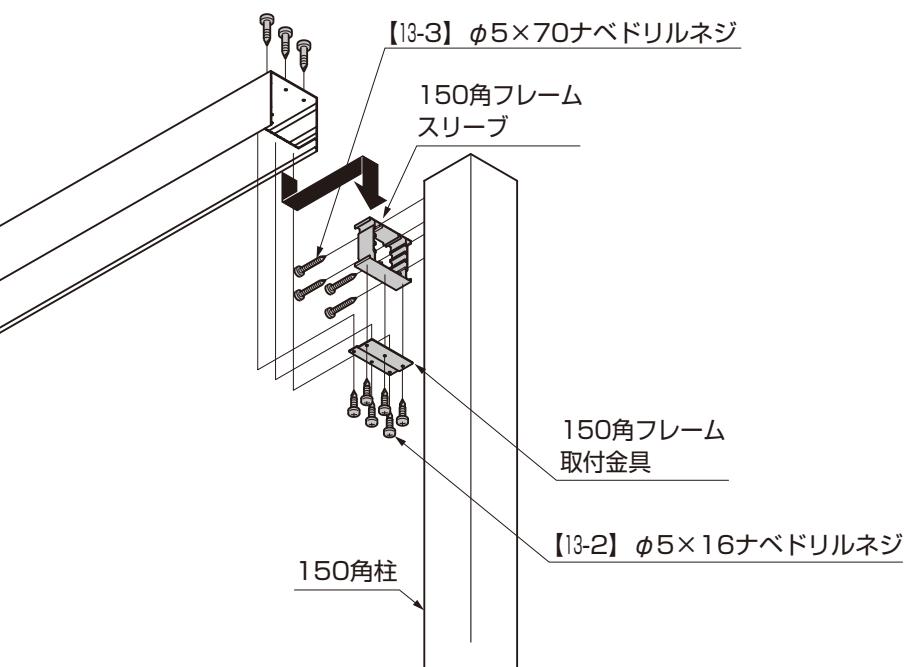
- ④スリーブをフレームに、[12-1] で取付けてください。

- ⑤スリーブとフレームにフレーム取付金具を、[12-1] で取付けてください。

4. (つづき)

4-2 150角柱・150角フレームの場合





1.柱とフレームの取付け

- ①フレーム取付穴位置治具を150角柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。
(図4-3参照)

ポイント

- フレーム取付穴位置治具を柱の天端に掛け柱の角に合わせ、フレーム用の片側の穴位置にケガキを入れます。片側のケガキが終わったら、治具を柱の反対側に移動させて、今度は治具のフレーム用の反対側の穴位置にケガキを入れます。
- 150角フレームスリーブの取付けは、150角柱に水平に取付けてください。
- 150角フレームスリーブが傾いて取付いていると、フレームと柱に段差が生じます。

- ②150角柱にスリーブを【13-3】で取付けてください。

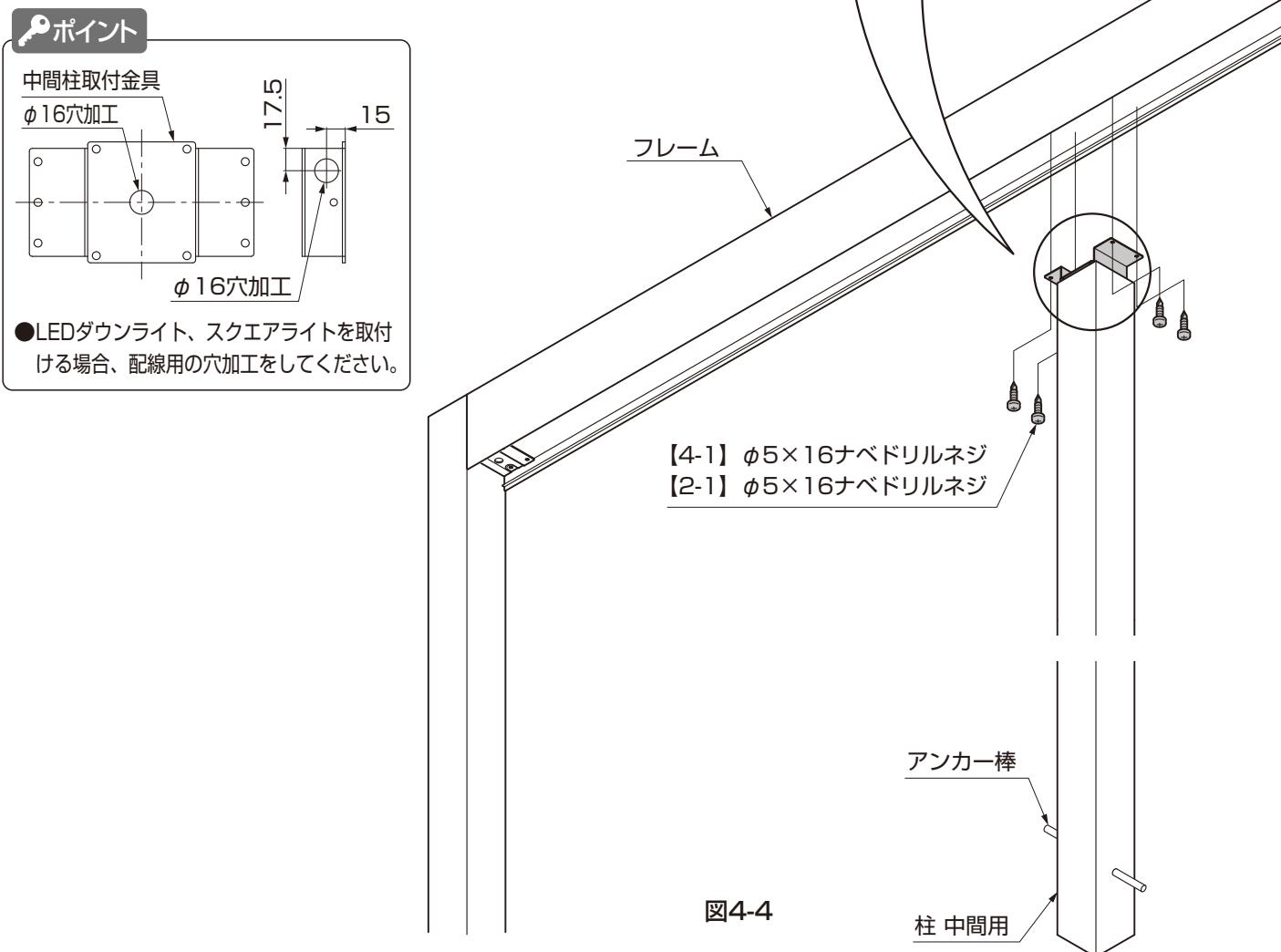
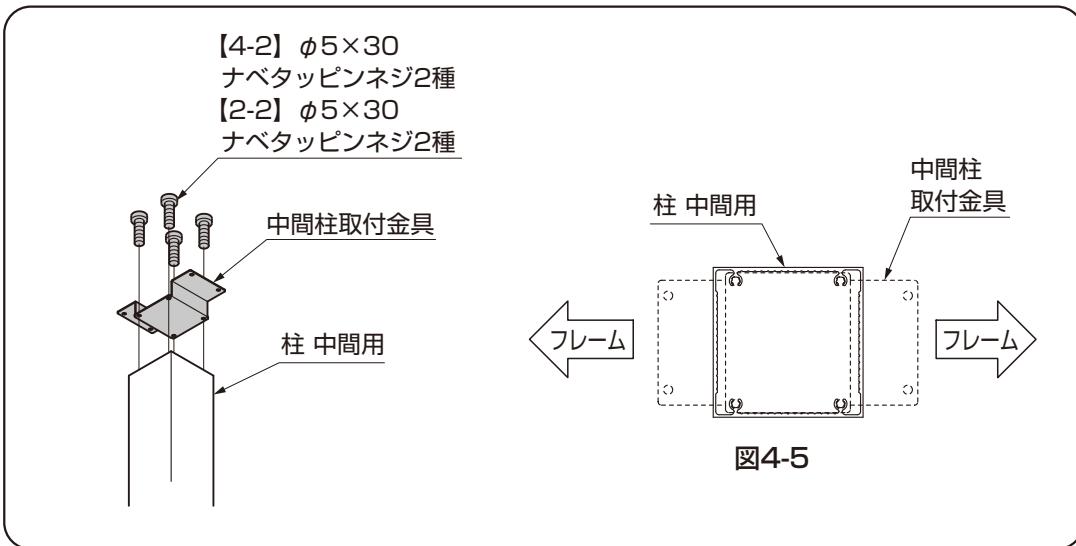
ポイント

- 角度調整部材を使用する場合は「4-5 角度調整部材を使用する場合」を参照してください。

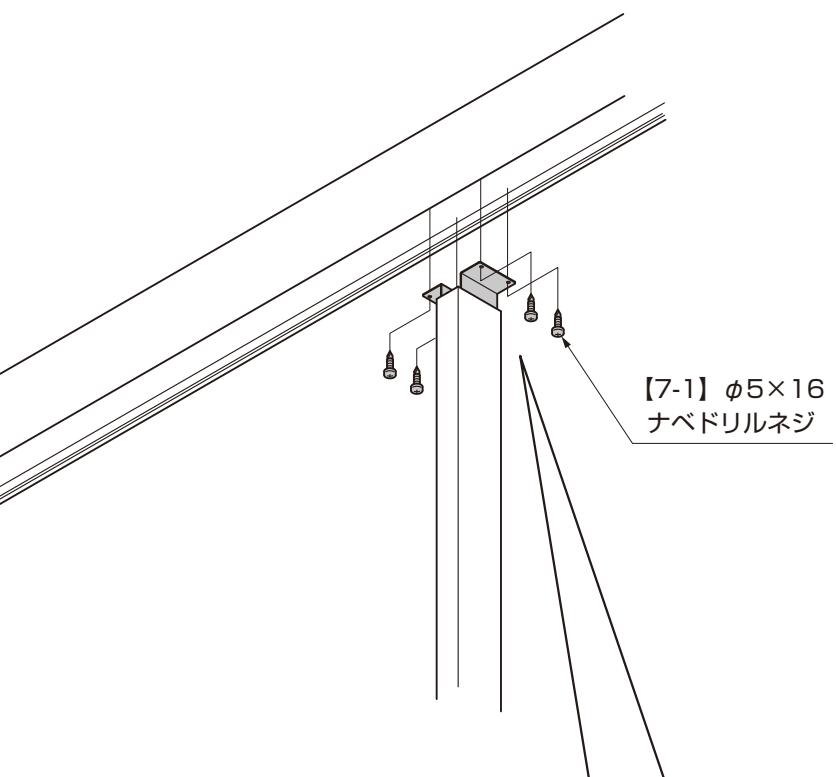
- ③150角柱にアンカ一棒を差込み柱を建込んでください。
- ④150角フレームスリーブを150角フレームに、【13-2】で取付けてください。
- ⑤150角フレームスリーブと150角フレームに150角フレーム取付金具を、【13-2】で取付けてください。

4. (つづき)

4-3 中間柱取付けの場合



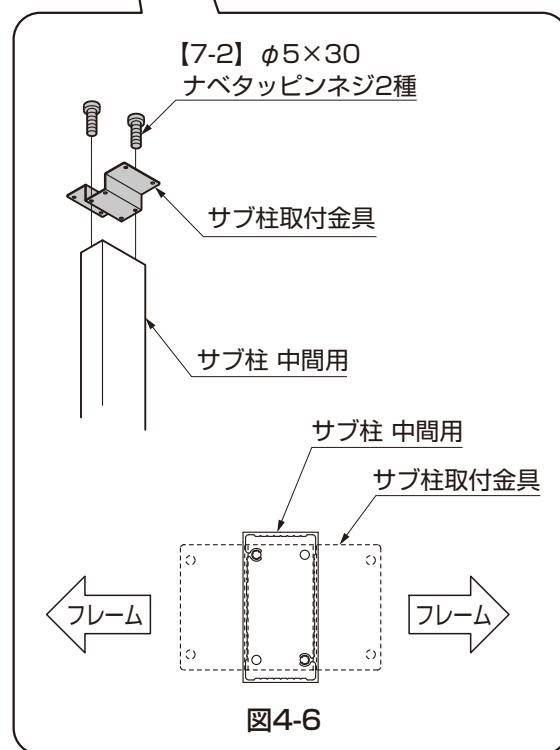
1. 中間柱の場合



- ①柱 中間用に中間柱取付金具を、【2-2】または【4-2】で取付けて、フレームに柱 中間用を、【2-1】または【4-1】で取付けてください。(図4-4参照)
- ②柱 中間用にアンカーボルトを差込み柱を建込んでください。
- ③サブ柱 中間用にサブ柱柱取付金具を、【7-2】で取付けて、フレームにサブ柱 中間用を【7-1】で取付けてください。(図4-6参照)
- ④サブ柱 中間用にアンカーボルトを差込み柱を建込んでください。

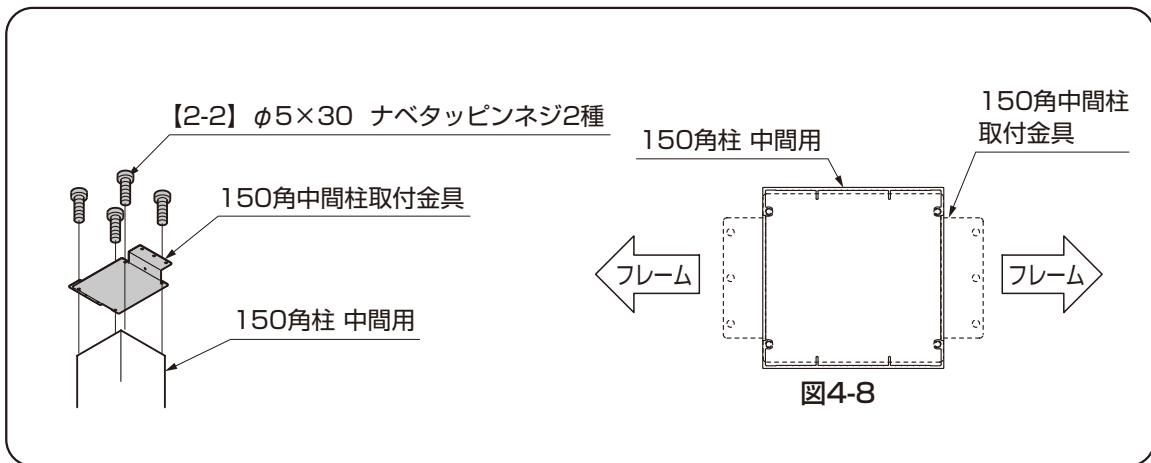
ポイント

- 柱 中間用・サブ柱 中間用には向きがあります。(図 4-5、図 4-6 参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。

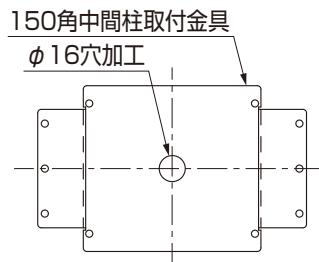


4. (つづき)

4-4 150角柱 中間用取付けの場合



ポイント



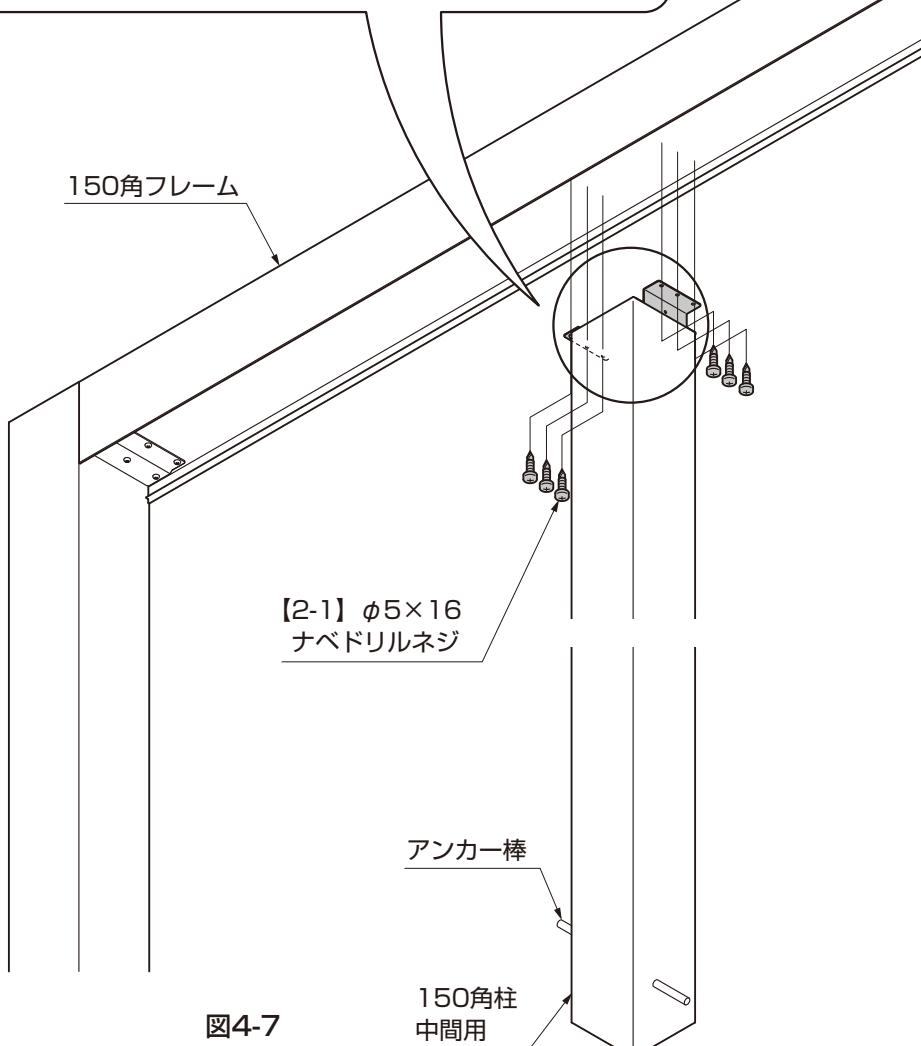
- LEDダウンライト、スクエアライトを取り付ける場合、配線用の穴加工をしてください。

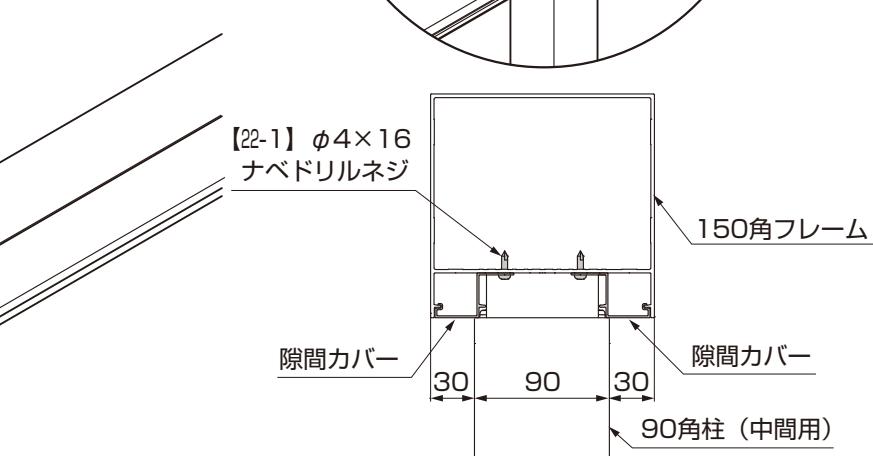
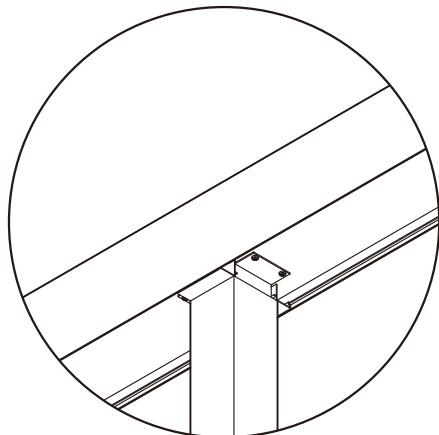
1. 中間柱の場合

- ① 150角柱 中間用に150角柱取付金具を【2-2】で取付けて、150角フレームに150角柱 中間用を【2-1】で取付けてください。(図4-7参照)
- ② 50角柱 中間用にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

ポイント

- 柱 中間用には向きがあります。(図4-8 参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。

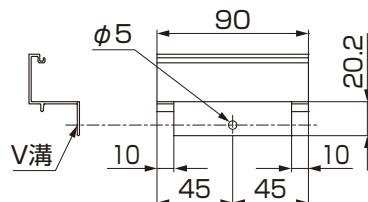




2-1. 150角フレームに90角柱（中間用） を中心部に取付ける場合

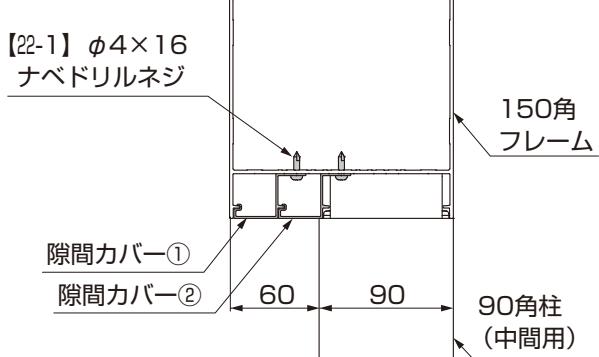
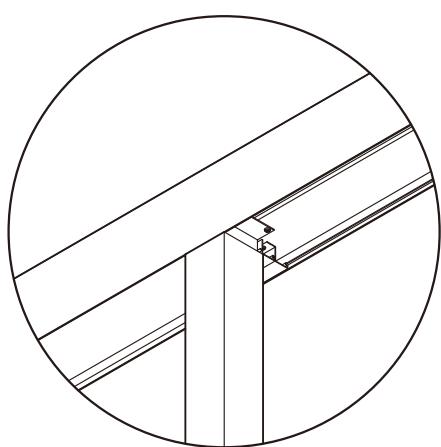
- ①隙間カバーを90mmに2本切断してください。
- ②隙間カバーを10mm切り欠き加工をしてφ5の穴加工をしてください。（図4-9参照）
- ③90角柱（中間用）を取り付ける位置に隙間カバーを先に150角フレーム下前後に【22-1】で取付けてください。
- ④隙間カバーを取付けた部分に90角柱（中間用）を、150角フレームに取付けてください。

ポイント



※2本加工してください。

図4-9



2-2. 150角フレームに90角柱（中間用） を片側寄せに取付ける場合

- ①隙間カバーを90mmに2本切断してください。
- ②隙間カバー②を10mm切り欠き加工をしてください。
- ③隙間カバー①と②にφ5に穴加工をしてください。（図4-10・11参照）
- ④隙間カバーを取付けた位置に90角柱（中間用）を、先に150角フレーム下に【22-1】で取付けてください。
- ⑤隙間カバーを取付けた部分に90角柱（中間用）を、150角フレームに取付けてください。

ポイント

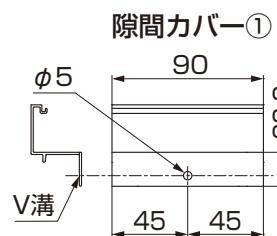


図4-10

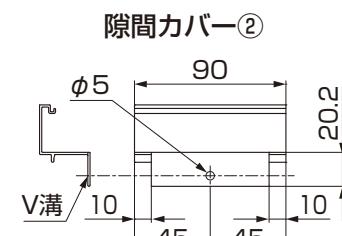
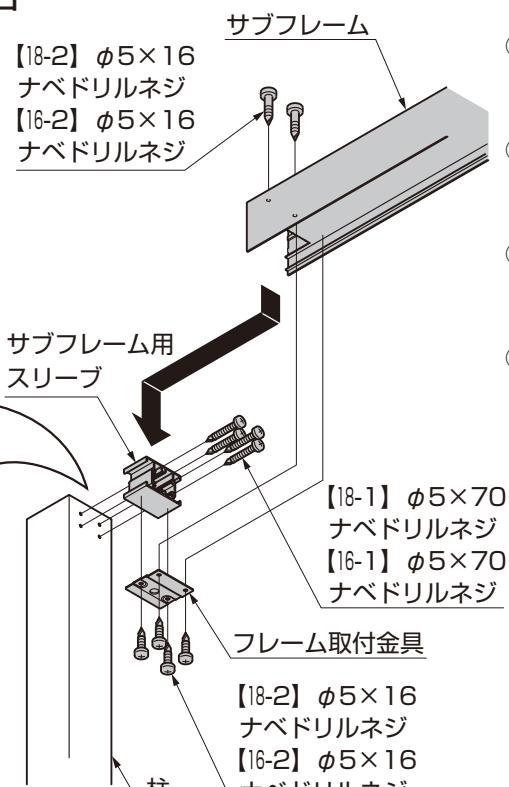
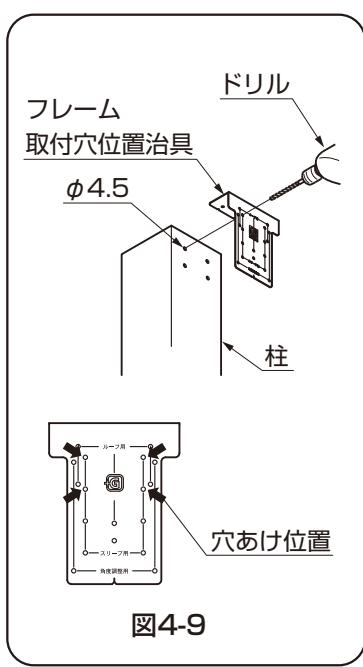


図4-11

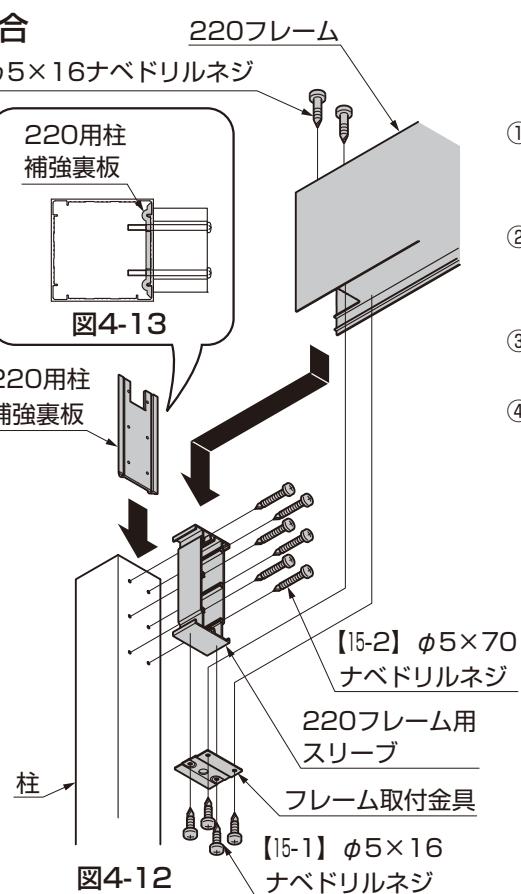
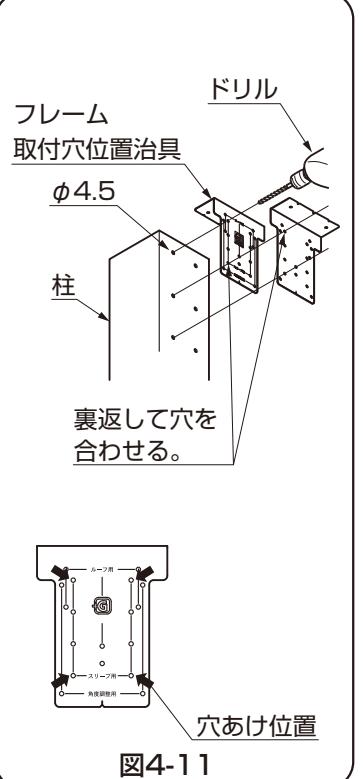
4. (つづき)

4-5 サブフレームの場合



- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。(図4-9参照)
- ②柱にサブフレーム用スリーブを【16-1】または【18-1】で取付けてください。
- ③サブフレーム用スリーブをサブフレームに、【16-2】または【18-2】で取付けてください。
- ④サブフレーム用スリーブとサブフレームにフレーム取付金具を、【16-2】または【18-2】で取付けてください。

4-6 220フレームの場合



- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。(図4-11参照)
- ②柱内側に220用柱補強裏板を入れ220フレーム用スリーブを【15-2】で取付けてください。
- ③220フレーム用スリーブを220フレームに、【15-1】で取付けてください。
- ④220フレーム用スリーブと220フレームにフレーム取付金具を、【15-1】で取付けてください。

4-7 角度調整部材を使用する場合

(1) 90角柱の場合

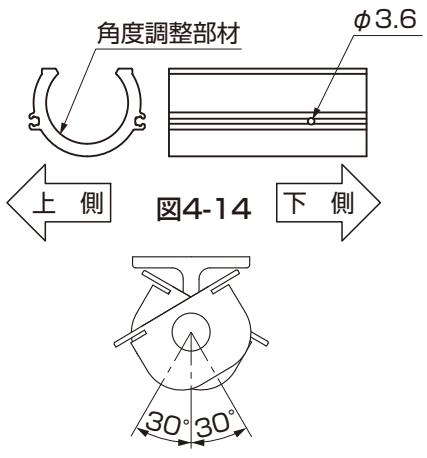


図4-14

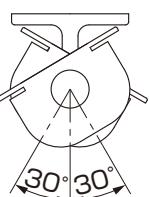


図4-15

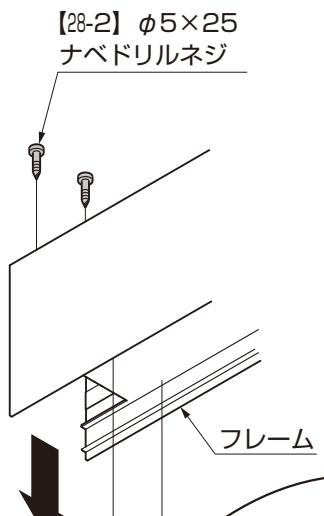


図4-16

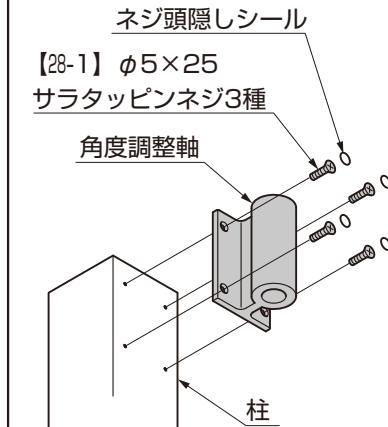


図4-17

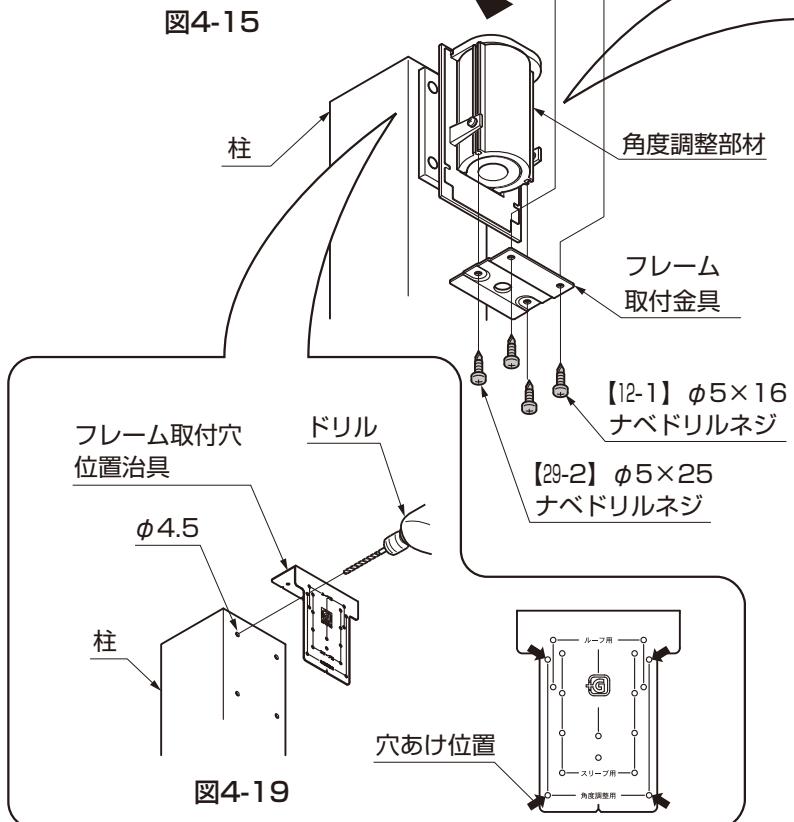


図4-19

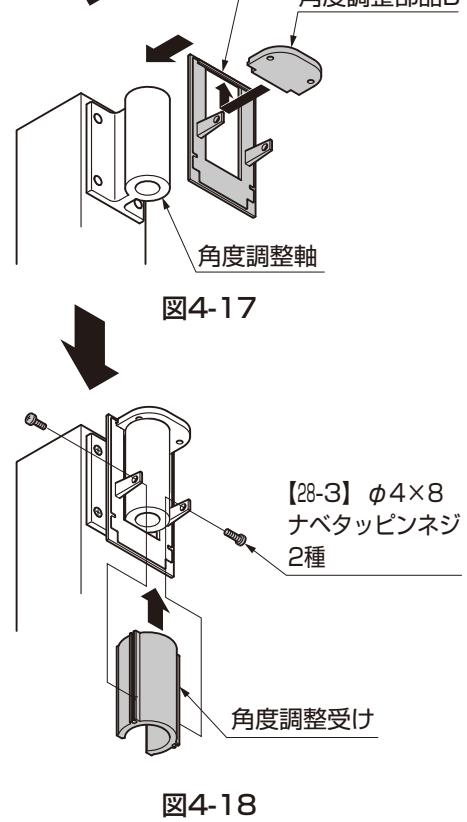


図4-18

- ①フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。(図4-19参照)
- ②柱に角度調整軸を、【28-1】で取付けてください。(図4-16参照)
- ③ネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図4-16参照)
- ④角度調整部品Aに角度調整部品Bを取り付けて角度調整軸にはめ込んでください。(図4-17参照)
- ⑤角度調整受けを角度調整部品Aにスライドしてはめ込み【28-3】で取付けてください。(図4-18参照)
- ⑥角度調整部材とフレームにフレーム取付金具を、【12-1】、【28-2】で取付けてください。

ポイント

- 角度調整受けは上下があります。(図4-14参照)
- 角度調整は最大で片側30°の角度にすることができます。(図4-15参照)
- フレームを仮止めとしてください。

4. (つづき)

4-8 丸柱の取付け

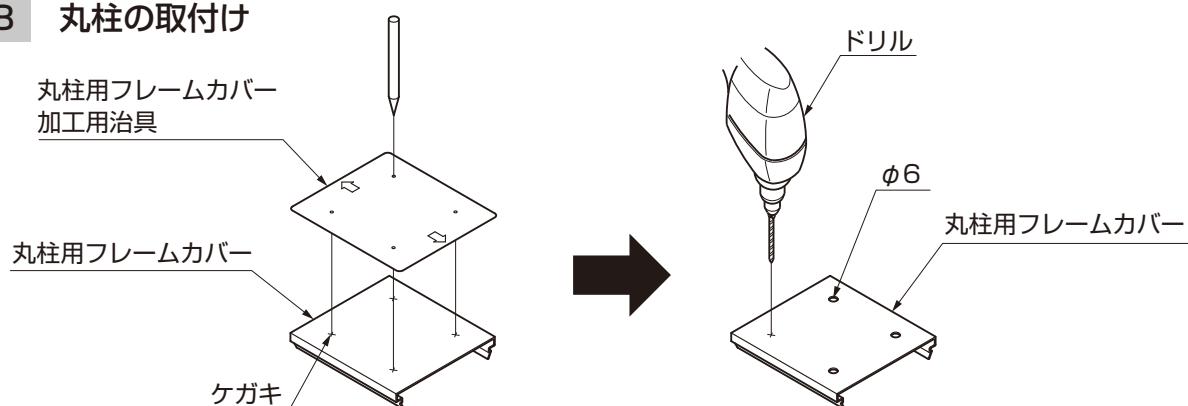


図4-20 丸柱用フレームカバーの加工

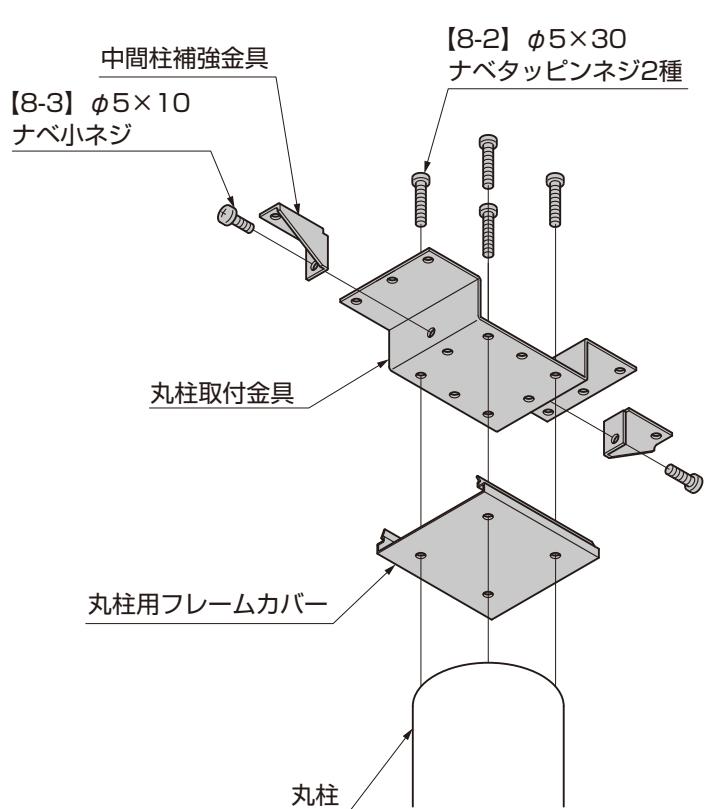


図4-21 丸柱の組立て

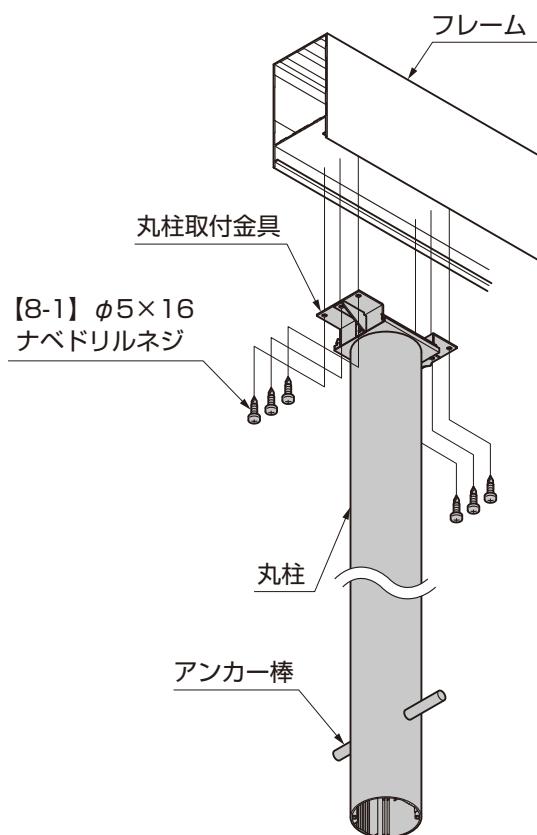


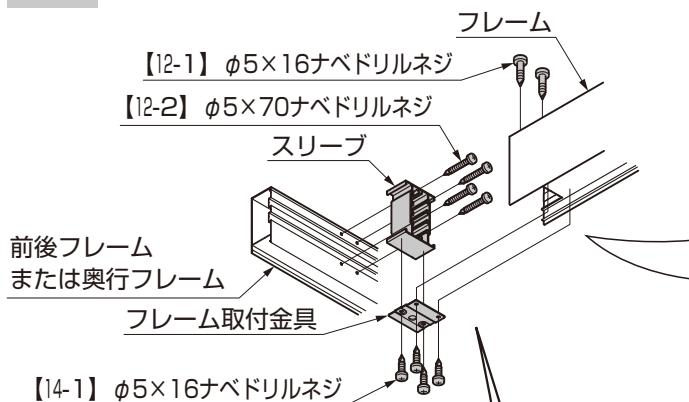
図4-22

- ①丸柱フレームカバー加工治具で丸柱用フレームカバーにケガキ、 ϕ 6の穴加工を行ってください。(図4-20参照)
- ②丸柱取付金具に中間柱補強金具を【8-3】で取付けてください。(図4-21参照)
- ③丸柱取付金具、丸柱用フレームカバー、丸柱を【8-2】で取付けてください。(図4-21参照)
- ④丸柱取付金具をフレームに【8-1】で取付けてください。(図4-22参照)
- ⑤丸柱中間にアンカーライドを差込み建込んでください。(図4-22参照)

ポイント

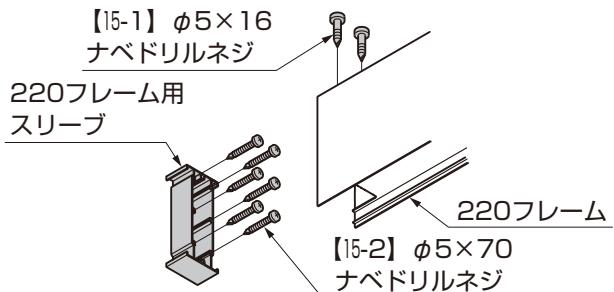
- 丸柱用フレームカバーは9色同梱されています。取付フレームに合った色をご使用ください。
- フレームとフレーム連結用の接続部分に丸柱 中間用を取付ける場合は「4-2 連結・中間柱取付けの場合 図4-9 柱 中間用移動範囲」を参照ください。

4-9 カールーフタイプへの取付け



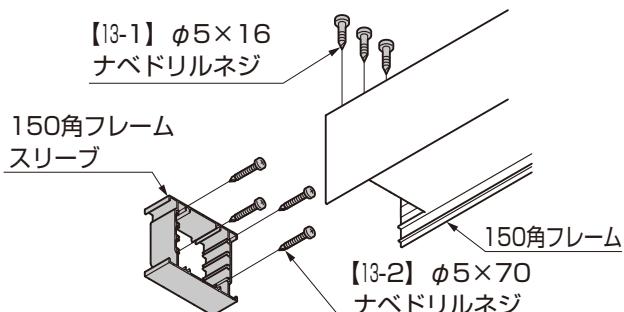
ポイント

【220フレームを取付ける場合】



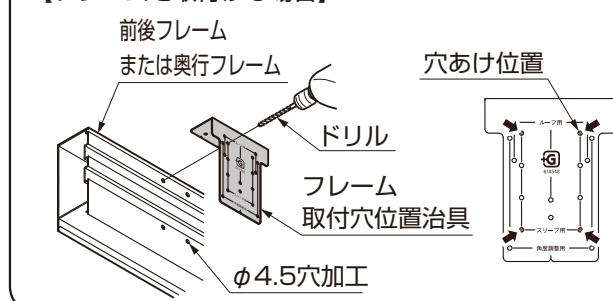
●220フレーム用スリーブを使用してください。

【150角フレームを取付ける場合】

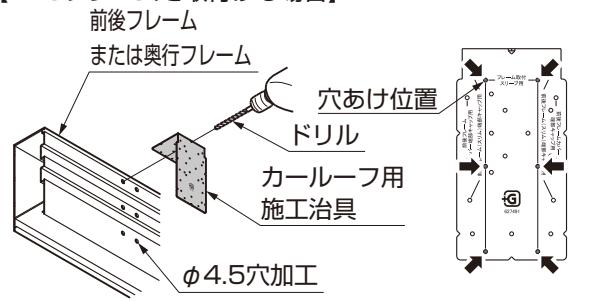


●150角フレーム用スリーブを使用してください。

【フレームを取付ける場合】



【220フレームを取付ける場合】



①フレーム取付穴位置施工治具を前後フレームまたは奥行フレームに当て、ケガキ、 $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。

②スリーブを前後フレームまたは奥行フレームに【12-2】、【15-2】、【13-2】で取付けてください。

③フレームとフレーム取付金具をスリーブに【12-1】、【15-1】、【13-1】で取付けてください。

4. (つづき)

4-10 Gルーフ フリータイプ枠の取付け ※Gルーフ フリータイプ用のフレームの施工ルールは、「Gルーフ - フリータイプ - 取付説明書 (E258) 1 施工の前の重要確認事項」を参照してください。

(1) 90角柱の場合

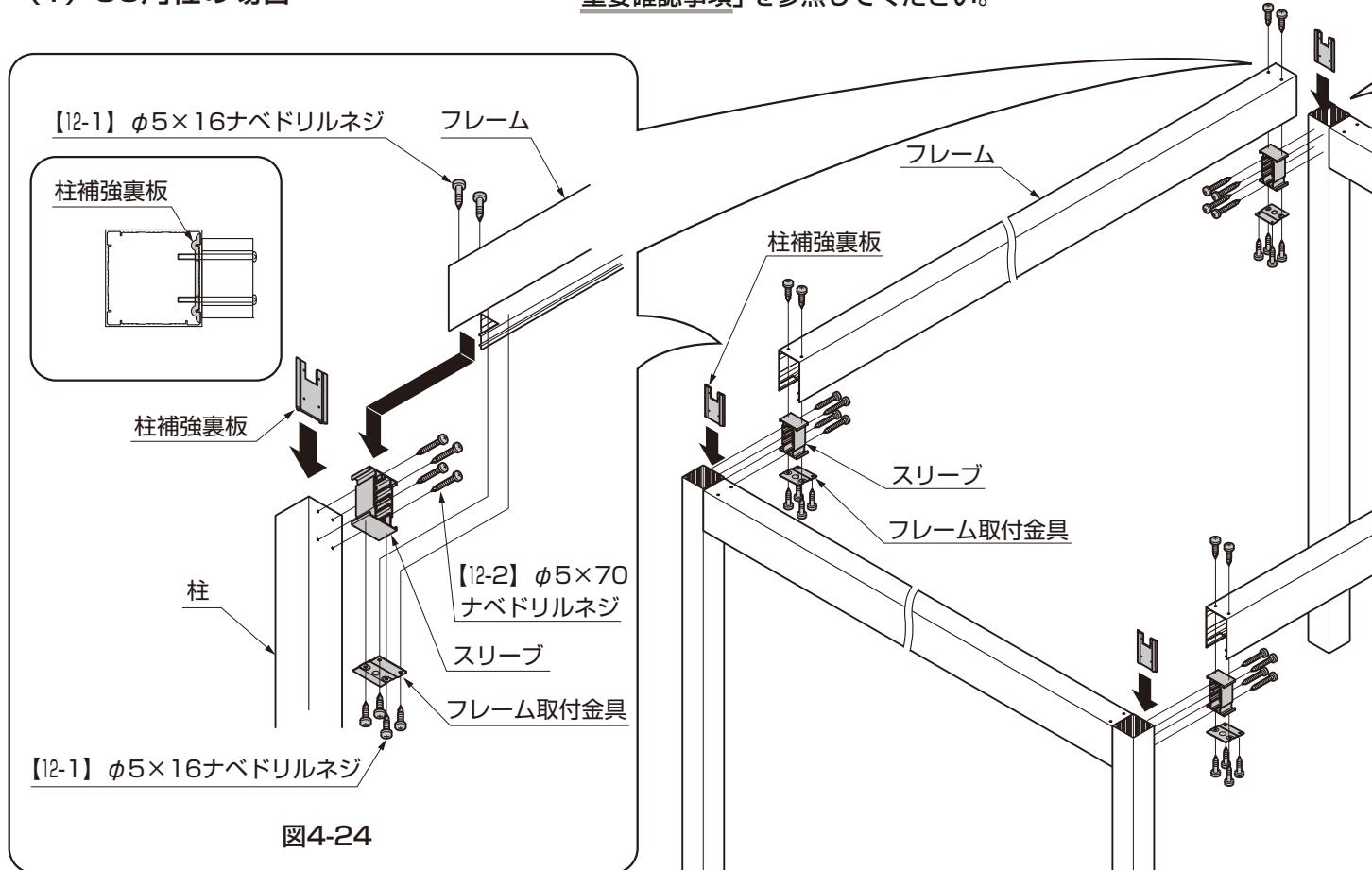


図4-24

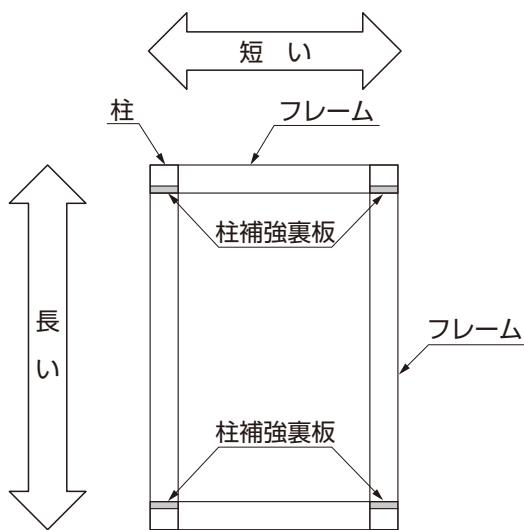


図4-25 4隅に柱がある場合の柱補強部品位置

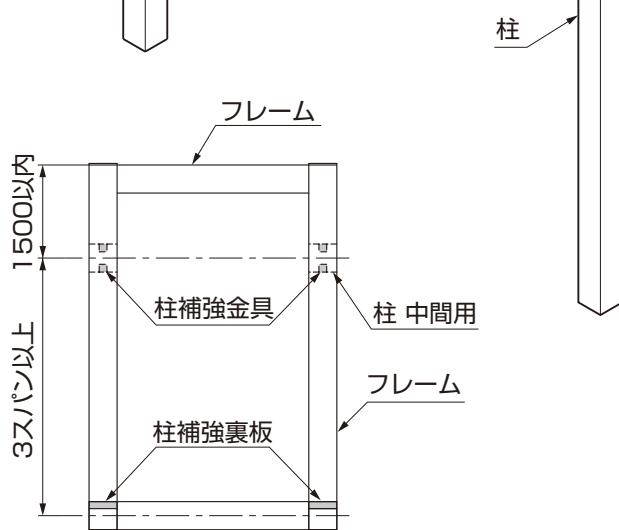
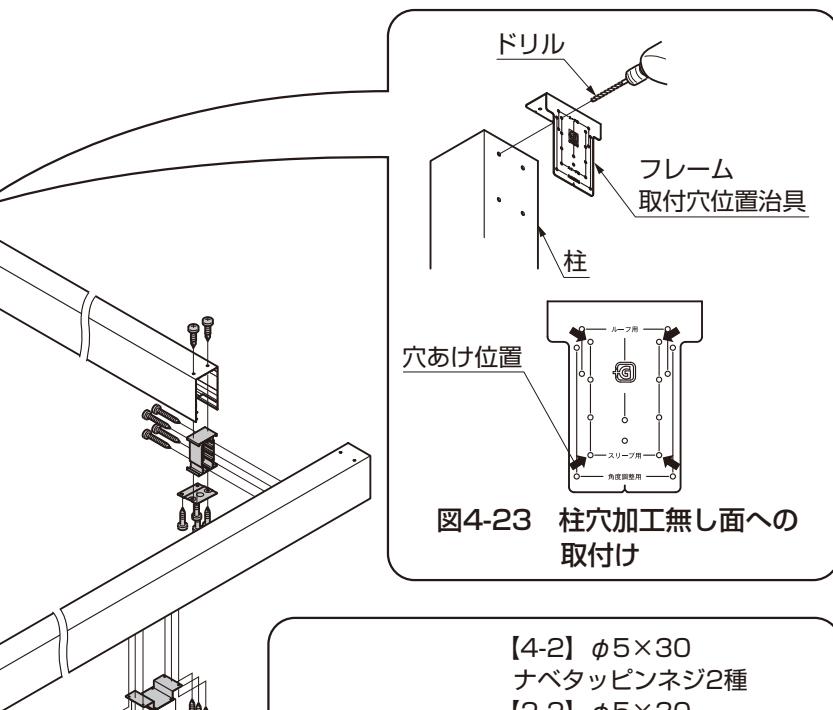


図4-26 柱 中間用を使用した場合の柱補強部品位置



ポイント

- 基本寸法図を参考にフレームの切断、穴加工をしてください。

1. 柱・柱補強裏板とフレームの取付け

- ① フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-23参照)
- ② 柱内側に柱補強裏板を入れ、スリーブを【12-2】で取付けてください。(図4-24、図4-25参照)
- ③ スリーブをフレームに、【12-1】で取付けてください。
- ④ スリーブとフレームにフレーム取付金具を、【12-1】で取付けてください。
- ⑤ 柱にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

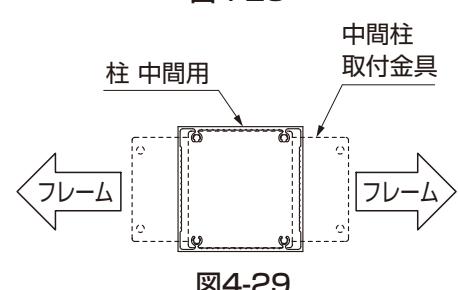
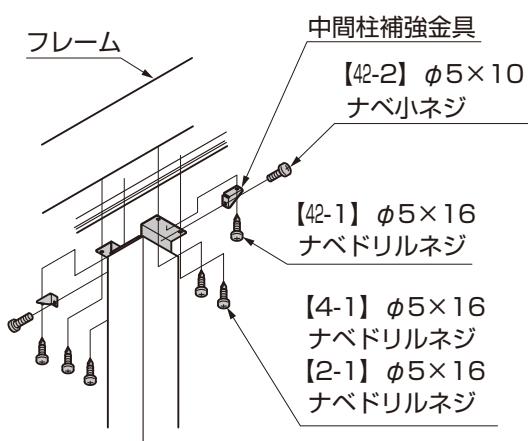
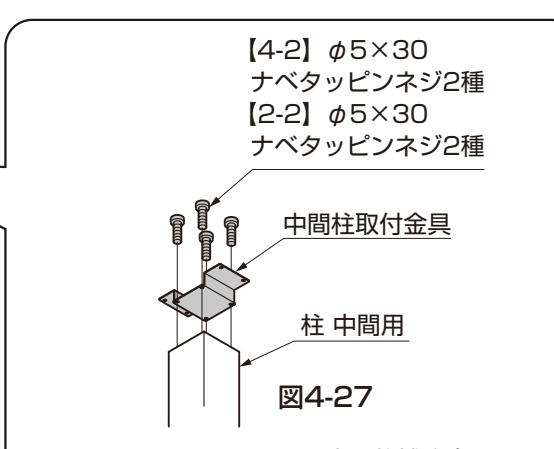
ポイント

- 柱補強裏板の取付け位置は図4-23を参照してください。
- 柱補強裏板の取付けをしない柱とフレームの取付けは「4-1 標準・門扉モジュールの場合」を参照してください。
- フレームは仮止めとしてください。

2. 柱 中間用・補強金具とフレームの取付け

ポイント

- 丸柱 中間用を使用する場合は「4-6 丸柱の取付け」を参照してください。
- 柱中間用に補強金具を取付けた場合、Gスクリーン角格子タイプ、横格子タイプのフレーム付けはできません。



ポイント

- 柱 中間用には向きがあります。(図4-29参照)
- 柱 中間用の持ち出し施工はフレーム端部から1500以内にしてください。(図4-26参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。
- フレーム端部キャップの取付けは「10.フレーム端部キャップの取付け」を参照してください。
- フレームは仮止めとしてください。

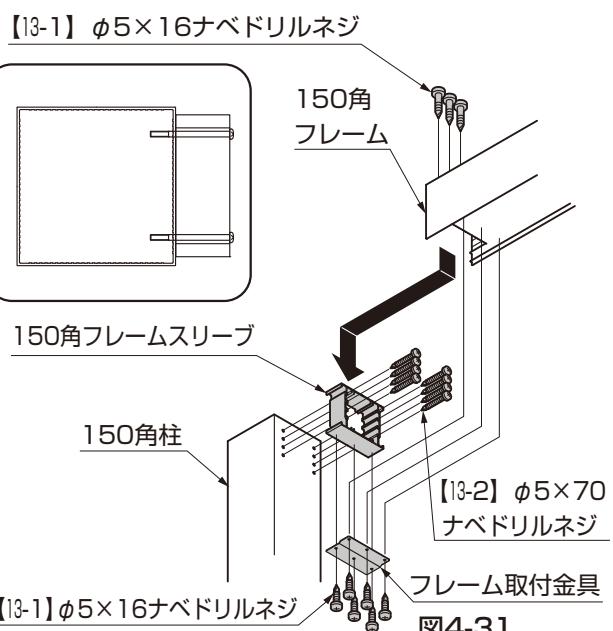
4. (つづき)

4-10 Gルーフ フリータイプ枠の取付け

※Gルーフ フリータイプ用のフレームの施工ルールは、「Gルーフ フリータイプ取付説明書(E258) 1 施工前の重要確認事項」を参照してください。

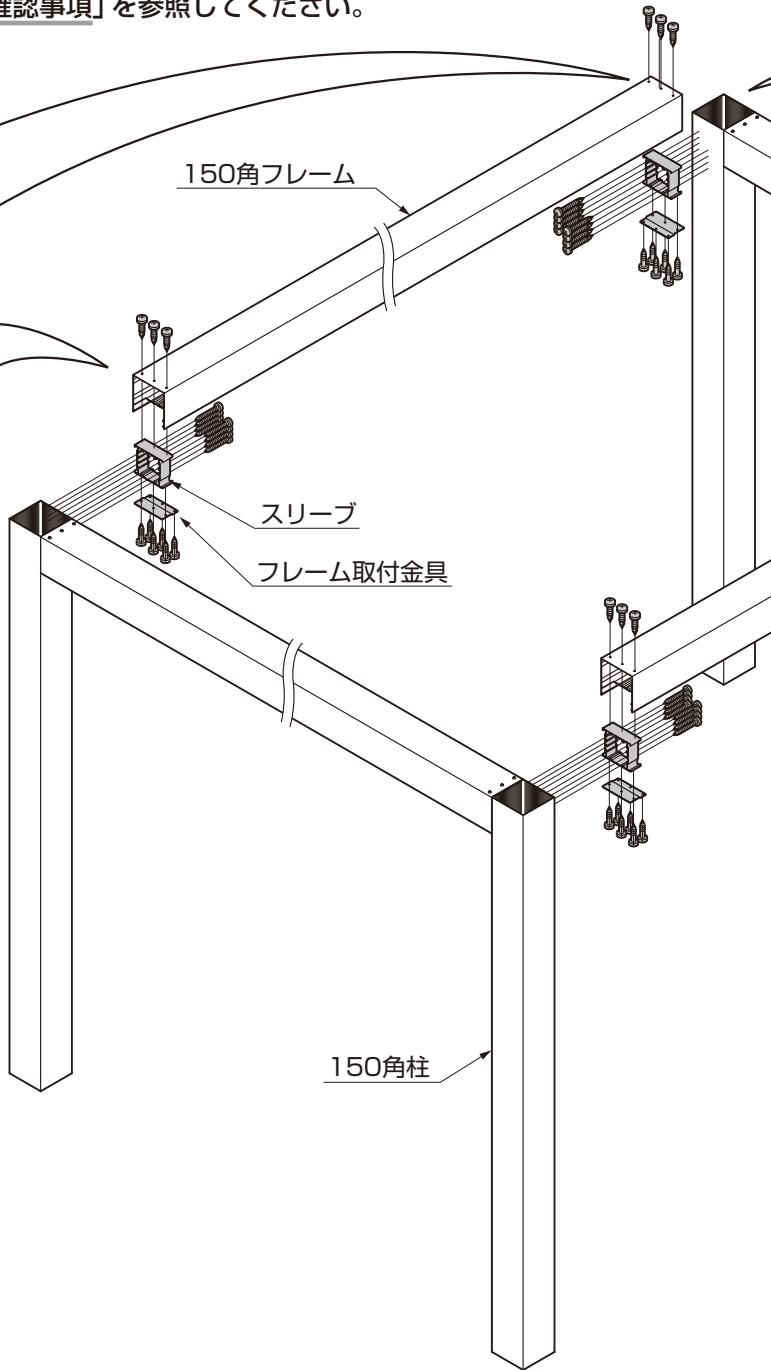
(2) 150角柱の場合

※図は屋根スパンが5スパン以上の場合

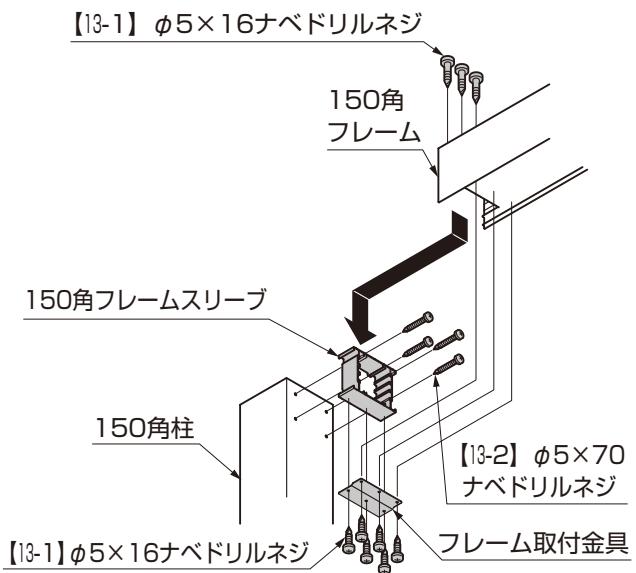


ポイント

- 屋根スパンが5スパン以上のは、150角フレームスリーブを取り付ける【14-2】のネジ数は8本になります。



※屋根スパンが4スパン以下の場合は



ポイント

- 屋根スパンが4スパン以下の場合は、150角フレームスリーブを取り付ける【13-2】のネジ数は4本になります。

* 屋根スパンが4スパン以下の場合は、位置治具の上下の穴を使い穴をあけてください。

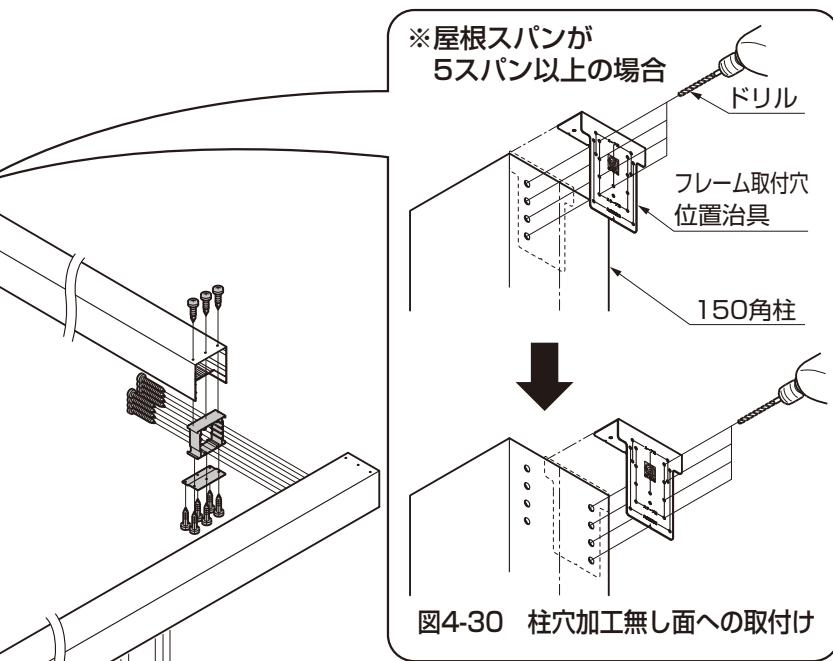


図4-30 柱穴加工無し面への取付け

ポイント

- 基本寸法図を参考にフレームの切断、穴加工をしてください。

1. 柱とフレームの取付け

- ① フレーム取付穴位置治具を柱にあて、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図4-30参照)
- ② スリーブをフレームに、【13-1】で取付けてください。
- ③ スリーブとフレームにフレーム取付金具を、【13-1】で取付けてください。(図4-31参照)
- ④ 柱にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

2. 柱 中間用・補強金具とフレームの取付け

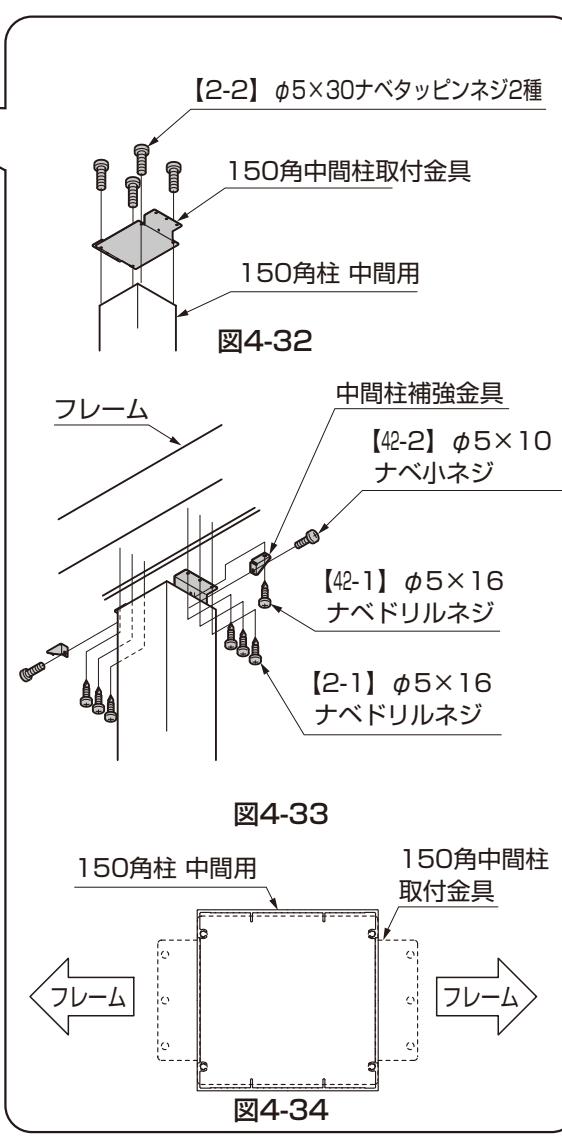
ポイント

- 丸柱 中間用を使用する場合は「4-6 丸柱の取付け」を参照してください。
- 柱中間用に補強金具を取り付けた場合、Gスクリーン角格子タイプ、横格子タイプのフレーム付けはできません。

- ① 柱 中間用に中間柱取付金具を、【2-2】で取付けてください。(図4-32参照)
- ② 中間柱補強金具を中間柱取付金具に【42-2】で取付けてください。(図4-33参照)
- ③ 中間柱補強金具、中間柱取付金具を【42-1】、【2-1】でフレームに取付けてください。(図4-33参照)
- ④ 柱 中間用にアンカー棒を差込み柱を建込んでください。

ポイント

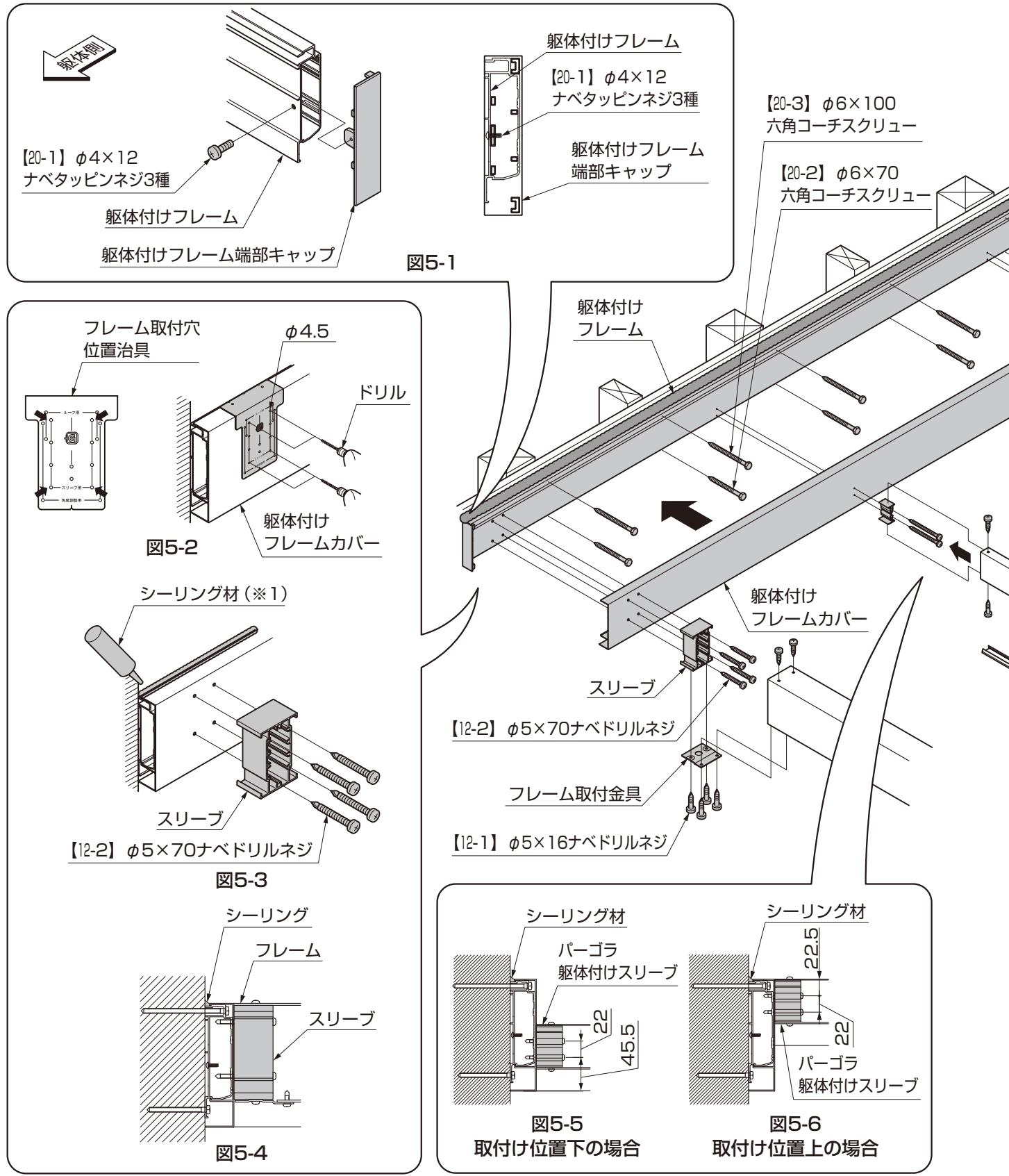
- 柱 中間用には向きがあります。(図4-34参照)
- フレームカバーは後の手順で取付けますので、キズをつけないように保管してください。
- フレーム端部キャップの取付けは「10. フレーム端部キャップの取付け」を参照してください。
- フレームは仮止めしてください。

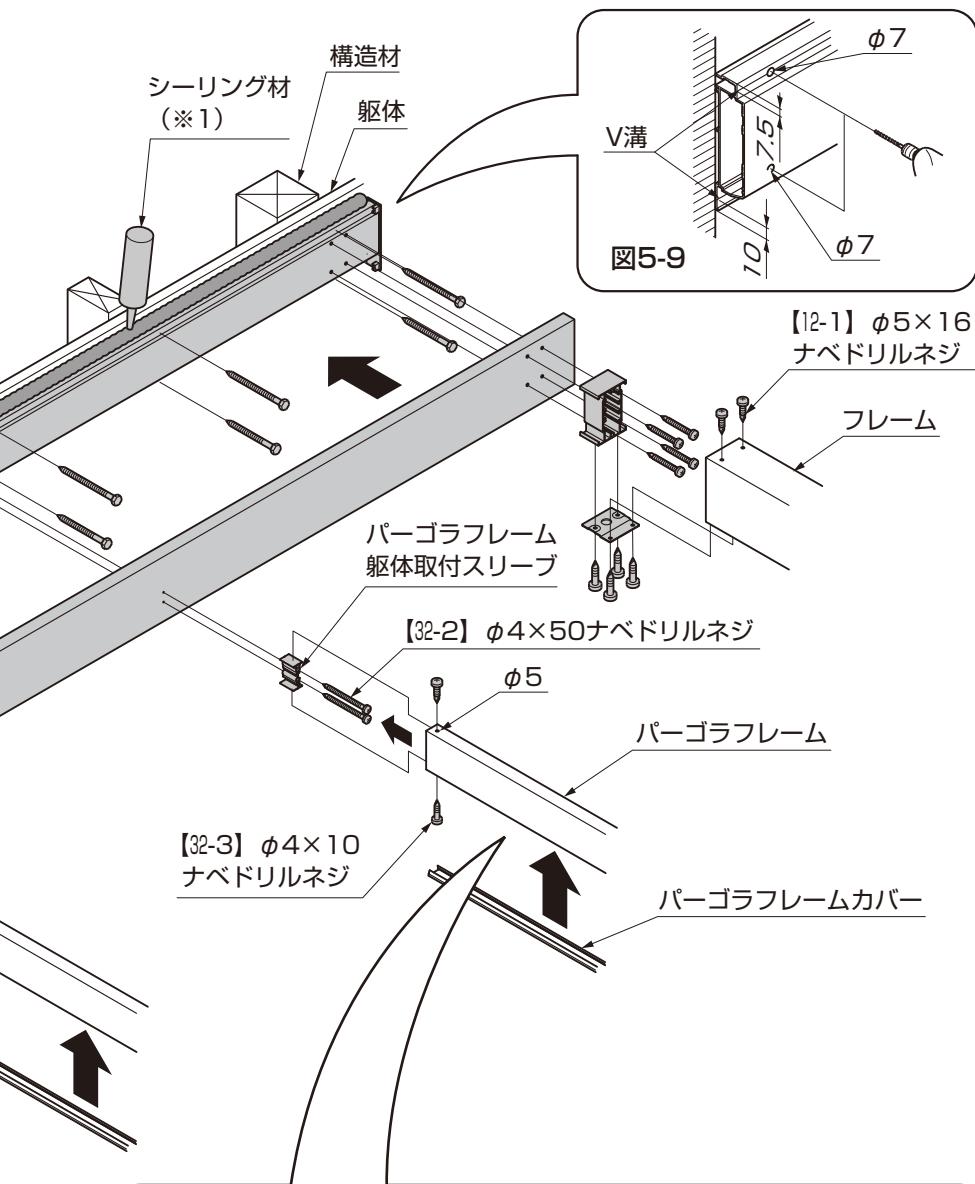


5. フレーム・パーゴラフレームの躯体取付け

5-1 躯体付けフレームへの取付けの場合

(1) 90角フレームの場合





1. 躯体付けフレームの取付け

- ① 躯体付けフレーム端部キャップを躯体付けフレームに【20-1】で取付けてください。(図5-1参照)

ポイント

- 躯体付けフレーム端部キャップは後付けできません。

- ② 躯体付けフレームの止め付け位置にφ7の穴をあけ【20-2】、【20-3】で躯体に取付けてください。(図5-9参照)

注意

- 躯体付けフレームは必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

- ③ 躯体付けフレームに躯体付けフレームカバーを取付けてください。

- ④ 躯体付けフレームと躯体間にシーリング処理してください。

ポイント

- シーリング材は現場で手配してください。(※1)

2. フレーム・躯体付けフレームの取付け

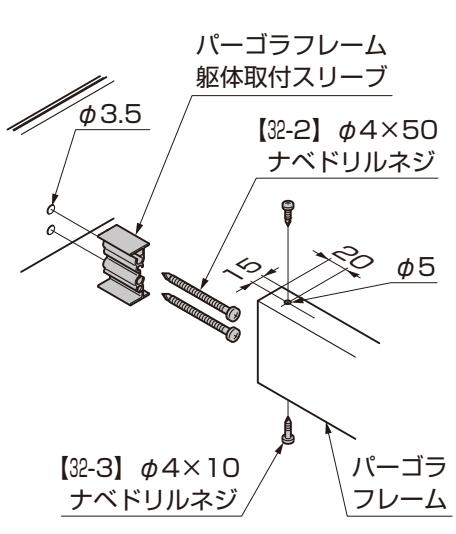
- ① フレーム取付穴位置治具を躯体付けフレームカバーに当て、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図5-2参照)

- ② スリーブを躯体付けフレームに【12-2】で取付けてください。

- ③ フレームをスリーブに【12-1】、フレーム取付け金具で取付けてください。

ポイント

- フレームは仮止めにしてください。



3. パーゴラフレーム・躯体付けフレームの取付け

- ① パーゴラフレーム躯体取付スリーブを、躯体付けフレームカバーにφ3.5の穴をあけ【32-2】で取付けてください。(図5-8参照)

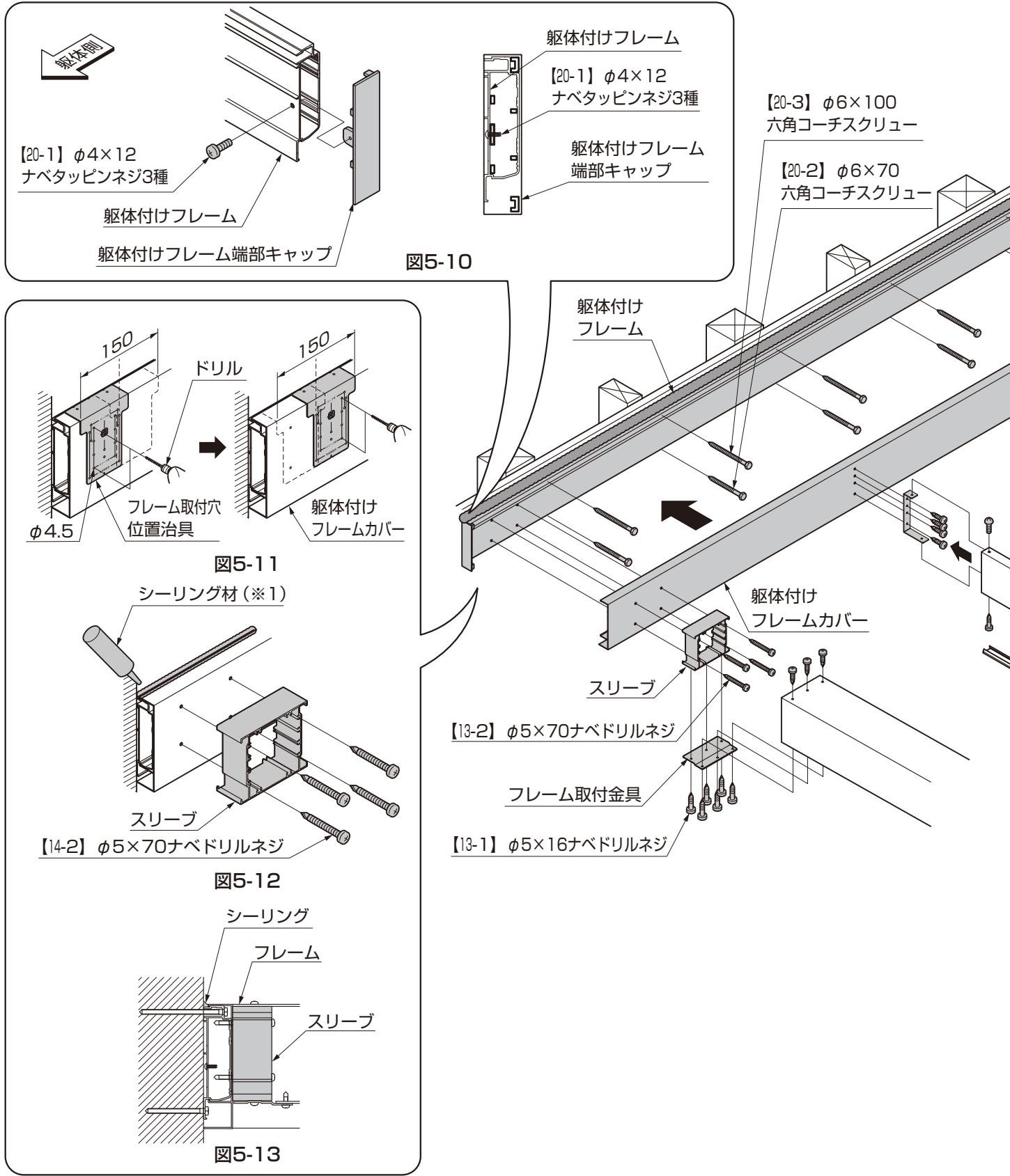
- ② パーゴラフレームにφ5の穴をあけパーゴラフレーム躯体取付スリーブに【32-2】で取付けてください。

- ③ パーゴラフレームにパーゴラフレームカバーをはめ込んでください。

5. (つづき)

5-1 車体付けフレームへの取付けの場合

(2) 150角フレームの場合



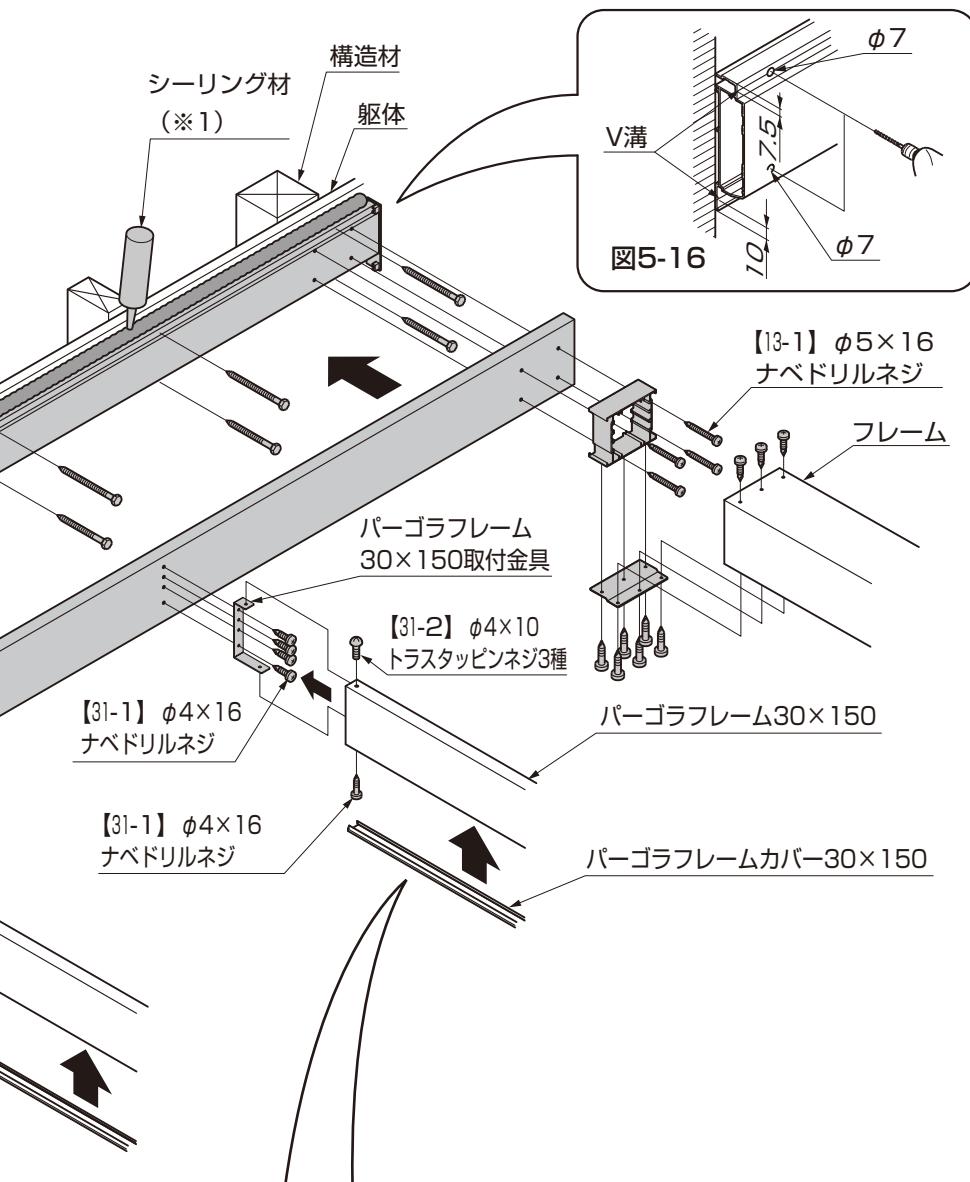


図5-14

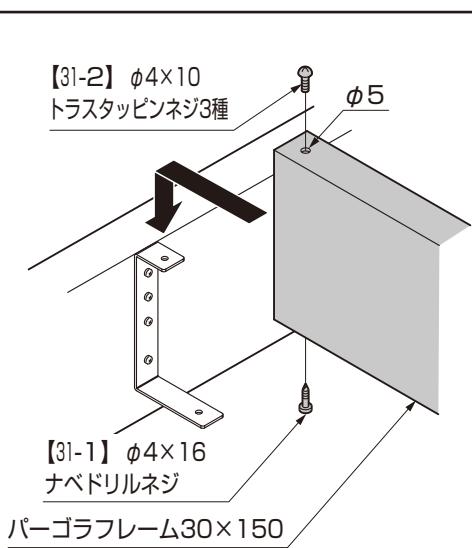


図5-15

1. 車体付けフレームの取付け

- ①車体付けフレーム端部キャップを車体付けフレームに【20-1】で取付けてください。(図5-10参照)

ポイント

- 車体付けフレーム端部キャップは後付けできません。

- ②車体付けフレームの止め付け位置にφ7の穴をあけ【20-2】、【20-3】で車体に取付けてください。(図5-16参照)

注意

- 車体付けフレームは必ず車体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

- ③車体付けフレームに車体付けフレームカバーを取付けてください。

- ④車体付けフレームと車体間をシーリング処理してください。

ポイント

- シーリング材は現場で手配してください。(※1)

2. フレーム・車体付けフレームの取付け

- ①フレーム取付穴位置治具を車体付けフレームカバーに当て、ケガキ、ドリルでφ4.5の穴をあけてください。(図5-11参照)

- ②スリープを車体付けフレームに【13-2】で取付けてください。

- ③フレームをスリープに【13-1】、フレーム取付け金具で取付けてください。

ポイント

- フレームは仮止めにしてください。

3. パーゴラフレーム・車体付けフレームの取付け

- ①パーゴラフレーム30×150取付金具をフレームに【31-1】で取付けてください。(図5-14参照)

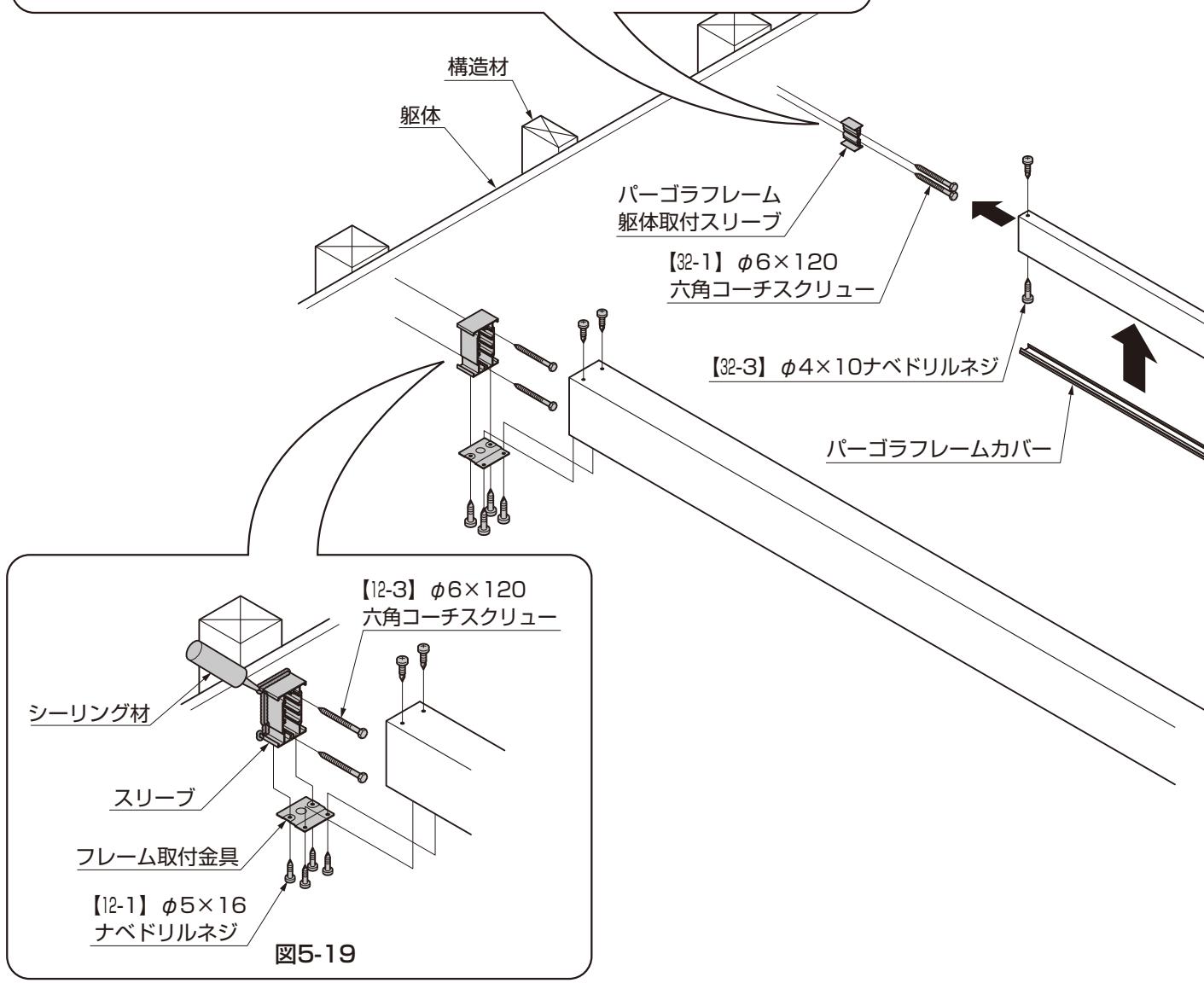
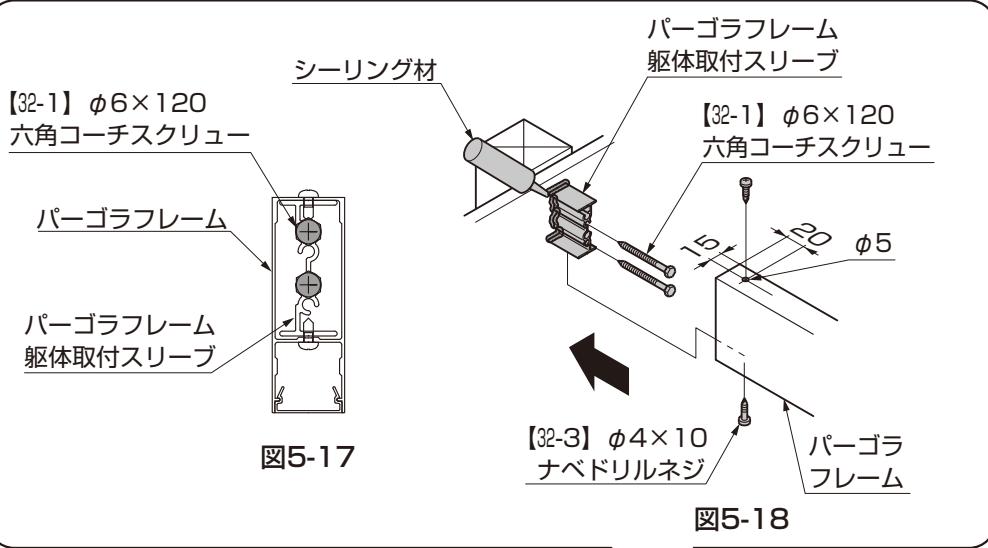
- ②パーゴラフレーム30×150を上から取付金具に差し込んで、上部【31-2】、下部は【31-1】で取付けてください。(図5-15参照)

- ③パーゴラフレーム30×150にパーゴラフレームカバー30×150を嵌め込んでください。

5. (つづき)

5-2 車体直付けの場合

(1) 90角フレームの場合



1. フレームの取付け

- ①スリーブを軸体に【12-3】で取付けてください。

注意

- スリーブ、パーゴラフレーム軸体取付スリーブは必ず軸体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

- ②フレームをスリーブに【12-1】で取付けてください。

- ③フレーム取付金具をスリーブ、フレームに【12-1】で取付けてください。

ポイント

- フレームは仮止めとしてください。
- 軸体には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。

2. パーゴラフレームの取付け

- ①パーゴラフレーム軸体取付スリーブを【32-1】で取付けてください。

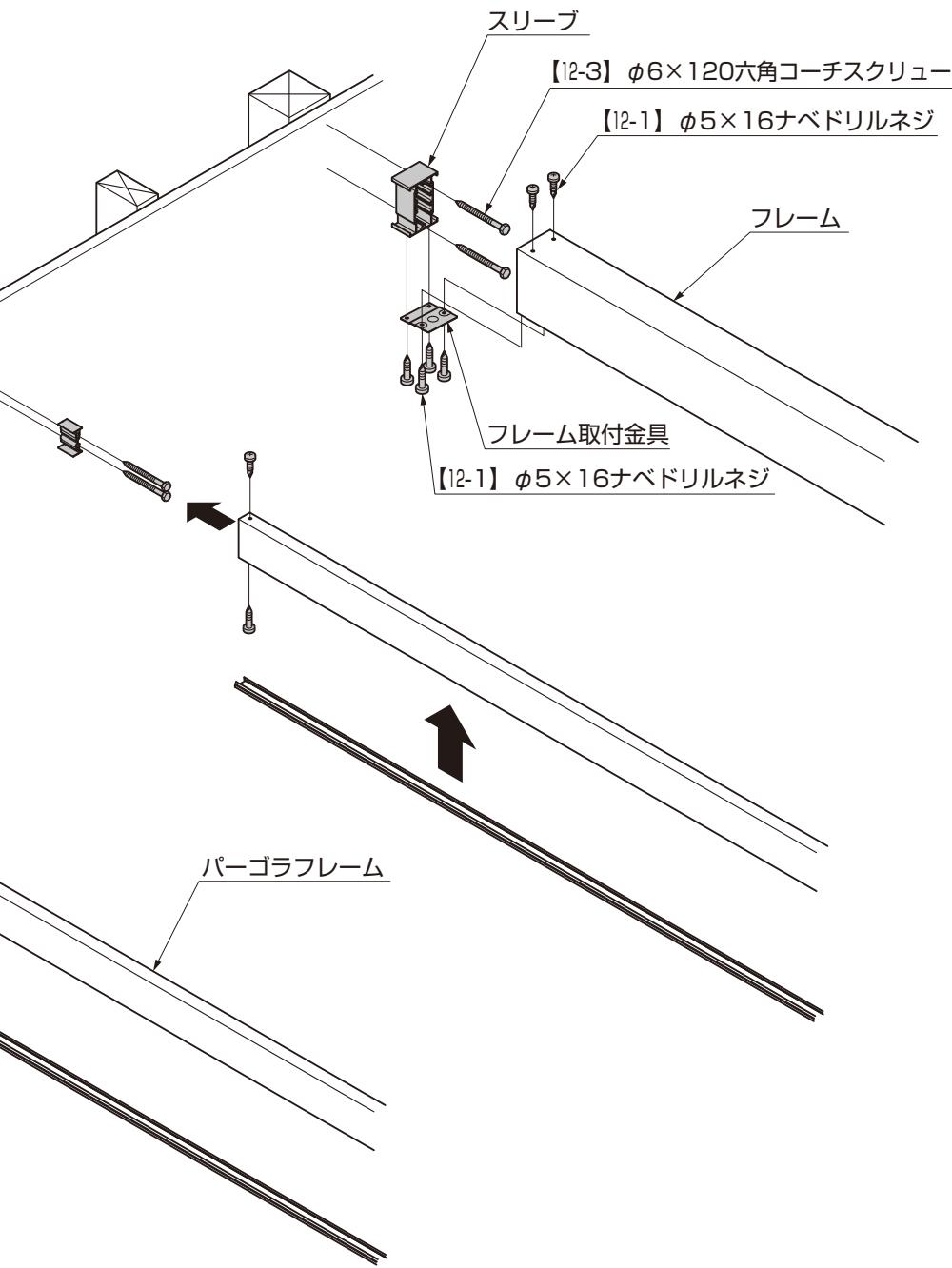
- ②軸体とパーゴラフレーム、フレームにシーリングをしてください。（図5-19参照）

ポイント

- 軸体には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。

- ③パーゴラフレームに $\phi 5$ の穴を開け【32-3】でパーゴラ軸体取付スリーブに取付けてください。（図5-18参照）

- ④パーゴラフレームにパーゴラフレームカバーをはめ込んでください。



5. (つづき)

5-3 パーゴラフレームの取付け

(1) 90×150フレームの場合

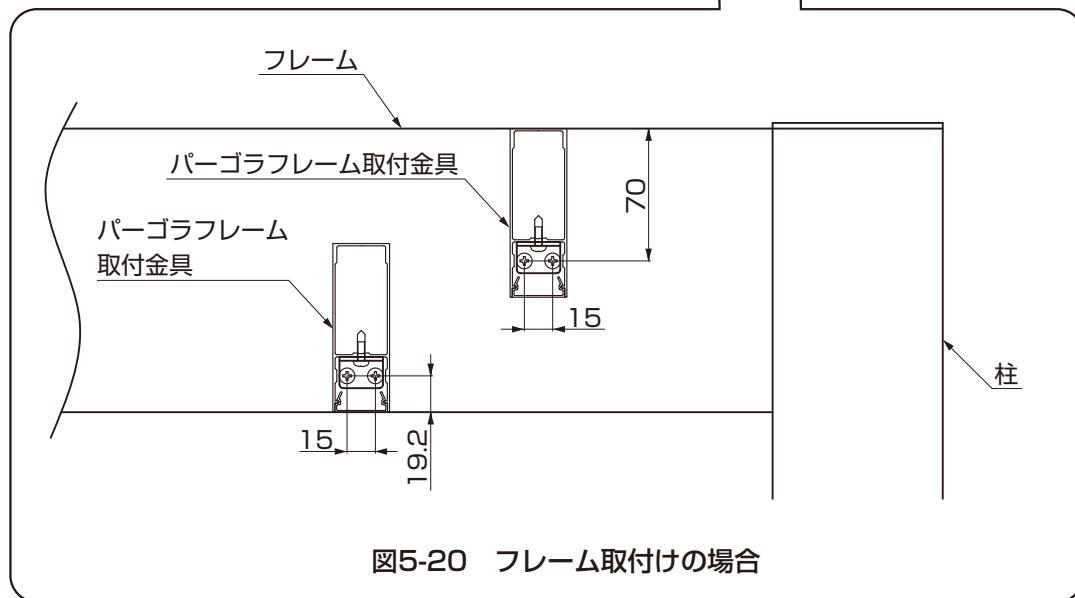
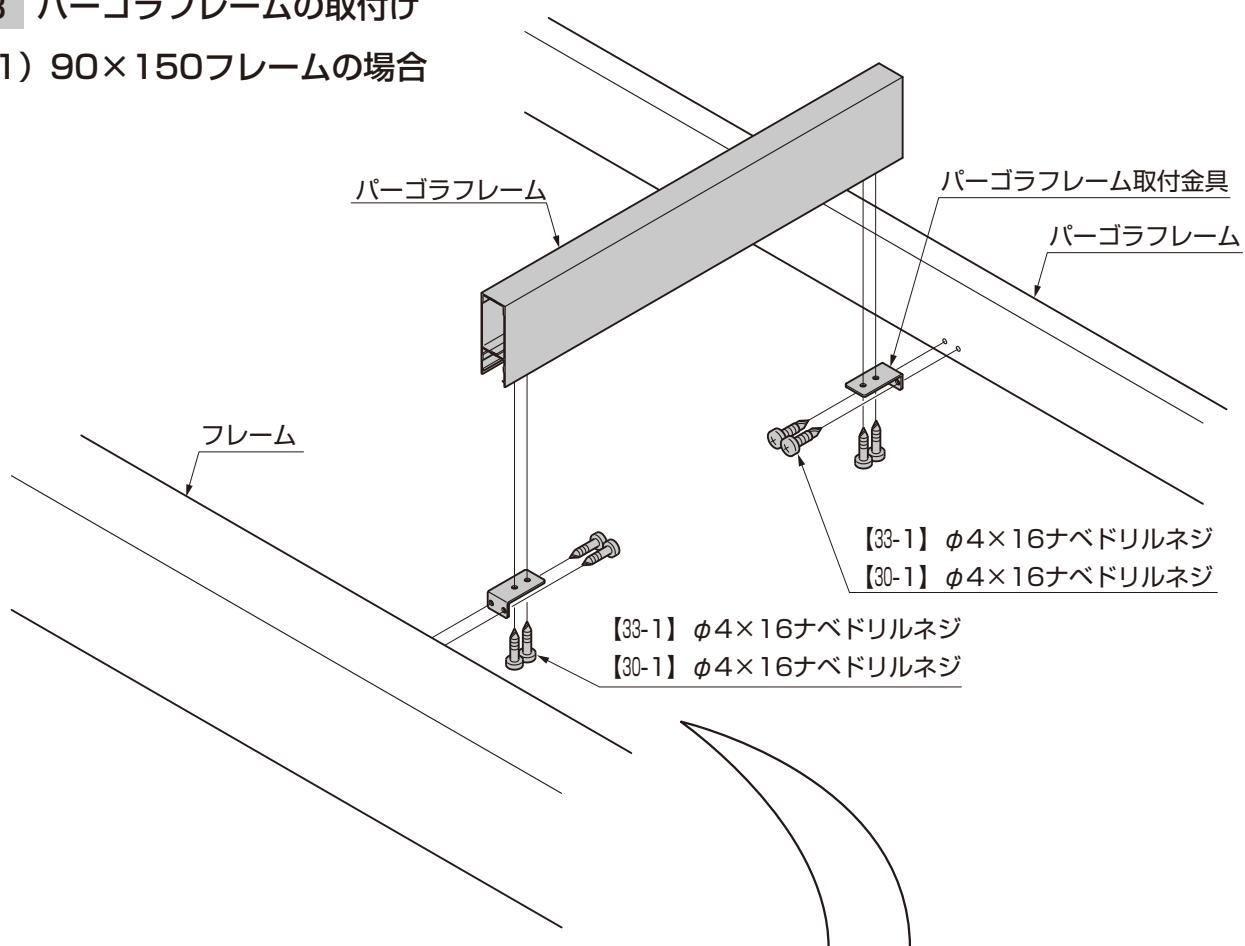


図5-20 フレーム取付けの場合

- ①パーゴラフレーム取付金具をフレーム、パーゴラフレーム、柱へ【30-1】または【33-1】で取付けてください。
- ②パーゴラフレームをパーゴラフレーム取付金具に【30-1】または【33-1】で取付けてください。



- フレームへの取付けは図5-20を参照して取付けてください。

5-3 パーゴラフレームの取付け

(2) 150角フレームの場合

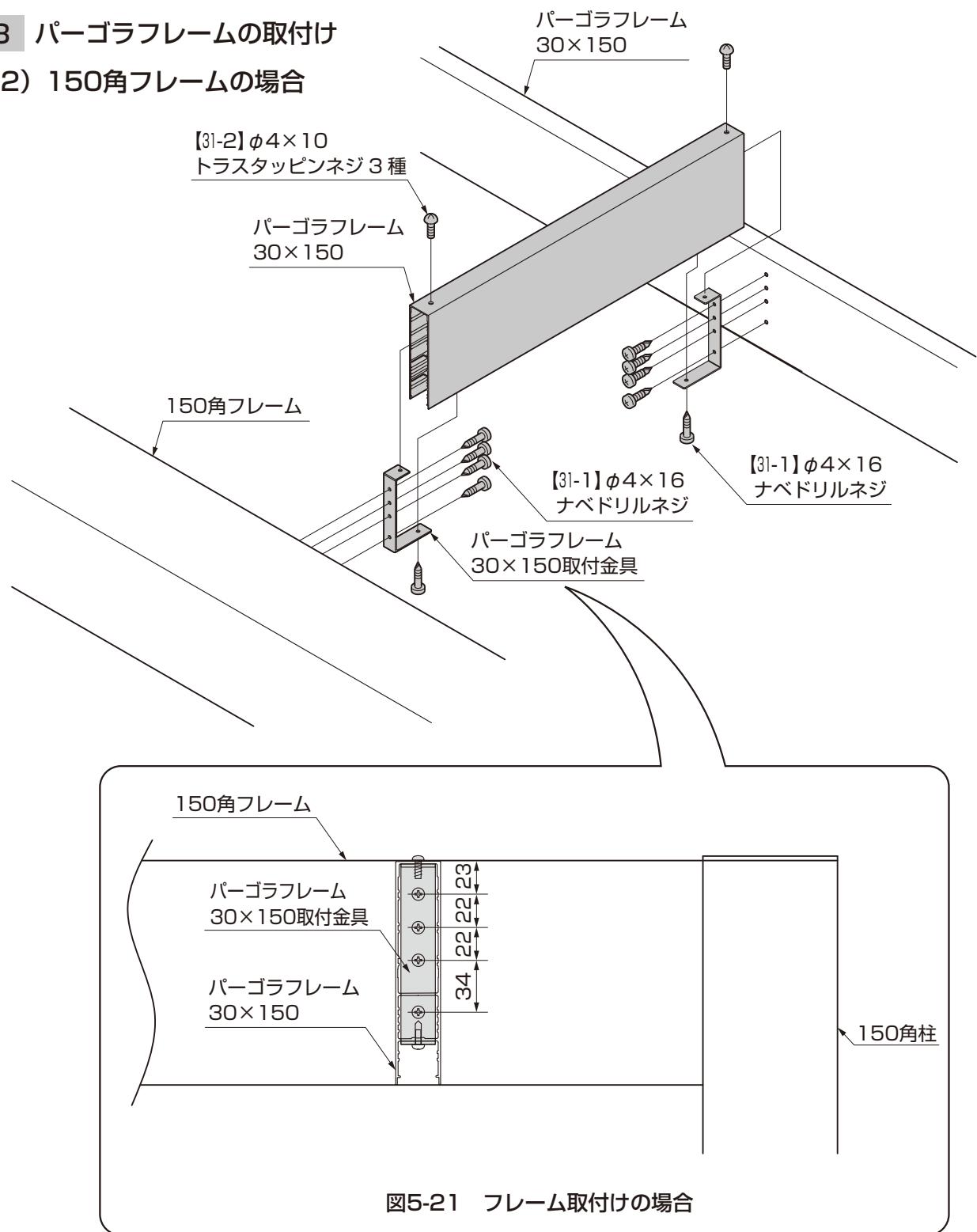


図5-21 フレーム取付けの場合

①パーゴラフレーム30×150取付金具を150角フレーム、パーゴラフレーム30×150、柱へ【3]-1】で取付けてください。

②パーゴラフレーム30×150をパーゴラフレーム30×150取付金具に【3]-2】で取付けてください。

ポイント

- フレームへの取付けは図5-21を参照して取付けてください。

6. フレームカバーの取付け

(1) 90×150フレームの場合

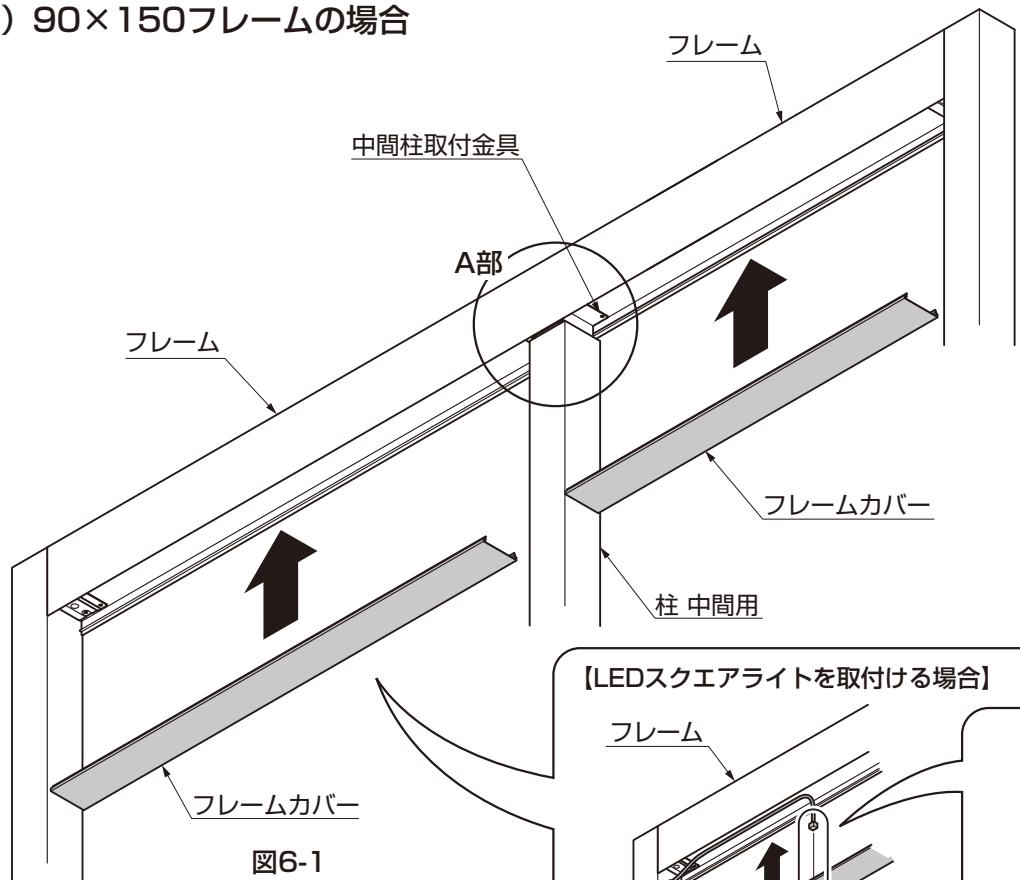


図6-1

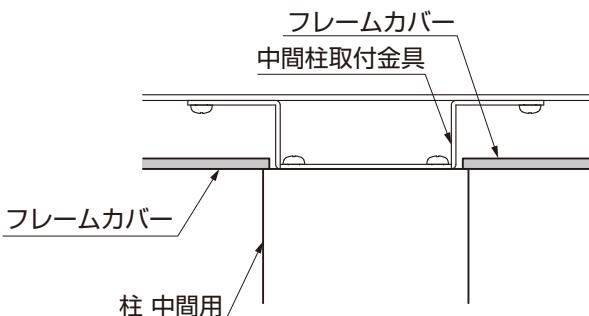
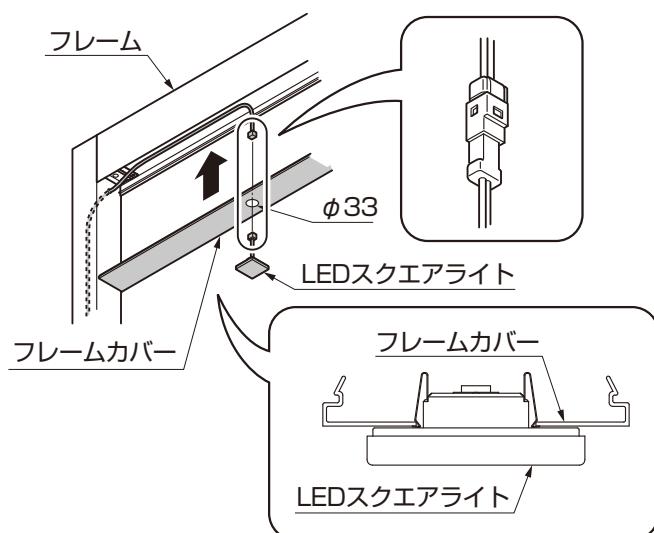


図6-2 A部詳細図

【LEDスクエアライトを取付ける場合】



- ① LEDスクエアライトをフレームカバーにはめてください。
- ② 柱に仮止めしていた配線をはい回し、LEDスクエアライトと接続してください。
- ③ フレームカバーをフレームにはめ込んでください。

①フレーム取付ネジの本締めを行なってください。



●Gルーフ、デザイン格子デッキ上施工が完了していることを確認してください。

②フレームにフレームカバーをはめ込んでください。連結する場合は柱 中間用に干渉しないように実測して加工してください。



- フレームカバーの加工は実測値よりも1mm～2mm長く加工すると、すき間なく施工できます。
- デザイン格子をデッキ施工する場合、フレームカバーの取付けはデザイン格子と一緒に施工してください。

(2) 150角フレームの場合

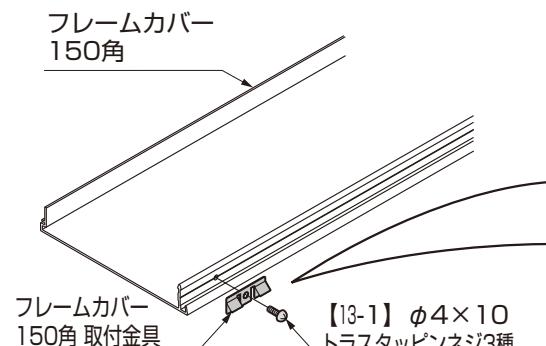


図6-3

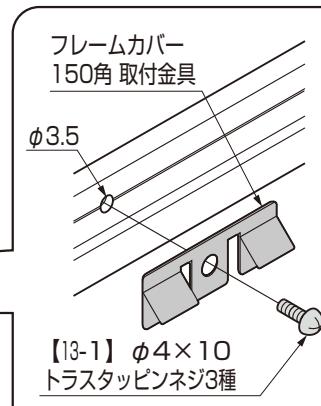


図6-4

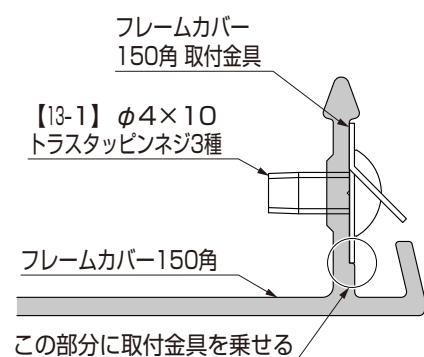


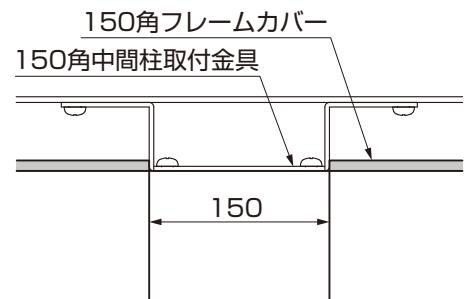
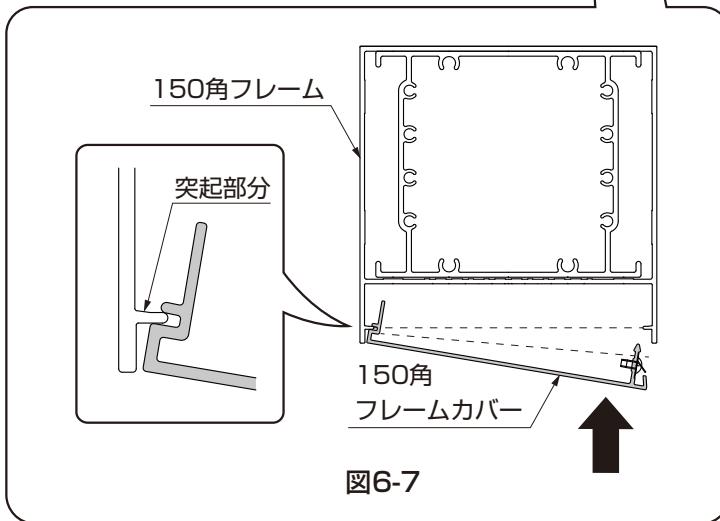
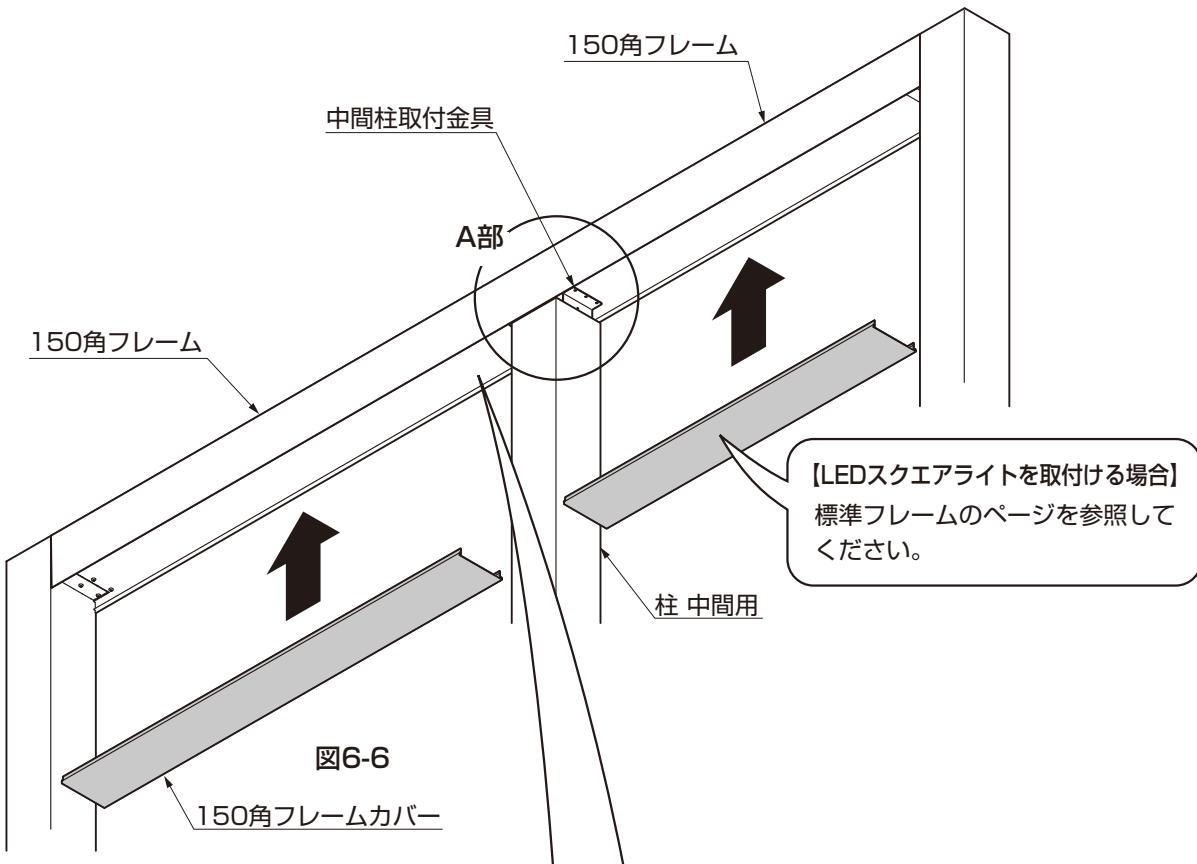
図6-5

①フレームカバー150角取付金具をフレームカバー150角に【13-1】で取付けてください。

ポイント

- フレームカバー150角には、取付金具を取付ける為の下穴加工 $\phi 3.5$ があいています。（図6-4参照）
- 取付金具をフレームカバー150角に取付ける時、フレームカバー150角の飛び出た部分に取付金具を乗せて水平に取付ネジで取付けてください。（図6-5参照）
(取付ける時、取付金具が斜めに取付いているとフレームカバーがフレームに取付けられません。)
- フレームに150角中間柱を使用する場合やフレームを持ち出す場合（P5施工の前の重要確認事項を参照）は、すでにあいている下穴とは別に、切断したフレームカバー150角に現場で下穴 $\phi 3.5$ をあけ直して取付金具を取付けてください。
- 切断したフレームカバー150角の下穴あけ位置は、端部から50mmにあけて取付金具ピッチを1000mm以内にして下穴 $\phi 3.5$ をあけて取付け金具をフレームカバー150角に取付けてください。
- フレームを持ち出す場合は、フレームカバー150角の下穴加工は、左右の端部から50mmに下穴 $\phi 3.5$ をあけて取付金具を取付けてください。

6. (つづき)



補足

- Gルーフ、デザイン格子デッキ上施工が完了していることを確認してください。

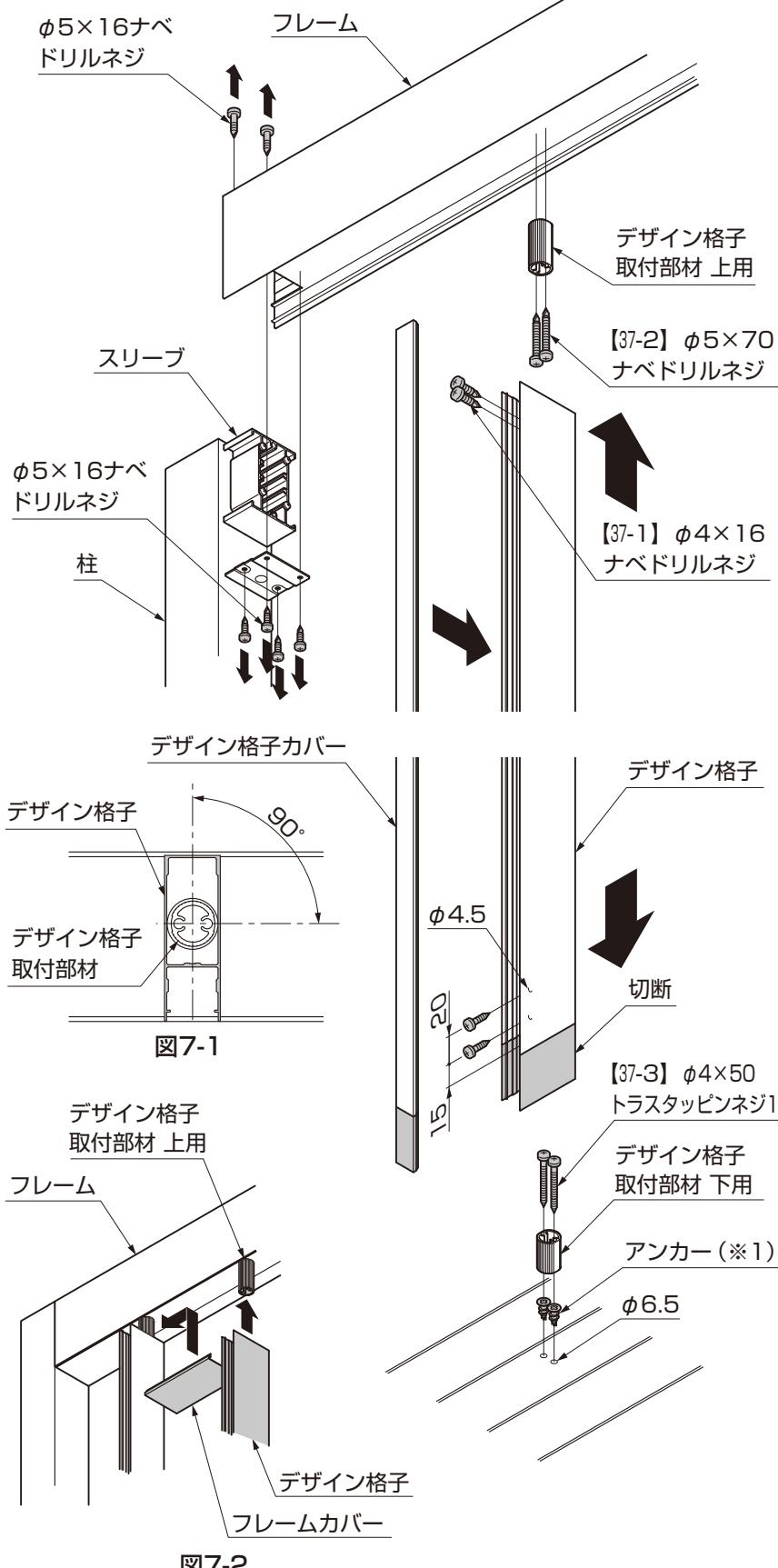
- ② フレーム150角にフレームカバー150角の取付金具が取り付いていない側を、フレーム150角のカバー受け（突起部分）に斜めに差し込みます。（図6-7参照）
- ③ フレームカバー150角をフレーム150角に片側を差し込んだら、取付金具を取付けた側をフレーム150角に押し上げてはめ込みます。

ポイント

- フレームカバーの加工は実測値よりも1mm短く切断して、フレームカバーを取付けてください。

7. デザイン格子デッキ上施工の取付け

(1) 90×150フレームの場合



- ① デザイン格子取付部材 上用をフレームに【37-2】で取付けてください。
- ② デザイン格子取付部材 下用を【37-3】、「アンカー」でデッキに取付けてください。

ポイント

- ※1の部材は人工木材の場合に使用します。取付けの際に $\phi 6.5$ の穴をあけてください。
- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付角度に対して90°に取付けてください。(図7-1参照)
- デザイン格子デッキ上施工の場合は、デザイン格子の取付角度は図5-1の範囲で可能です。

- ③ デザイン格子、デザイン格子カバーを現場に合わせて切断し、 $\phi 4.5$ の穴をあけてください。
- ④ 仮止めしているフレームの「 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルネジ」をはずして、フレームを持ち上げ、デザイン格子取付部材にデザイン格子を【37-1】で取付けてください。
- ⑤ デザイン格子取付け後、さきほど外した「 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルネジ」でフレームをスリーブに固定してください。
- ⑥ デザイン格子にデザイン格子カバーをはめ込んでください。

ポイント

- 複数のデザイン格子をデッキ上施工する場合は、フレームカバーを取り付けながら行なってください。(図7-2参照)
- フレームカバーの加工は実測よりも1mm～2mm長く加工するとすき間なく施工ができます。

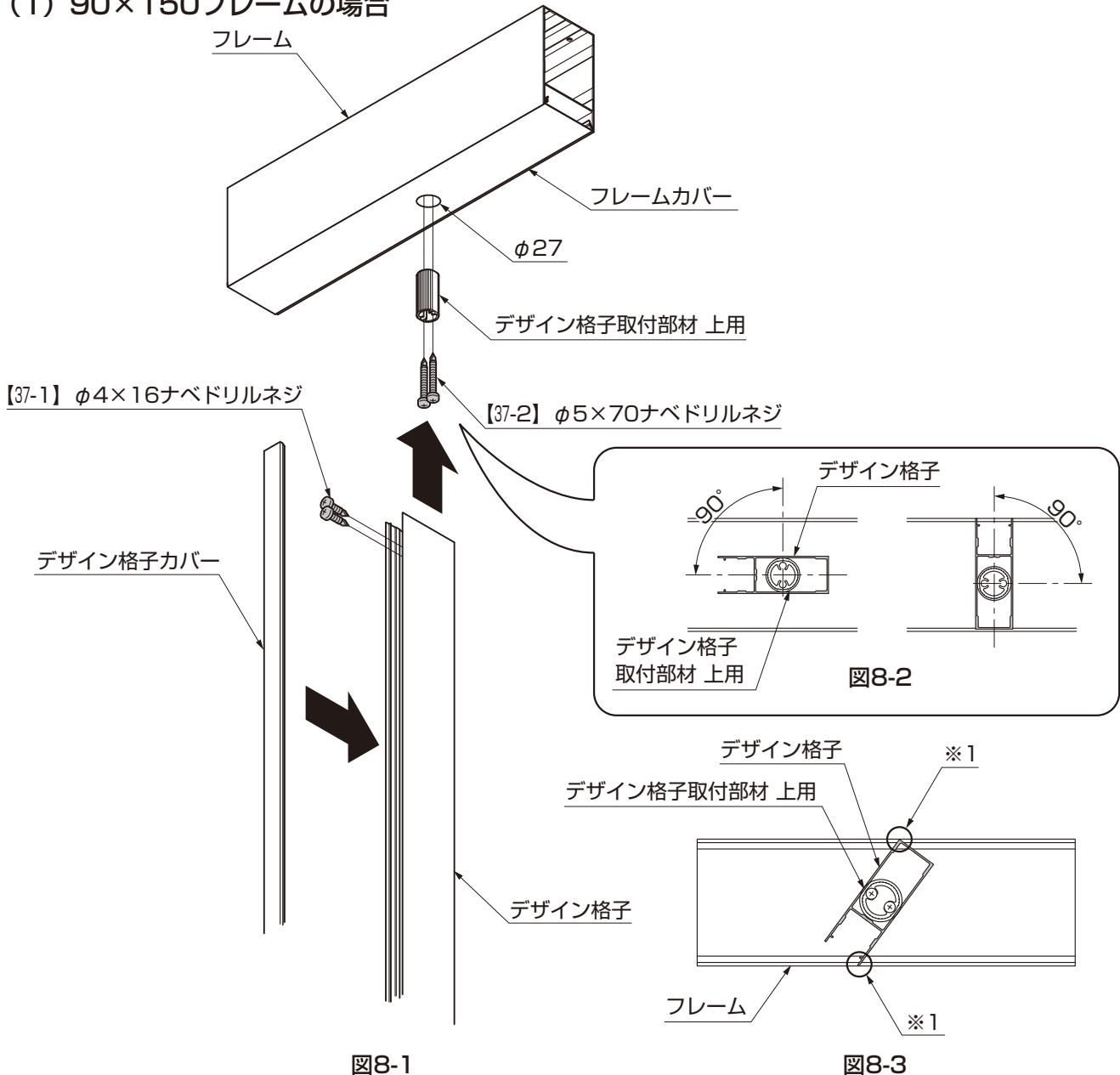
8. デザイン格子埋込み施工の取付け

※埋込み施工補助部材を使用する場合は

「9.デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け」と同時に実行してください。

8-1 デザイン格子埋込み施工

(1) 90×150フレームの場合



①フレームカバーにφ27の穴をあけてデザイン格子取付部材 上用をフレームに【37-2】で取付けてください。

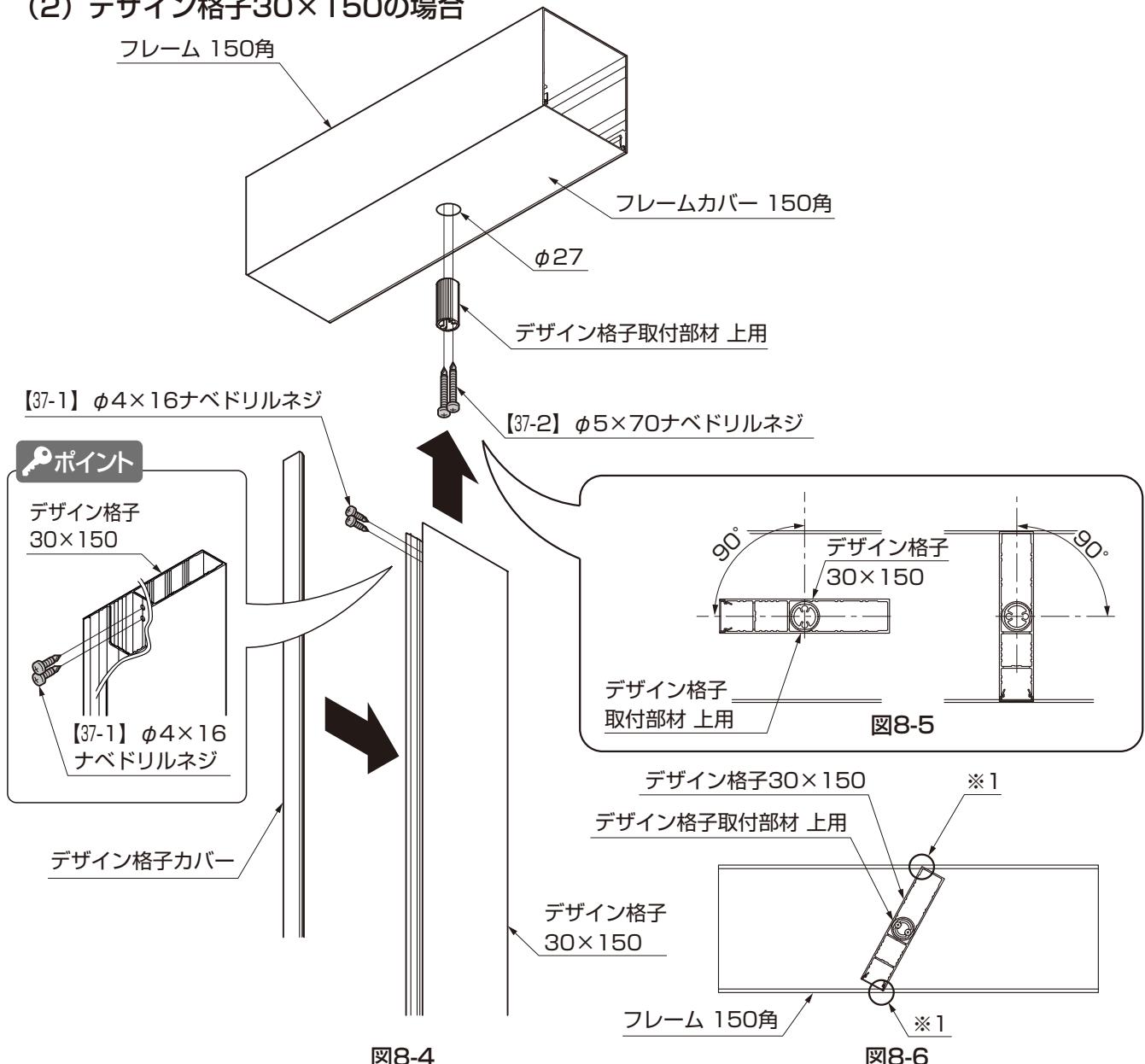
ポイント

- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付け角度に対して90°に取付けてください。(図8-2参照)
- デザイン格子は回転させて取付ける事が可能ですが、※1の箇所がフレームから飛び出さないように取付けてください。(図8-3参照)
- 外付け仕様と組み合わせる場合は面に合わせてください。(150も同様です)

②デザイン格子取付部材 上用にデザイン格子を【37-1】で取付けてください。

③デザイン格子にデザイン格子カバーをはめ込んでください。

(2) デザイン格子30×150の場合



①フレームカバー 150角に $\phi 27$ の穴をあけてデザイン格子取付部材 上用をフレーム150角に【37-2】で取付けてください。

ポイント

- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付け角度に対して90°に取付けてください。(図8-5参照)
- デザイン格子は回転させて取付ける事が可能ですが、※1の箇所がフレームから飛び出さないように取付けてください。(図8-6参照)
- 外付け仕様と組み合わせる場合は面に合わせてください。(150も同様です)

- ②デザイン格子取付部材 上用にデザイン格子30×150を【37-1】で取付けてください。
- ③デザイン格子30×150にデザイン格子カバーをはめ込んでください。

9. デザイン格子埋込み施工補助部材の取付け

9-1 デザイン格子の加工

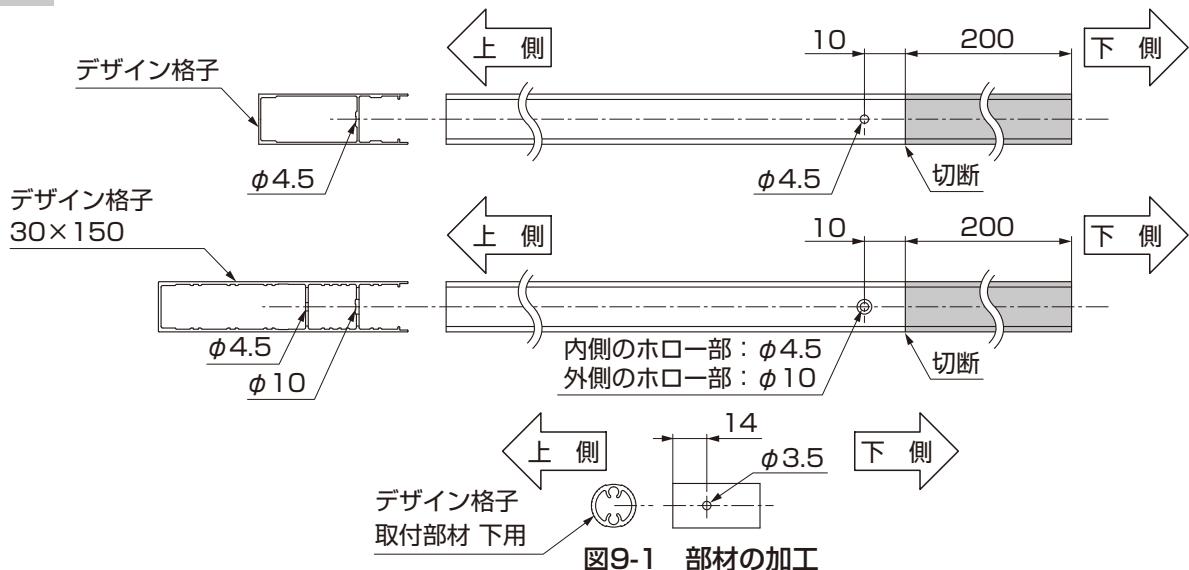


図9-1 部材の加工

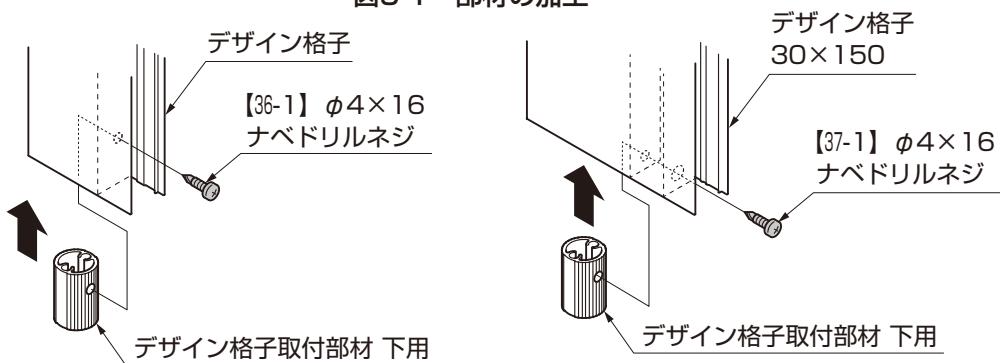


図9-2

- ①デザイン格子、デザイン格子取付部材下用を切断、穴加工してください。(図9-1参照)
- ②デザイン格子にデザイン格子取付部材下用を【36-1】、【37-1】で取付けてください。(図9-2参照)

9-2 埋込み施工補助部材の加工 ※デザイン格子埋込み施工補助部材を連結する場合の作業です。

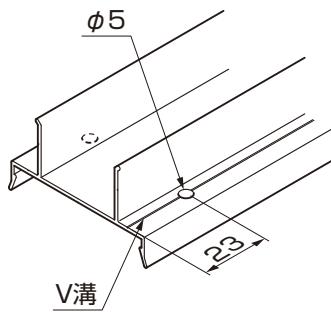


図9-3 連結仕様の場合
埋込み施工補助部材の加工

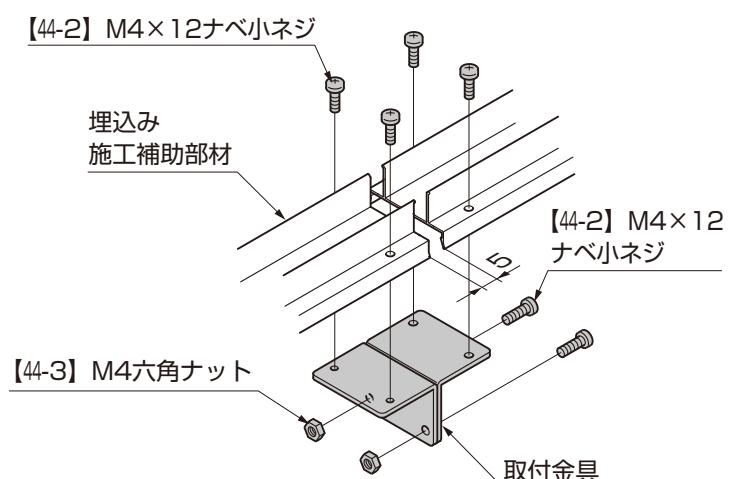


図9-4 連結仕様の場合

- ①埋込み施工補助部材を連結させる場合は、埋込み施工補助部材に穴加工をして取付金具を【44-2】、【44-3】で取付けてください。(図9-3、図9-4参照)

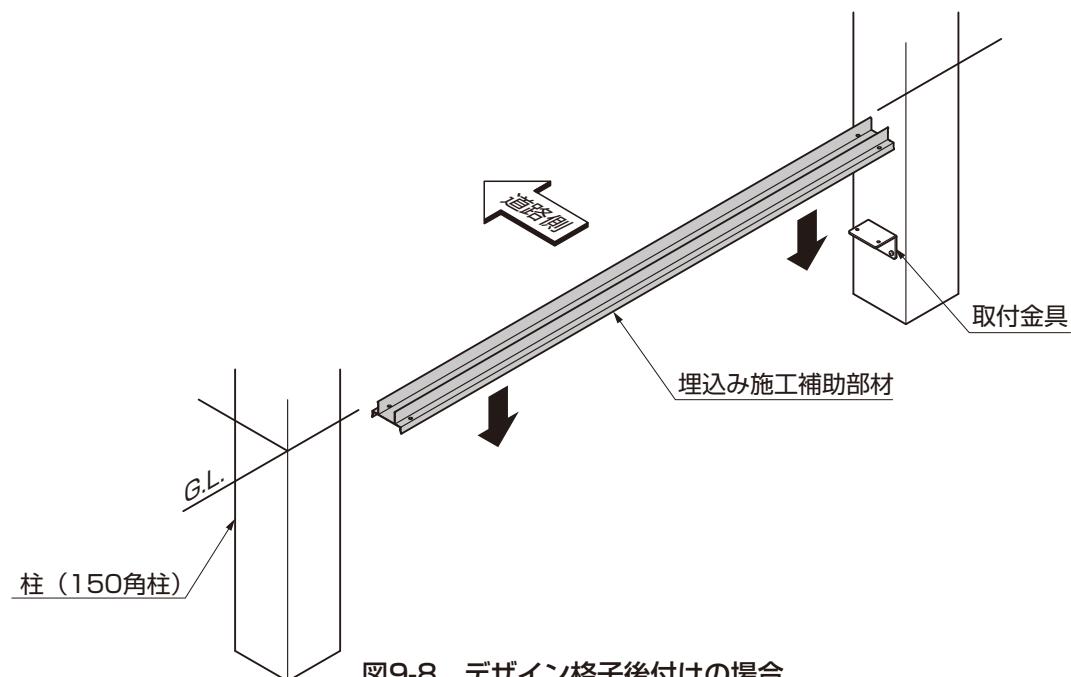
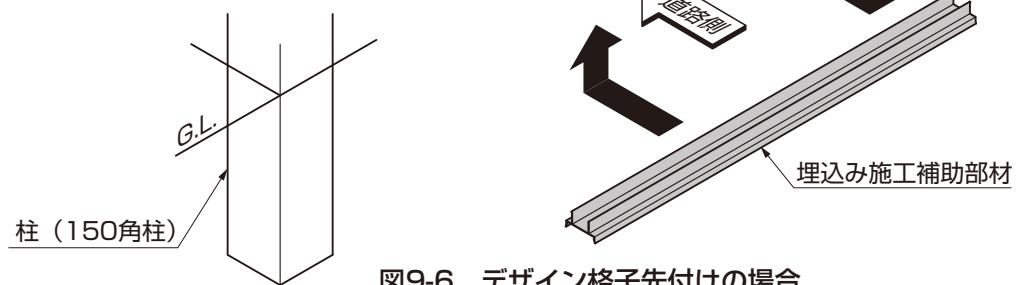
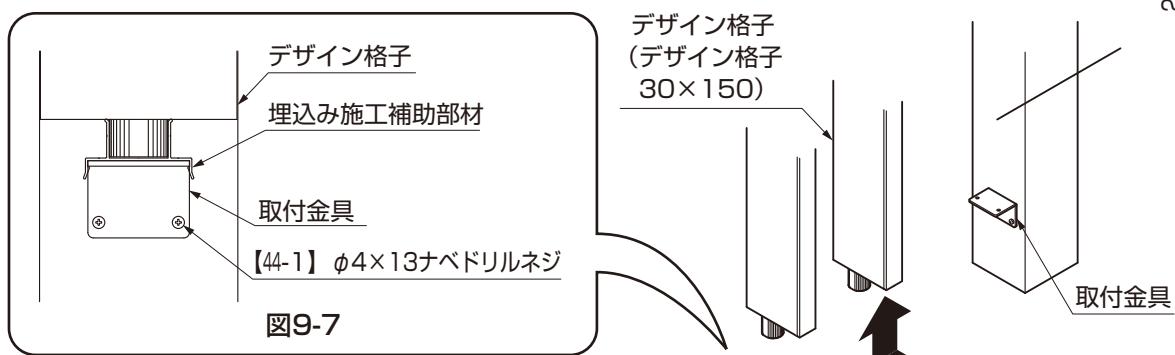
メモページ

9. (つづき)

9-3 埋込み施工補助部材取付け施工

※現場の状況に合わせてデザイン格子先付けまたは後付けの施工方法を選択してください。

※下図は90角フレームの場合です。 () 内は150角フレームを使用する場合の表記です。



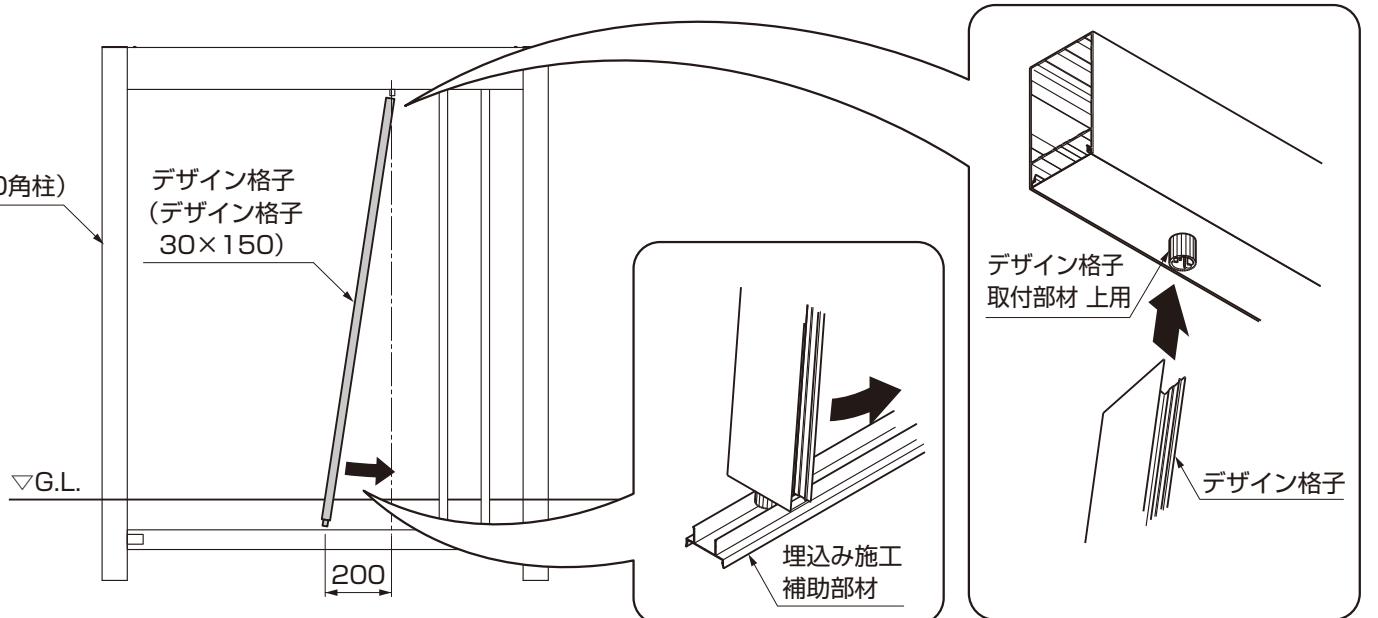


図9-9

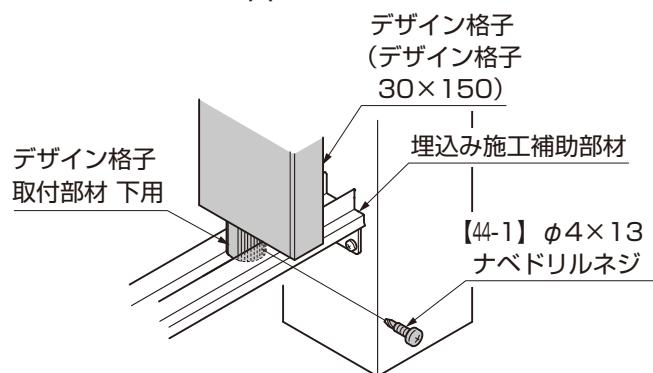


図9-10 デザイン格子の場合

1. デザイン格子先付けの場合

※ 「1-4 取付金具の取付け」を行なっていることを確認してください。

※ デザイン格子の取付けは「8.デザイン格子埋込み施工の取付け」を参照してください。

- ① デザイン格子をフレームに取付いている、デザイン格子取付け部材 上用に取付けてください。
- ② 埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込んでください。(図9-6参照)
- ③ デザイン格子取付け部材 下用を埋込み施工補助部材に【44-1】で取付けてください。(図9-10参照)

2. デザイン格子後付けの場合

※ 「1-4 取付金具の取付け」を行なっていることを確認してください。

※ デザイン格子の取付けは「8.デザイン格子埋込み施工の取付け」を参照してください。

- ① 埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込んでください。(図9-6参照)
- ② デザイン格子取付け部材 上用の取付け後、図9-9を参考にデザイン格子をデザイン格子取付け部材 上用、埋込み施工補助部材 に入るよう斜めにして取付けてください。この際に作業幅が200mm程度必要となります。
- ③ デザイン格子取付け部材 下用を埋込み施工補助部材に【44-1】で取付けてください。(図9-10参照)

ポイント

- デザイン格子とフレームカバーにすき間がないことを確認してください。

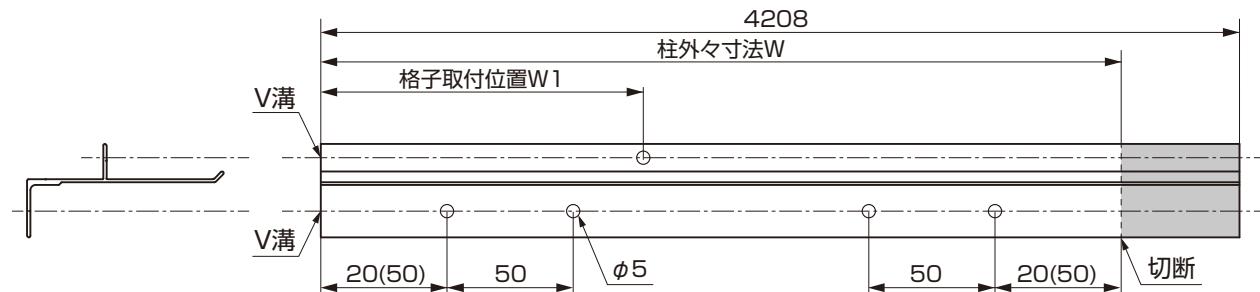
10. デザイン格子 外付けタイプの取付け

* [P.5 施工上の条件] 及び、[P.24 基礎工事] を参照した上で、取付けを行ってください。

10-1 施工補助部材の加工

* 施工補助部材の長さはW40の設定のみの為、柱の開口が狭い場合は、現場で切断して使用してください。

- 施工補助部材 * () 内は150角柱を使用する場合の寸法になります。

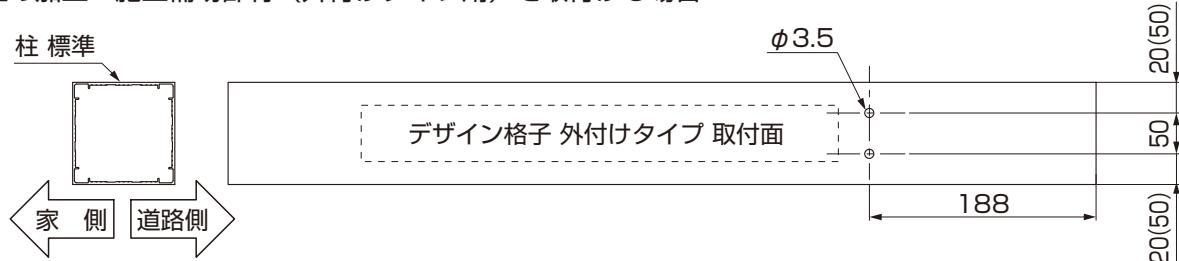


①格子を取付けるフレームの柱外々寸法に合わせて施工補助部材の切り詰めを行ってください。

②施工補助部材の両端部に穴加工をしてください。

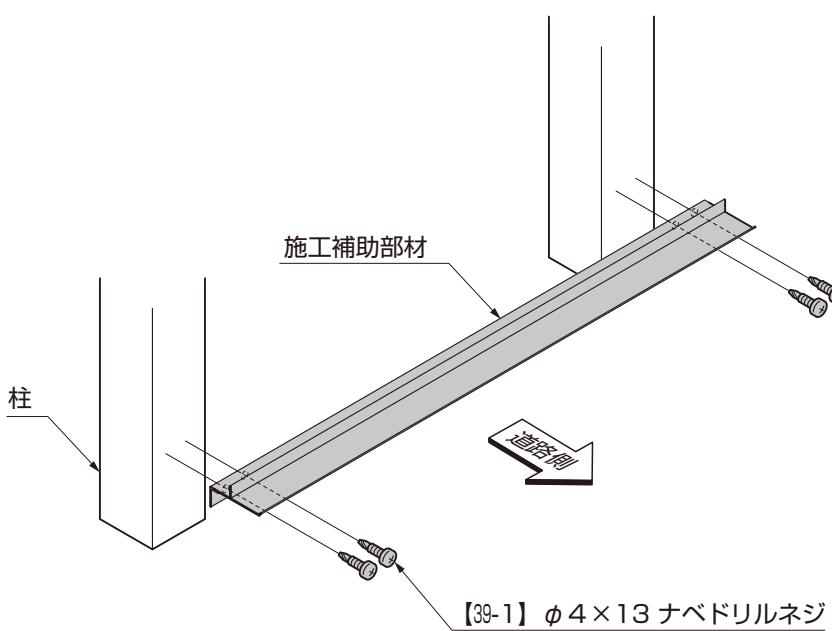
③格子取付位置W1に穴加工をしてください。

- 柱の加工 施工補助部材（外付けタイプ用）を取付ける場合

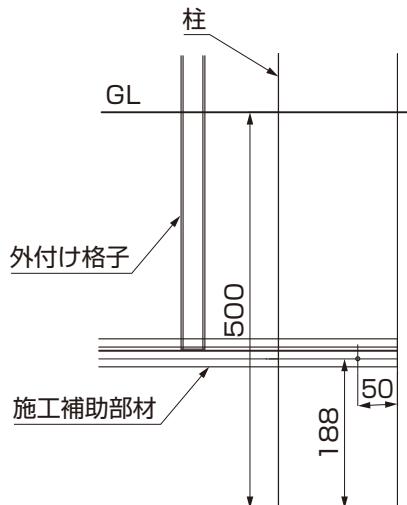


①柱のデザイン格子 外付けタイプを取付ける面（道路側）に施工補助部材用の穴加工をしてください。

10-2 施工補助部材の取付け

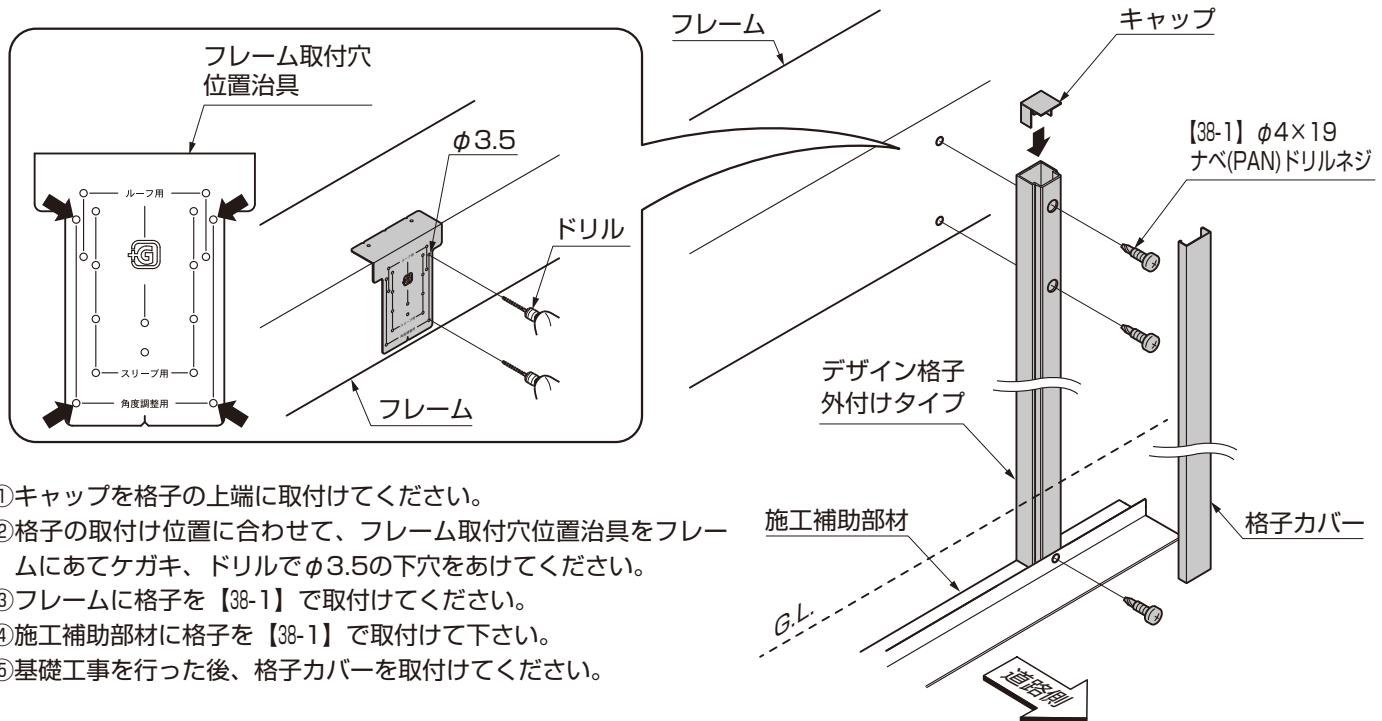


- 施工補助部材の柱取付け位置
※150角柱の場合

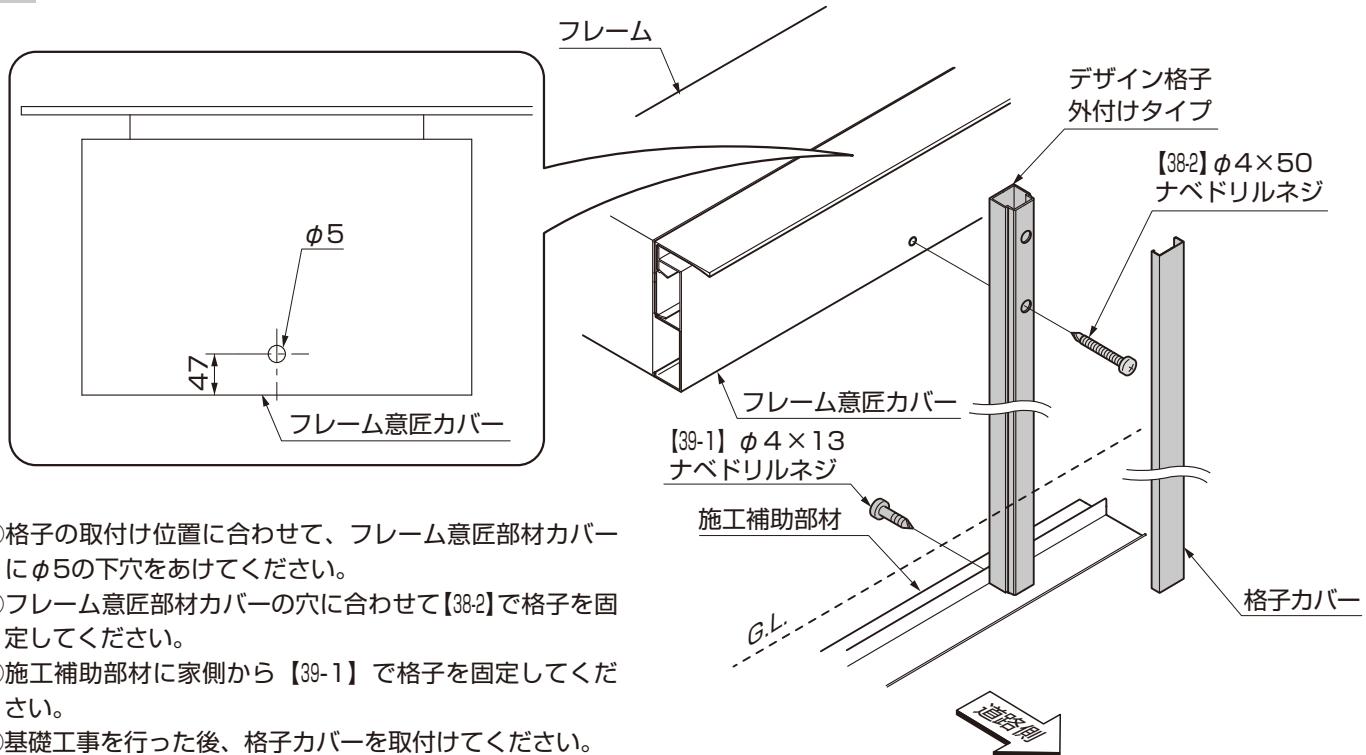


①デザイン格子 外付けタイプを取付けるフレームの端部柱に【39-1】で施工補助部材を取付けてください。

10-3 デザイン格子 外付けタイプの取付け（フレーム付け）



10-4 デザイン格子 外付けタイプの取付け（フレーム意匠部材付け）



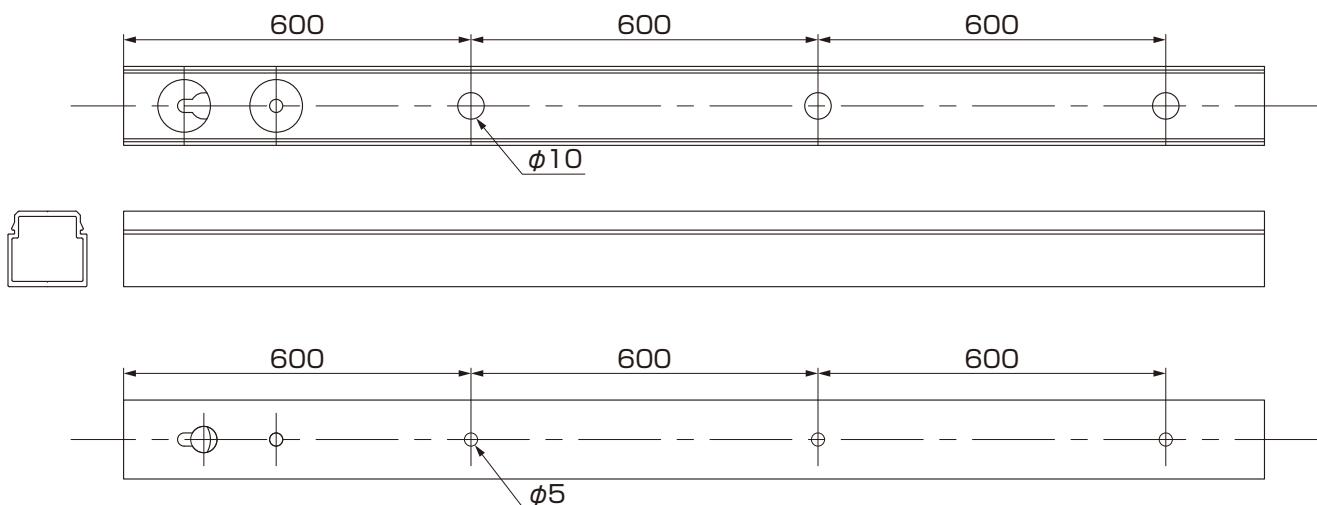
ポイント

- 格子カバーは基礎工事後に取付けてください。
- フレーム意匠部材に取付ける場合は外付け格子キャップの取付はありません。

10. (つづき)

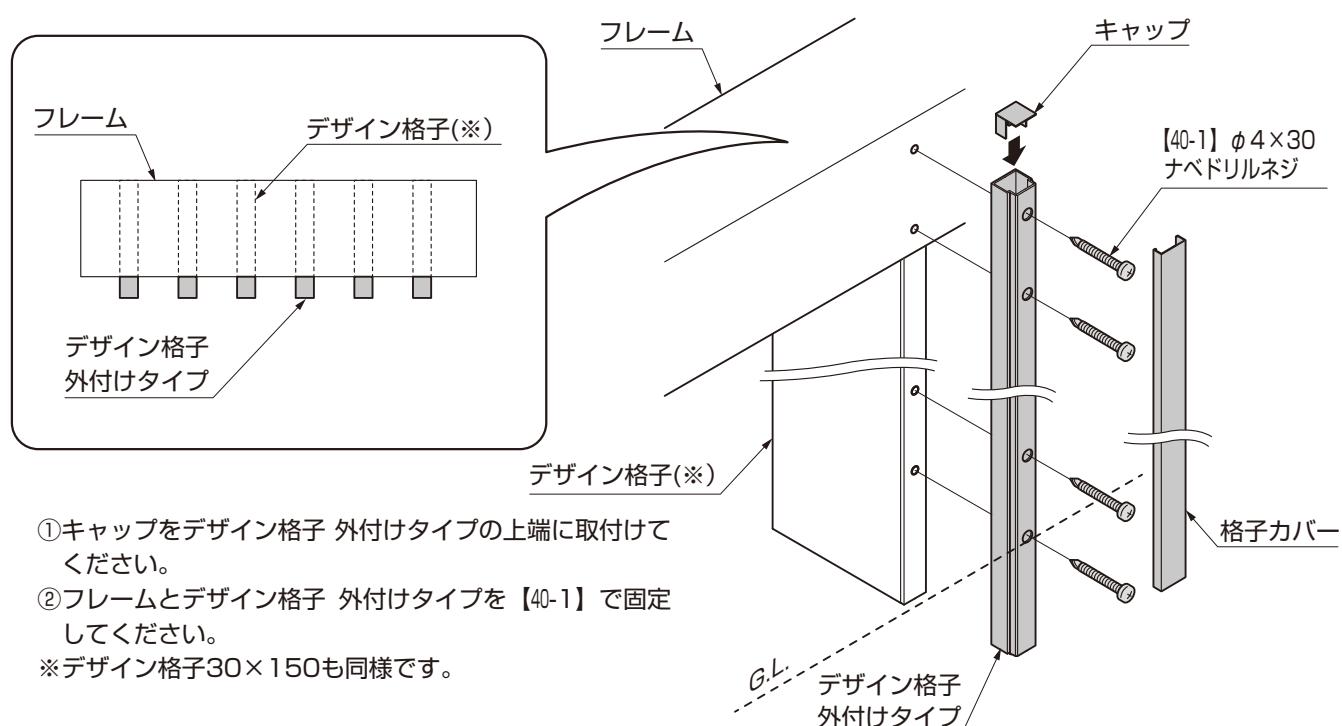
10-5 デザイン格子 外付けタイプの取付け (デザイン格子付け)

(1) デザイン格子 外付けタイプの加工



- ①格子の表面にφ10の穴をあけてください。
- ②格子の裏面にφ5の穴をあけてください。

(2) デザイン格子 外付けタイプの取付け



- ①キャップをデザイン格子 外付けタイプの上端に取付けてください。
 - ②フレームとデザイン格子 外付けタイプを【40-1】で固定してください。
- *デザイン格子30×150も同様です。

ポイント

- 格子カバーは基礎工事後に取付けてください。
- デザイン格子の角度が0° の場合にのみ、デザイン格子 外付けタイプを取付けることができます。

11. 150角フレーム施工時のGスクリーンの取付け

*Gスクリーン：縦格子・横格子・角格子
・縦長格子タイプを取付ける場合

(1) スクリーン隙間カバーを使用する場合

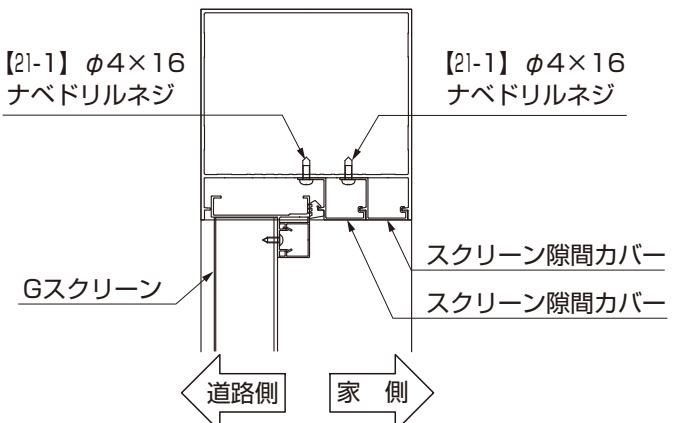
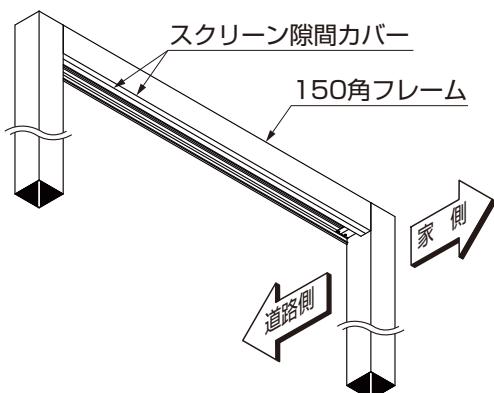


図11-1 Gスクリーン 道路側納まりの場合

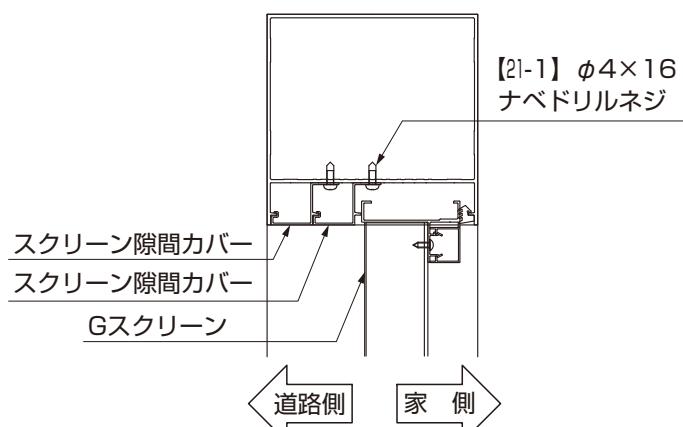
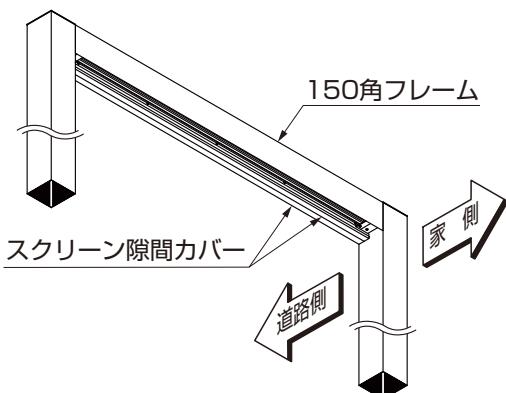


図11-2 Gスクリーン 家側納まりの場合

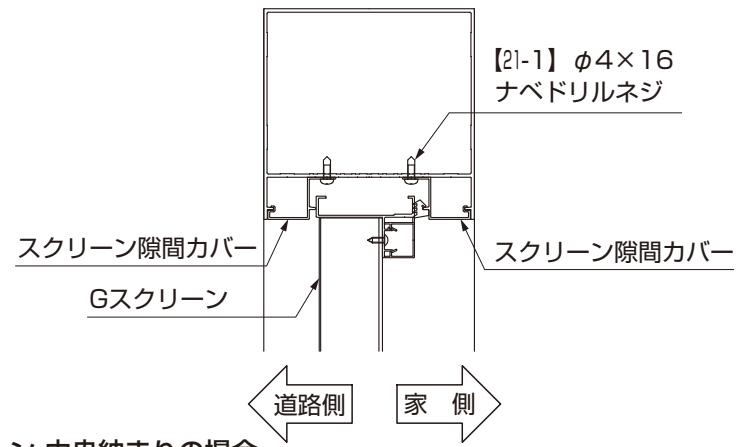
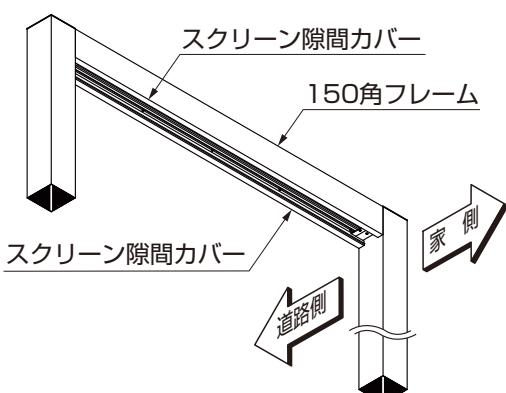


図11-3 Gスクリーン 中央納まりの場合

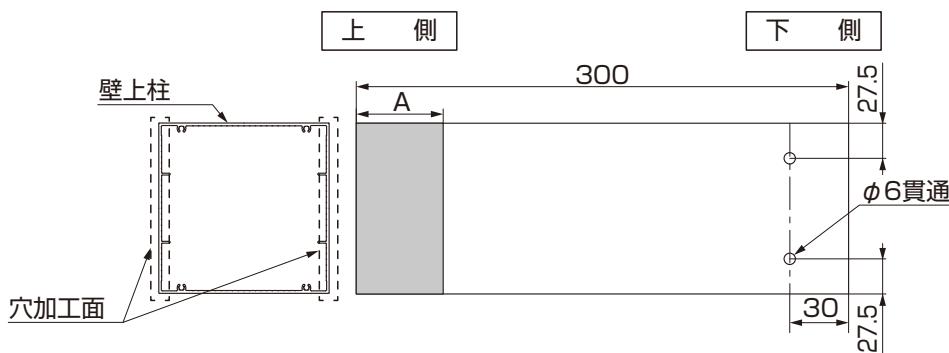
- ①スクリーン隙間カバーを150角フレームに【21-1】で取付けてください。

ポイント

- Gスクリーンそれぞれの取付方法は、Gスクリーン：「縦格子/外付け縦格子/外付け横桟格子タイプ EXM-015」・「縦長格子タイプ C408」・「角格子タイプ C336」・「横格子タイプ C367」の取付説明書を参照してください。
- スクリーン隙間カバーは、スクリーン取付より先に取付けてください。

12. 壁上柱の取付け

12-1 壁上柱の施工



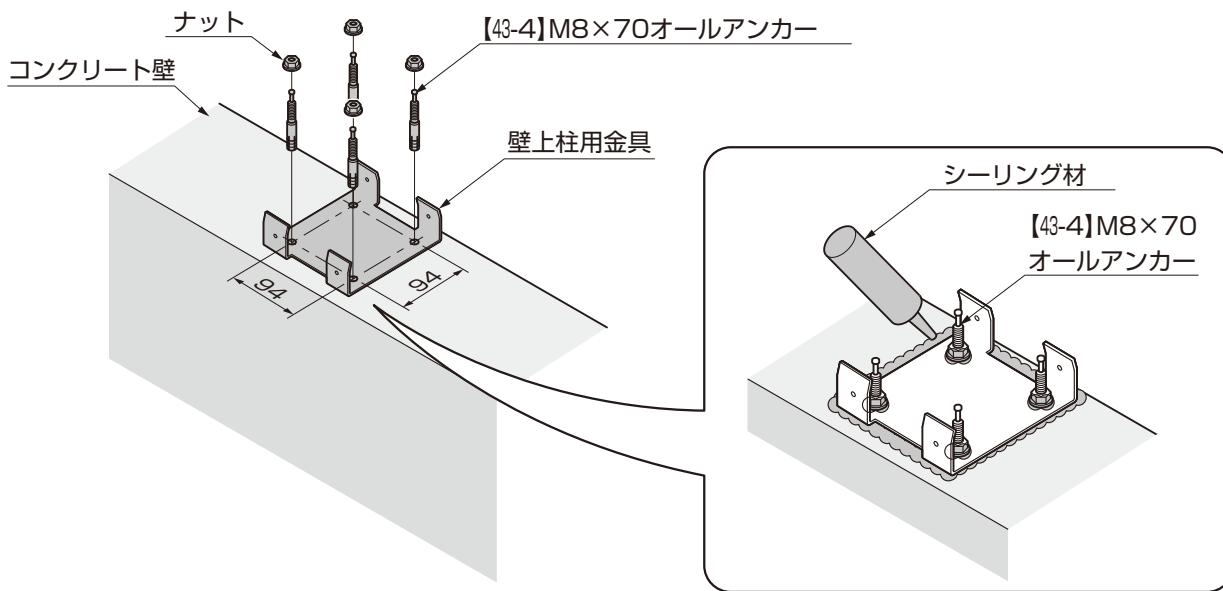
①壁上柱の長さを現場の高さに合わせて切詰めてください。

②下側表裏の4ヶ所にφ6の穴をあけてください。

ポイント

●壁上柱には向きがあります。穴加工を行う面に注意してください。

12-2 壁上柱用金具の取付け



①コンクリート壁の4ヶ所にφ8.5コンクリートドリルで深さ5.5mmの穴をあけてください。

②壁上柱用金具をコンクリート壁上に【43-4】M8×70オールアンカーで取付けてください。

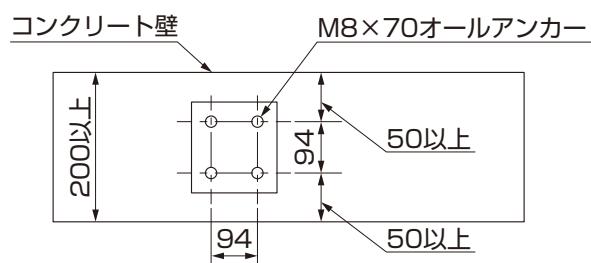
③オールアンカーにナットを取付けてください。

④壁上柱用金具とコンクリート壁の設置面、およびオールアンカーにシーリングをしてください。

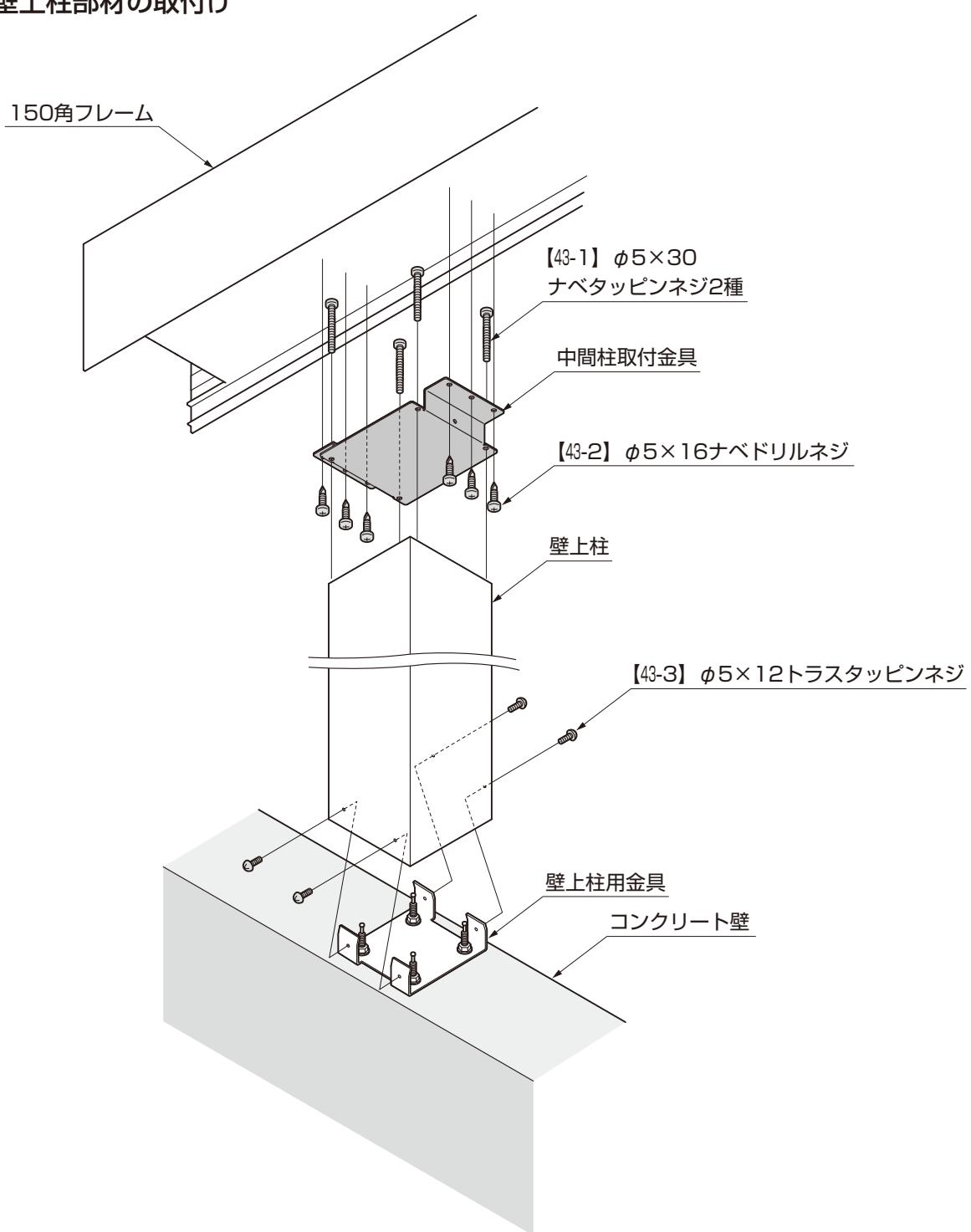
ポイント

●幅200mm以上のコンクリート壁にのみ取付けることができます。

●オールアンカーはコンクリート壁の端部から、必ず50mm以上離した場所に取付けて下さい。



12-3 壁上柱部材の取付け



①中間柱取付金具を壁上柱に【43-1】 $\phi 5 \times 30$ ナベタッピンネジ2種で取付けてください。

②150角フレームに中間柱取付金具を【43-2】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。

③壁上柱を壁上柱用金具に【43-3】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジで取付けてください。

ポイント

- 壁上柱は150角フレーム、ワイドフレームにのみ取付けることができます。
- 壁上柱の向きによってフレーム取付け方向が変わります。壁上柱部材の向きに注意してください。

13. 柱キャップの取付け

13-1 90角柱の場合

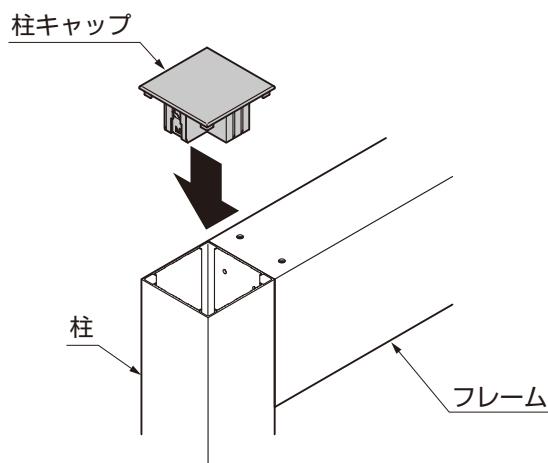


図13-1 柱の場合

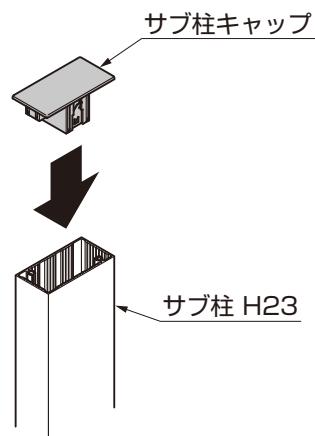


図13-2 サブ柱 H23の場合

①柱に柱キャップをはめ込んでください。

13-2 150角柱の場合

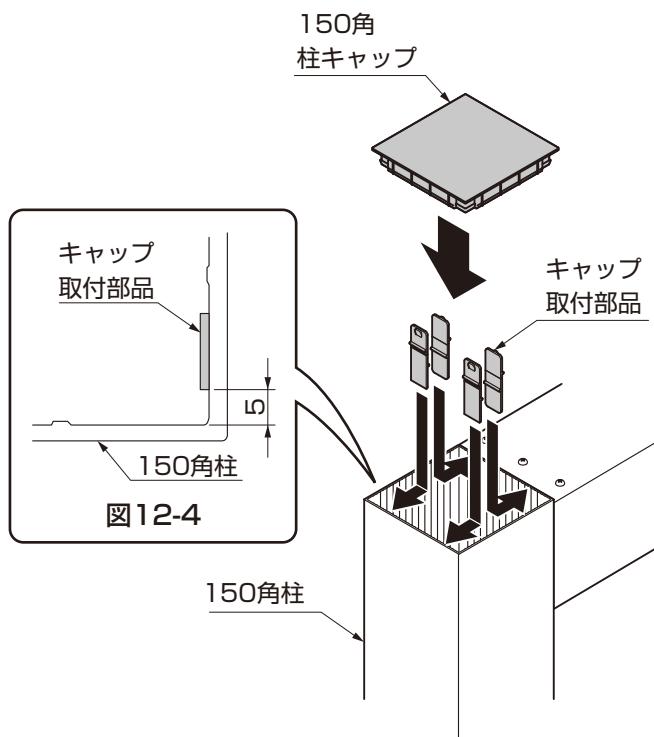


図13-3 150角柱の場合

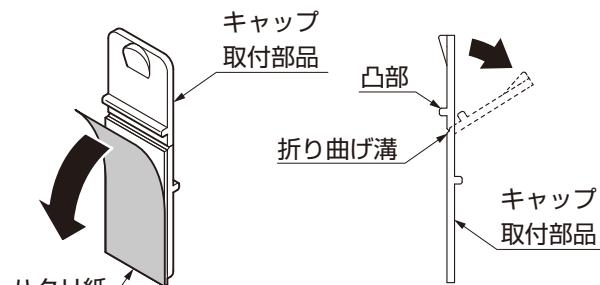


図13-5 キャップ取付部品

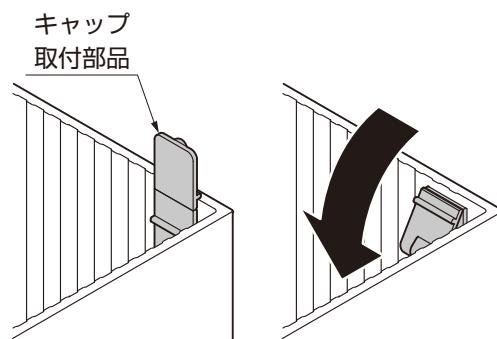


図13-6

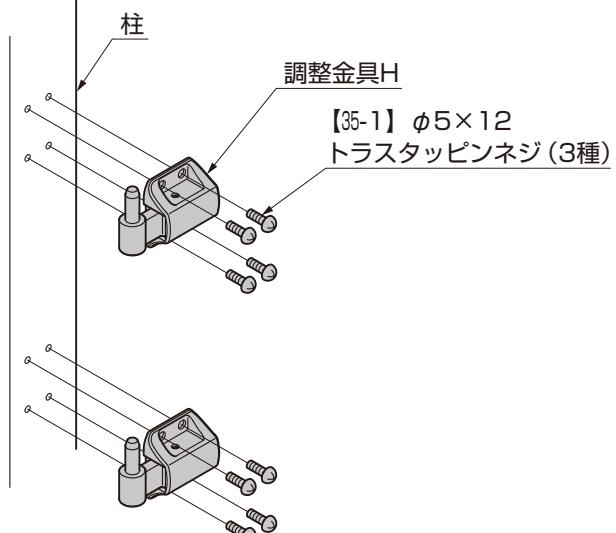
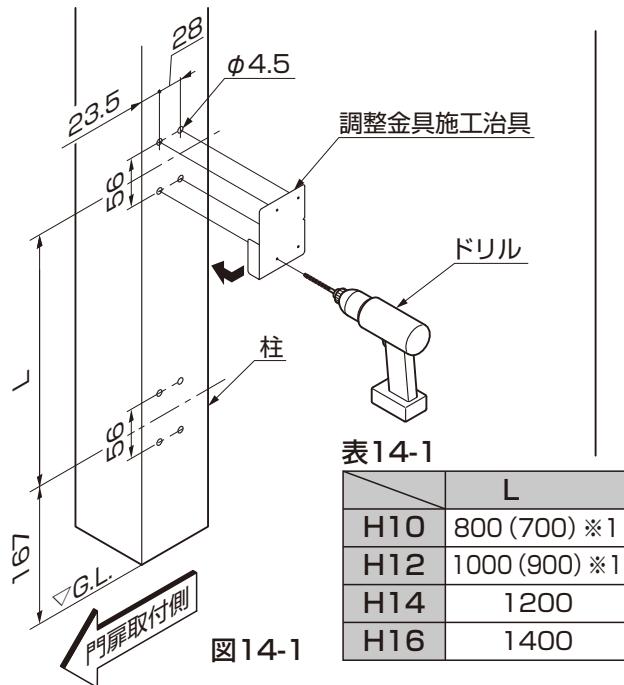
- ①キャップ取付部品からハクリ紙をはがしてください。
- ②キャップ取付部品を150角柱の内側から5mm離し、凸部を端部に乗せて貼り付けてください。（図13-4参照）
- ③キャップ取付部品を折り曲げてください。（図13-6参照）
- ④150角キャップを150角柱にはめ込んでください。



- キャップ取付部品を150角柱に貼ったら、再度指押してください。

14. 調整金具の取付け

14-1 調整金具H取付けの場合



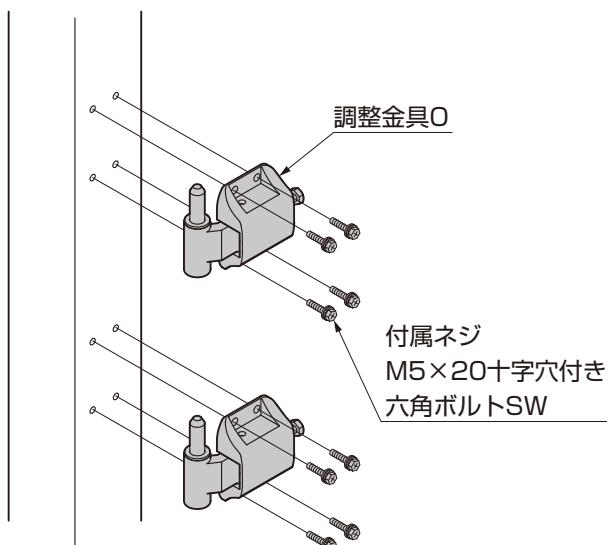
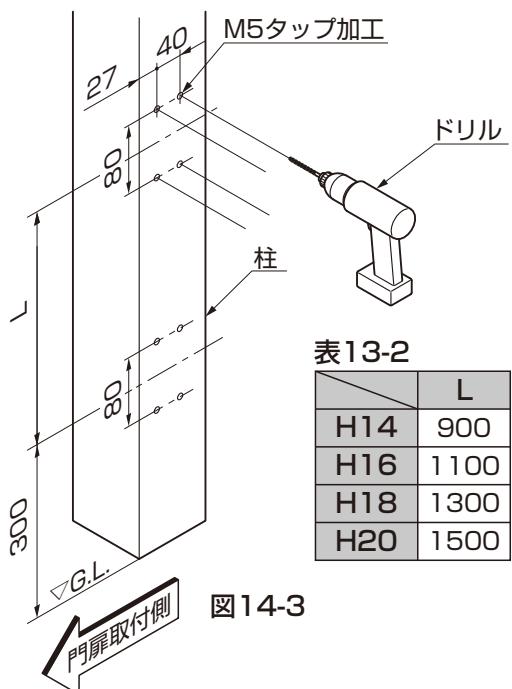
①柱に調整施工治具をあてケガキ、ドリルで穴加工してください。(図14-1参照)

②柱に調整金具Hを、【35-1】で取付けてください。(図14-2参照)

ポイント

●()内寸法(※1)はラフィーネ門扉1型・4型の場合です。

14-2 調整金具O取付けの場合



①調整金具の取付け位置にφ4.5の下穴をあけて、M5タップ加工をしてください。(図14-3参照)

②調整金具Oを付属ネジ「M5×20十字穴付き六角ボルトSW」で取付けてください。(図14-4参照)

15. フレーム端部キャップの取付け ※フレーム持出し施工の場合の作業です。

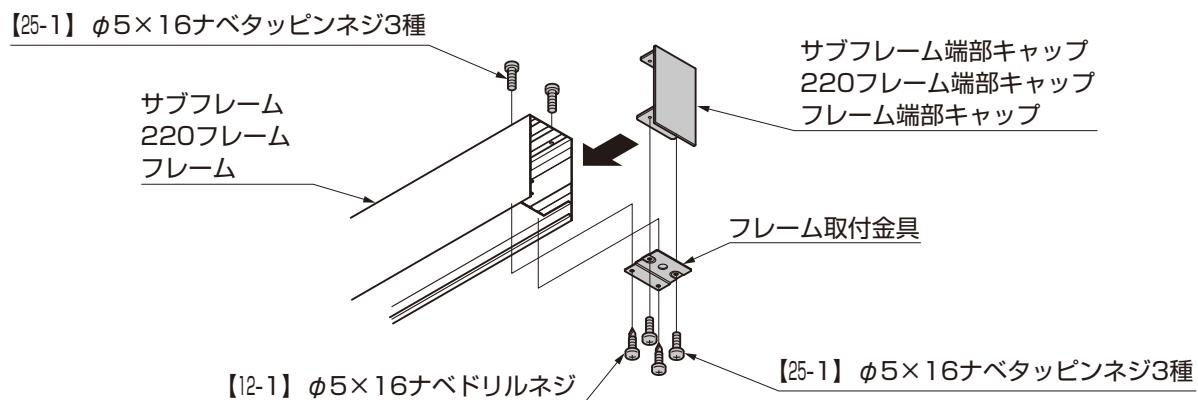


図15-1 端部キャップを取付ける場合

①図15-1を参照して端部キャップをフレームに固定してください。

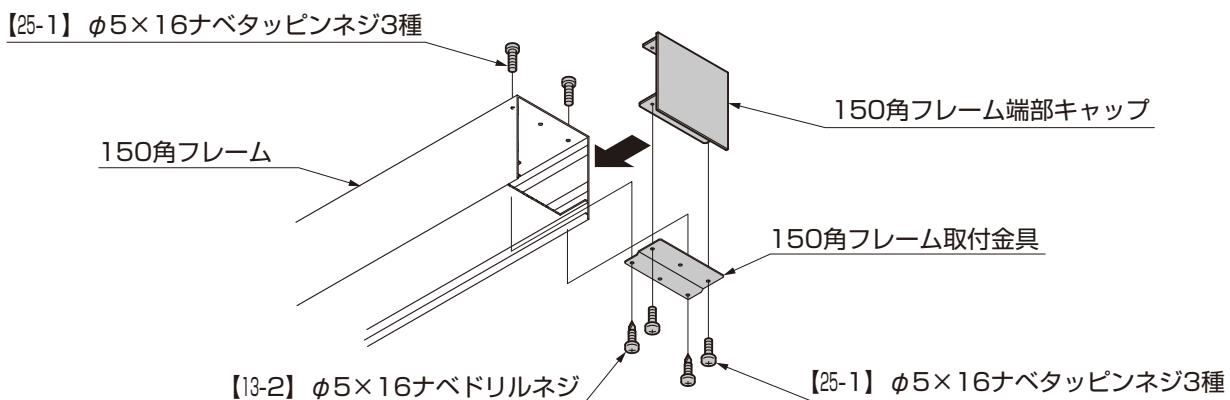


図15-2 端部キャップを取付ける場合

①図15-2を参照して端部キャップをフレームに固定してください。

16. 柱の水抜き加工

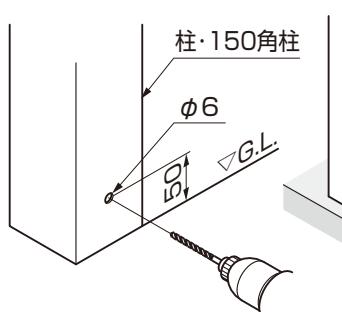


図16-1

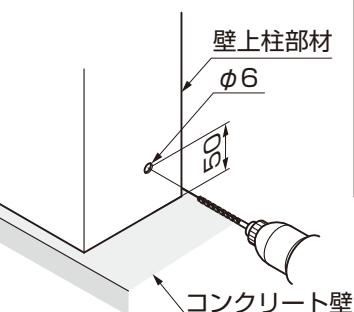


図16-2 壁上柱部材

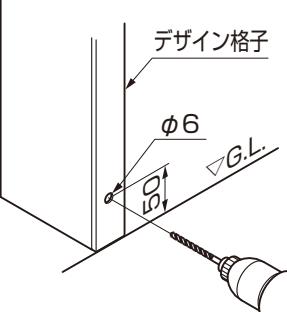


図16-3 デザイン格子

ポイント

●デザイン格子（外付け仕様）には予め水抜き穴の加工が施されていますが、水抜き穴が地面に埋まってしまう場合は、上記のデザイン格子同様に追加で水抜き穴の加工を行ってください。

①柱へφ6の水抜き穴をあけてください。（図16-1、図16-2、図16-3参照）

17. フレーム、パーゴラフレーム、フレーム端部キャップのシーリング処理

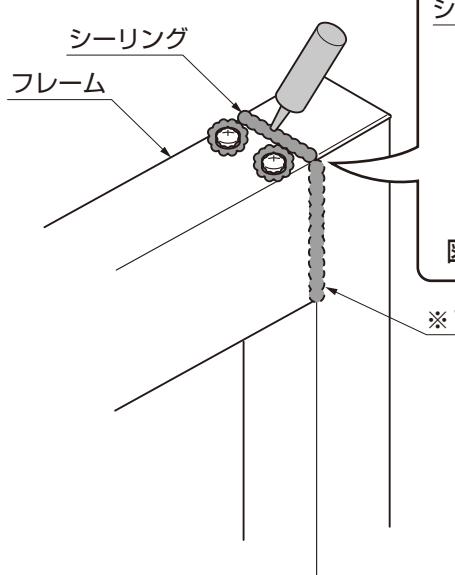


図17-1 柱、フレーム取付けの場合

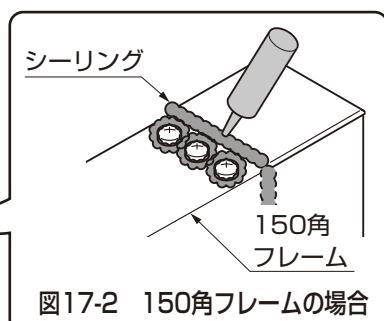


図17-2 150角フレームの場合

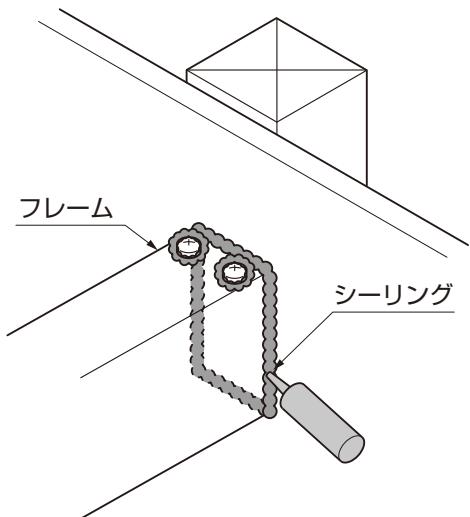


図17-3 軸体取付けの場合

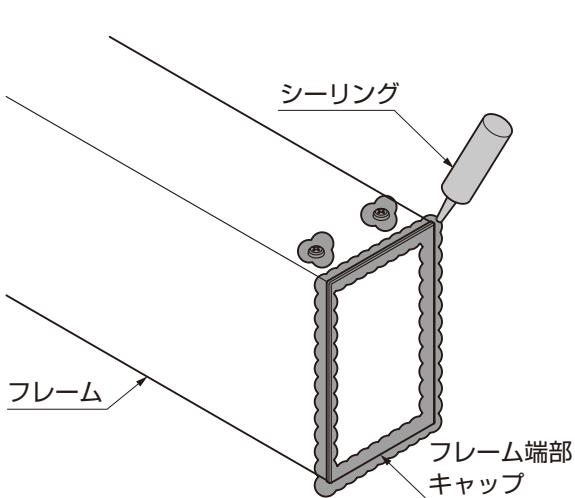


図17-4 フレーム端部キャップの場合

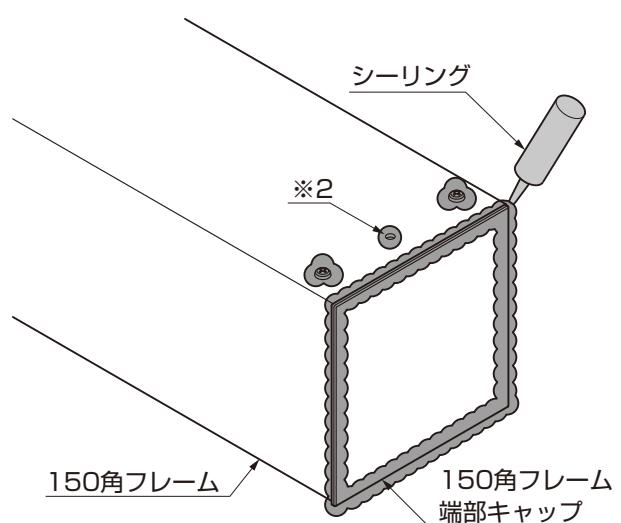


図17-5 150角フレーム端部キャップの場合

①フレームおよびパーゴラフレームにシーリング処理をしてください。

②フレーム端部キャップおよび150角フレーム端部キャップにシーリング処理をしてください。

補足

- 軸体取付けの場合には、全周シーリングを行なってください。
- Gループ フリータイプ取付けの場合には※1の部分もシーリング処理してください。
- 150角フレーム端部キャップの場合にはフレーム中心の※2の部分もシーリング処理してください。

18. スタイルシェード【Gフレーム用】の取付け

18-1 固定金具取付け位置の確認

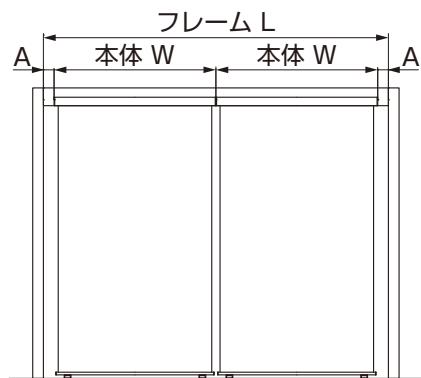
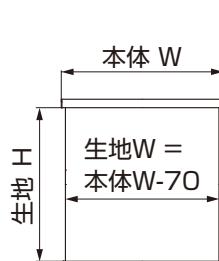


図18-1

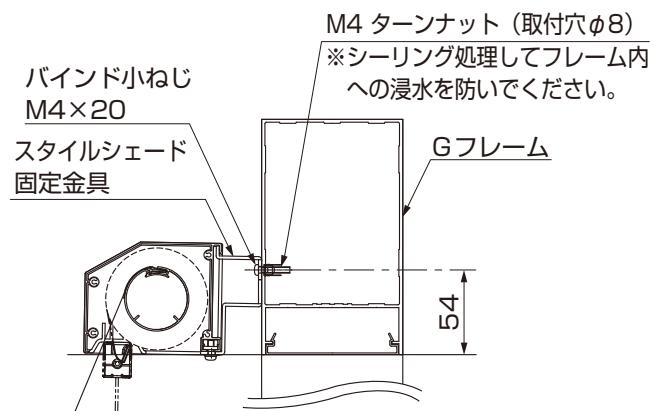


図18-2

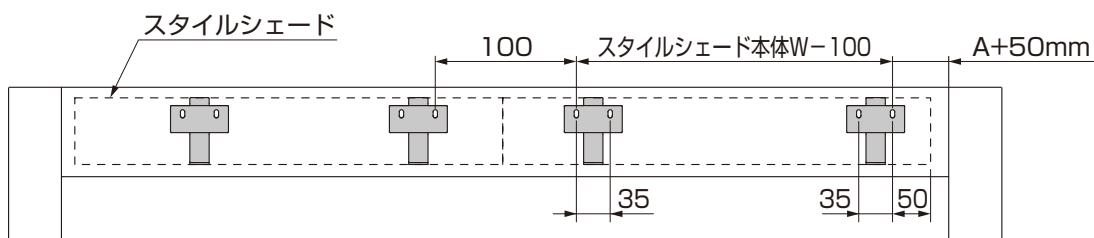


図18-3 スタイルシェードを2体以上取付ける場合

- ①Gフレームの柱内々寸法Lを計測します。
- ②スタイルシェード本体Wを計測します。
- ③スタイルシェード本体端部から柱内の寸法Aを確認します。
※生地を室外側へ引き出して使用する場合、寸法20mm以上を確保してください。
- ④図のようにGフレーム室内側面に対して、固定金具のW方向の取付け位置を墨出しします。(内観左側も同様です。)
- ⑤別紙「スタイルシェード」の取説を参照し、固定金具のH方向の取付け位置を墨出しします。
※正しい取付け位置を墨出ししていない場合、固定金具が取りつかないことがあります。

18-2 固定金具の取付け

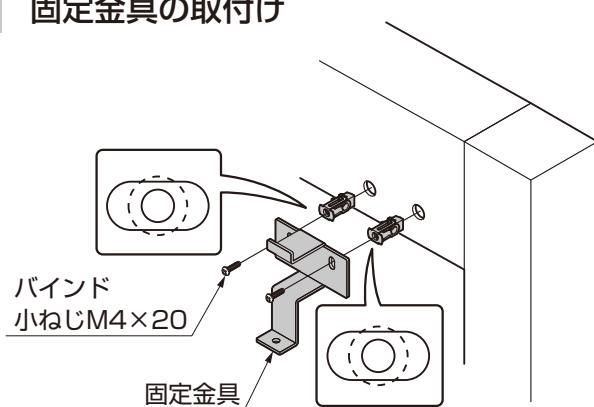


図18-4

注意

- 本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・Gフレームの下穴は、Φ8.2のドリルを使用してください。
 - ・固定金具の取付けねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ [$25 \pm 5 \text{ kgf}\cdot\text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

- ①墨出し位置に一度Φ4.5程度の下穴をあけ、さらにΦ8.2の下穴をあけます。
- ②ターンナットを下穴に差し込み、その上から固定金具を取り付け、ねじを締め込みます。
※ターンナットは必ず図の向きで挿入してください。ナットが回転せず、固定できなくなります。
- ③固定金具を上下、左右にゆらし、ガタツキがないことを確認してください。
※スタイルシェードの本体取付方法は「MAN-35 スタイルシェード」の取説を参照してください。

メモページ

メモページ

メモページ

取説コード
E248

JZZ614794N
200705A_1039
202101M_1049